

## Ⅱ 恩納村学力向上対策専門部会活動報告

### 1 学校教育推進部会

#### 〈各幼稚園及び小中学校の実践報告〉

- |     |        |   |        |
|-----|--------|---|--------|
| (1) | 安富祖幼稚園 | ・ | 安富祖小学校 |
| (2) | 恩納幼稚園  | ・ | 恩納小学校  |
| (3) | 仲泊幼稚園  | ・ | 仲泊小学校  |
| (4) | 山田幼稚園  | ・ | 山田小学校  |



## 恩納村立安富祖幼稚園の取組

主題 : 互いのよさに気付き、人と関わる力を育むための援助の工夫

～ 園における遊びを通して～

### 1. テーマ設定の理由

幼稚園教育要領の人間関係の項目において、「他の人々と親しみ、支え合って生活するために、自立心を育て、人と関わる力を養う」とある。昨今では、地域活動や異年齢児との関わりなど社会生活の経験が少なく、人間関係において身近な人と親しみ関わるのが減りつつある。本園の幼児は、友達との関わりを好み誘い合って遊びを進めていこうとする姿はみられるが、関わり方や言葉使いに苦手さがあり、相手の気持ちがあくみ取れずトラブルが起きてしまう様子が見られる。トラブルの際も自己主張が多く、相手の思いを聞き入れようとする姿があまり見られない。

幼児は教師との信頼関係に支えられて自己を発揮し、教師や他の幼児に認められる体験をくり返し重ねることで満足感や充実感を味わうことができると考える。さらに友達の姿に共感し相手に親しみをもち互いを認め合うことができるだろう。幼児が他の幼児との関わりの中で互いのよさに気付き、相手を尊重する気持ちを共有することによって自己を調整する気持ちが育まれていくと考える。そこで互いのよさに気付き、人と関わる力を育むための援助のあり方を目指し本テーマを設定した。

### 2. 研究仮説

- (1) 自己を発揮できる場を設定し、自分の力で行う充実感や満足感を味わえるようにすることで、自信をつけ様々な活動に意欲的に取り組むことができるようになると思う。また相手のよさに気付き、お互いを認め合い尊重し合える関係を築けるようになると思う。
- (2) 友達との共通の目的をもって活動をする中で、目的を達成するために気持ちの折り合いを付ける体験を重ねることで、その思いに気付き決まりの必要性などに理解し、自分の気持ちを調整する力を育むことができると思う。

### 3. 幼児の実態

#### (1) 安富祖幼稚園について

1組担任：教諭 山本 鉄平 男子：6人 女子：7人 合計：13人

#### (2) 幼児の特徴

1つの保育所から入園してきた園児が大多数をしめている。活発で好奇心旺盛な幼児が多いが、人的、物的環境への適切な関わりが難しく、自分の気持ちを押し通そうとする姿や相手の気持ちを受け止めて遊びを進めたり、協力して生活を進めたりすることが難しい様子が見られる。

### 4. 指導の実際

事例1 発表タイム（自分の発表を聞いてもらい、友達の思いに気付く場）

#### 【幼児の姿】

遊びや活動を楽しんでいるが、場を共有していても友達と協同して遊びを進める姿があまり見られない。また、遊びを共有しようとするとうまくいかないことが多い。

#### 【教師の願い】

自分の発表を聞いてもらう体験を重ねることで、聞いてもらう喜びを味わい、自信を深めてほしい。また、友達の発表に関心を持ち、思いや考えに共感したり、友達の作品やがんばった姿を認めたりすることで、友達に親しみをもち、受容する心を育ててほしい。

#### 【環境構成】

一日を振り返る発表タイムの場を設けた。

### 【教師の援助】

幼児の発表に対する発問を工夫することで、他児が関心を持つことができるように心掛けた。また、学級で共有したい幼児の姿を教師が取り上げて紹介する場面を作ることで、学級全体が関心を持つことができるように工夫した。さらに、グッジョブ運動を提案した。

### 【幼児の変容】

少しずつ友達の発表に対する質問や発表の補足をする姿が見られるようになり、他児の発表への関心の高まりが感じられるようになった。

また、友達の発表を聞くことで、自分も同じ遊びをしてみたいという幼児が増え、教え合いや共通の目的を見だして遊びを進める姿が見られるようになった。

グッジョブ運動を提案し継続的に実践したことで、発表タイム以外の時間にも幼児達によって、友達の姿に「グッジョブ。」や「ドンマイ。」と声をかけ合う姿が見られるようになった。



## 事例2 スポーツタイム（全身を使って遊ぶことができる場）

### 【幼児の姿】

園庭が使用できず十分に体を動かす心地よさを味わう姿が見られなかった。また、室内での好きな遊びで友達とトラブルになることが多く、自分の思いを言葉で相手に伝えることが難しい様子が見られた。

### 【教師の願い】

十分に体を動かす心地よさを味わうことで満足し、安定感をもって行動し、生き生きと活動に取り組むようになってほしい。

また、安定感を持って行動することで友達の良さに気づき、一緒に活動する楽しさを味わってほしい。

### 【環境構成】

週に2回小学校の運動場や体育館を利用し、十分に体を動かすことのできる時間を設定した。

### 【教師の援助】

幼児が自由に体を動かす時間を設けて、心地よさを味わう様子を見守ると共に、動きや活動を提案し、多様な動きを経験し楽しむことができるよう配慮した。

### 【幼児の変容】

思い思いに体を動かす中で心地よさだけでなく、満足感を味わう姿が見られた。そして、友達への関わり方が優しくなっていく様子が見られた。

また、教師が提案した活動を展開する中で、ルールを守って活動を進める大切さや友達と協力することで活動が深まる充実感を味わう姿が見られた。



## 5. 考察

### 成果

- (1) 賞賛や友達を認める姿が増え、友達に教えてもらったり、進んで教えようとしたりする姿が見られるようになった。
- (2) 発表に消極的だった園児も友達の姿を見て発表するようになり、自信を深める様子が見られた。
- (3) スポーツタイムを通して、自分達で役割を分担して活動を進める姿や協力し合った友達に感謝する姿が見られるようになった。
- (4) 事例以外の活動や遊び、生活を一緒に進めようとする姿や自分達で決めたルールを守って遊びを進めようとする姿が見られるようになった。

### 課題

- (1) 発表タイムで十分な時間を確保できず、限られた人数しか発表ができないため、友達に聞いてもらう機会を十分に得られない。
- (2) スポーツタイムは小学校の施設を利用しているため、幼児が体を動かすための環境を残しておくことができず、その都度環境を再構成する必要がある、活動時間を十分に確保することが難しい。

### 今後の手立て

- (1) 1日の生活の流れを工夫し時間の環境を整えることで、発表タイムの時間を確保する。
- (2) スポーツタイムでの活動の流れを定着させ、幼児達自身で準備や片づけを進めたり、環境を構成している間も幼児達自身で遊びや活動を展開したりできるように導くことが必要である。

## 恩納村立安富祖小学校の取組

### 主題：自ら学ぶ力を育成するための家庭学習への取組

#### 1. 目標

中学校1学年終了時まで「自学自習力」を身につけさせる。

#### 2. 本校が取り組んでいる家庭学習（自学自習と宿題等）について

本校では「確かな学力の向上」を目指し家庭学習の習慣を身につけるため、授業と連動し自分で課題を見つけて行う「自学自習」と学級担任等が既習事項の確認や習熟を図るため等に出す「宿題」、「音読」を加えた3つの視点をもって行っている。

児童一人ひとりが主体的な学びを実現するため、校内研修においても「授業と連動した家庭学習」に注力し、「計画、テスト、分析、練習」（けテぶれ）の一連の流れを参考に、自学自習力の向上に向け、全校体制で家庭学習の在り方を模索している。児童が自分自身の課題を把握し、その課題解決のためにどのような学習に取り組めばよいか、まずは算数科の授業におけるまとめ・振り返りをもとに家庭学習のめあてを立て、問題を解き、振り返るという学習形態を定着させていきたいと考え実践している。音読を含めた読書活動は、読書旬間等において図書館司書によるアイデアで興味をもって読書活動に取り組み、親子読書につながる取り組みも行っている。

評価等については、毎日提出してもらい、担任はすき間時間等を利用して確認しコメントを入れたり、授業の始まりに家庭学習の取り組みについて共有を図ったりしている。

#### 学習時間の目安（15分×学年）

【低学年】基本的な学習習慣を身につける。・・・15分～30分

【中学年】自主的な学習習慣を身につける。・・・45分～60分

【高学年】自学自習の習慣を身につける。・・・75分～90分

#### 【全学年統一した宿題の取り組み】

朝学習で行った漢字2文字を漢字ドリルノートを活用し、練習に取り組む。



### 3. 各学年の取組実践

#### 1 学年の家庭学習の取組実践

家庭学習帳「きらきらノート」を配布して、「宿題」を行う。「宿題」には、学校で統一されている「漢字ドリルノート」やプリントも活用している。学習と連動した課題のお手本を配布したり、家庭で問題を書いてもらったり協力を得ている。

##### (1) 「宿題」について (写真①)

###### ①生活習慣を身につける (年間を通して実施)

- ・週予定を配布、翌日の日程、持ち物確認を行う。
- ・毎日、日記を書くことを通して生活を振り返る。

###### ②基礎学力を身につける (その日の授業の復習)

- ・写本 (お手本：漢字の使い方やたし算、ひき算数などの式)、漢字の学習 (くりかえし漢字ドリル)、計算問題 (くりかえし計算ドリル)
- ・別冊「漢字ドリルノート」
- ・習熟を図るための練習プリント

##### (2) 「授業と連動した宿題」について (写真②)

国語では、ことば集め、カタカナで書くことば集め、計算問題 (さくらんぼ計算) のお手本を写し答えを宿題で書いてくる。今日学習した漢字を「漢字ドリルノート」を活用して練習する。

家庭で問題を書いてもらい、答えを書いて自学自習として取り組んでいる。

##### (3) 身につけさせたい力

- |                 |           |
|-----------------|-----------|
| ① 学習習慣 (毎日続ける力) | ② 基礎学力の定着 |
| ③ 読む力           | ④ 書く力     |

##### (4) 評価等の方法

- ・毎日提出し、学級担任がすきま時間を活用して確認し、検印とコメントを入れる。
- ・漢字ドリルやプリントは家庭で○をつけてもらうかサイン等の協力を得ている。家庭、担任のサインをもらう。(宿題に取り組めなかった場合は、休み時間に取り組ませている)
- ・宿題プリントの正誤などの確認は、授業前や休み時間などのすきま時間に行っている。

##### (5) 成果 (○) と課題 (△)、課題への対応策 (→)

○日記に取り組むことで、生活作文など自分の言葉で書けるようになってきた。文や句読点の意識もできるようになってきた。

○毎日家庭学習を行うことができた児童は、全体の約75%。

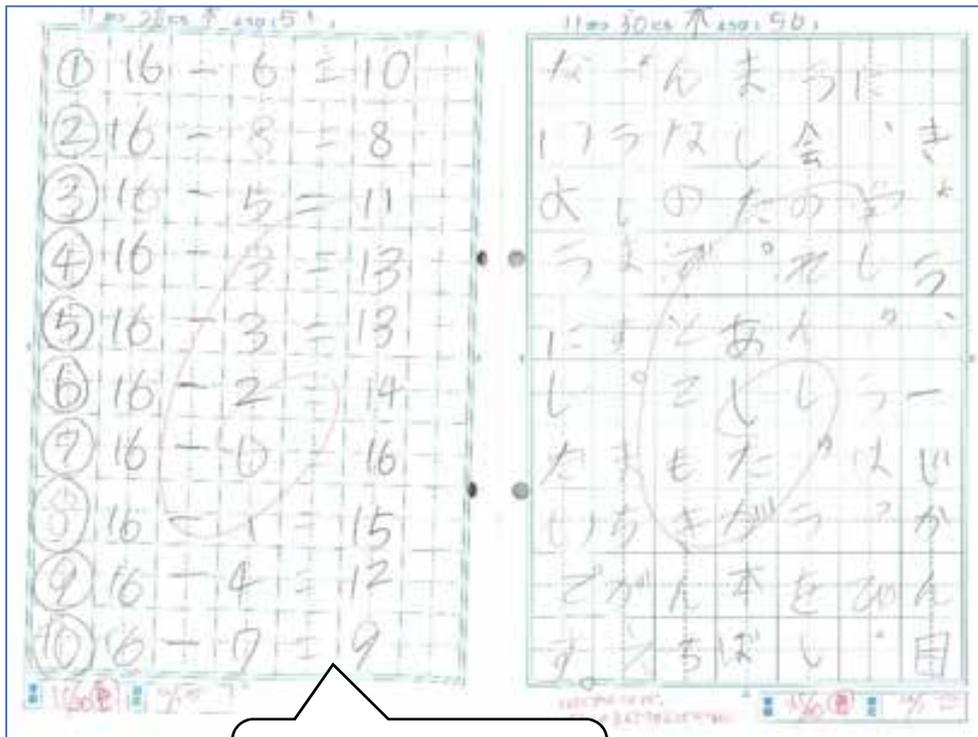
△家庭のサインや○付け、63%→お手紙やコメント等で協力を再度依頼する。

△家庭学習の習慣化

→家庭とも連携を図り、個々にあった内容を確認しながら継続して指導を行う。

△自分の苦手なところを見つけ、自学自習として取り組む。 →3 学期より取り組む。

宿題 (写真①)

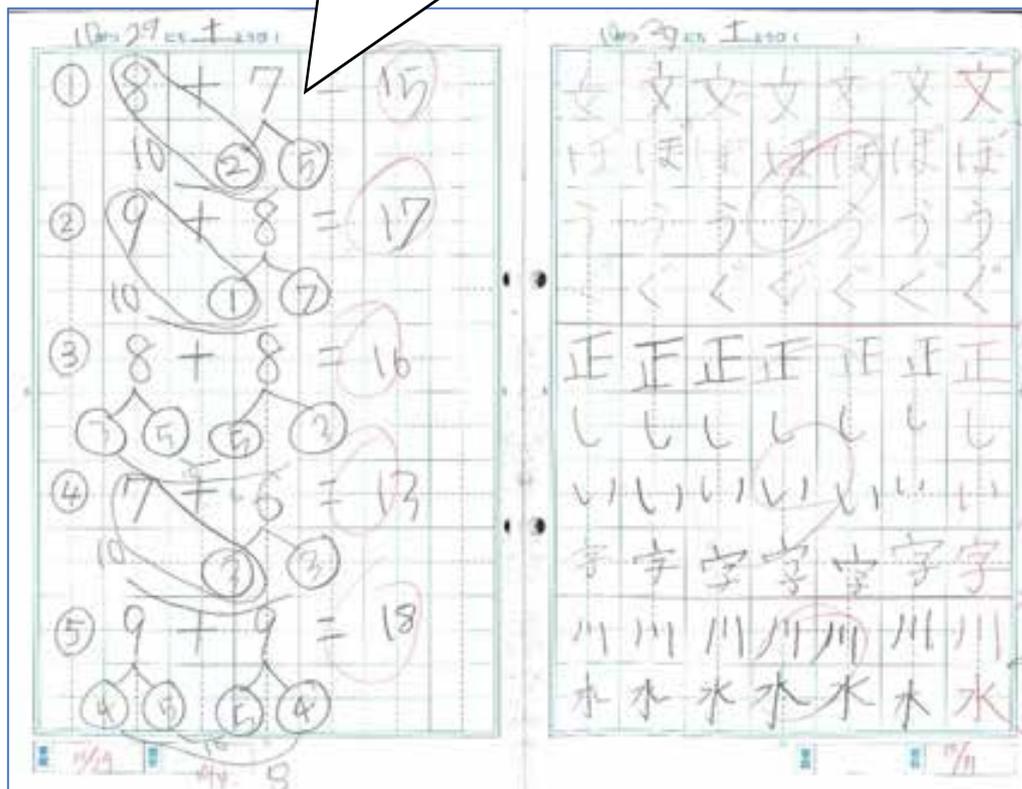


式はお手本を見て、答えを家で書いてきます。

日記を書いています。家庭の欄に家の人からサインをもらっています

写真②  
授業と連動した学習

さくらんぼ計算。10をつくり、10といくつでこたえをだします。



## 2学年の家庭学習の取組実践

家庭学習帳「きらきらノート」を配布して、「宿題」と「自学自習」を行う。授業と連動した自学自習の計画を自分で立てる際、「教科書の練習問題」「くりかえし計算ドリル」、タブレットの「ミライム」も活用している。

### (1)「宿題」について (写真①)

#### ①生活習慣を身につける (年間を通して実施)

- ・行事や集会があった日等、日記を通して振り返る。

#### ②基礎学力を身につける (その日の授業の復習)

- ・写本 (教科書)、漢字の学習 (くりかえし漢字ドリル)、計算問題 (くりかえし計算ドリル)
- ・教科書の問題を写して解く。
- ・別冊「漢字ドリルノート」
- ・習熟を図るための練習プリント

### (2)「自学自習」について (写真②)

算数科の授業における振り返りをもとに、「教科書」や「くりかえし計算ドリル」を活用し、その日の自分の課題等を見つけ、そのために何をするか目的意識をもって取り組んでいる。

### (3)身につけさせたい力

- ①学習習慣
- ②粘り強くやり抜く力 (継続する力)
- ③計画し、実践する力
- ④基礎学力の定着
- ⑤書く力

### (4) 評価等の方法

- ・毎日提出し、学級担任がすきま時間を活用して確認し、検印とコメントを入れる。
- ・漢字ドリルを活用した場合、基本、保護者に丸つけはお願いしている。丸付けがされていない児童は担任が正しい字が書けているか確認をし、休み時間や放課後、間違った漢字を直させている。
- ・計算ドリルを活用した場合、基本、保護者に丸つけはお願いしている。丸付けがされていない児童へは一緒に丸つけをしたり、答えを見て丸付けをさせたりしている。
- ・宿題プリントの正誤などの確認は、保護者にお願いしている。丸付けされていない児童へは休み時間に直させている。

### (5) 成果 (○) と課題 (△)、課題への対応策 (→)

○日記を上手に書けるようになった子が増えてきた。

○毎日9割の児童が家庭学習を行うことができた。

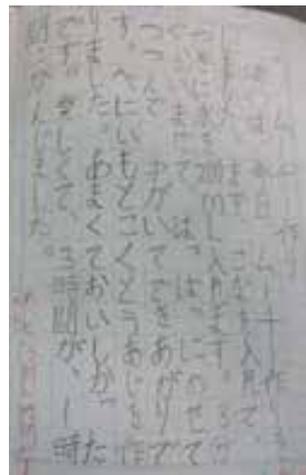
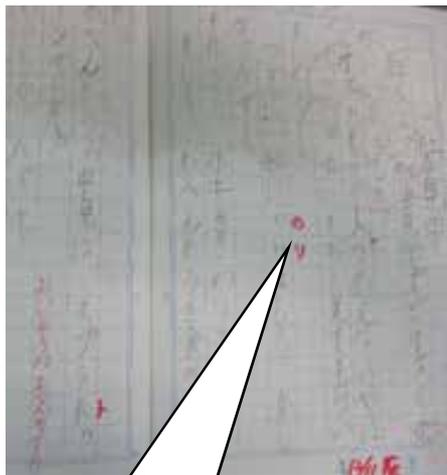
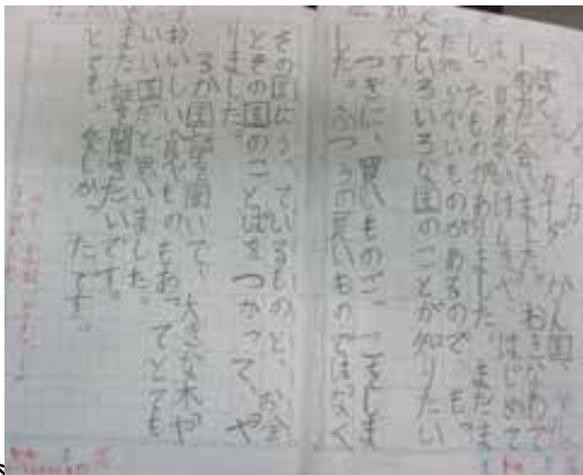
△家庭学習の習慣化

→家庭とも連携を図り、丸付けや保護者からのコメント等をお願いして継続して指導を行う。

△授業と家庭学習の連動 (出された宿題はやるが、自学自習がまだ未定着の子がいる。)

→自学自習ができるように授業の中で振り返りを書いて、家庭学習でやる内容を考えられるように声かけをする。

宿題 (写真①)



保護者からのサインとコメントが添えてあります。

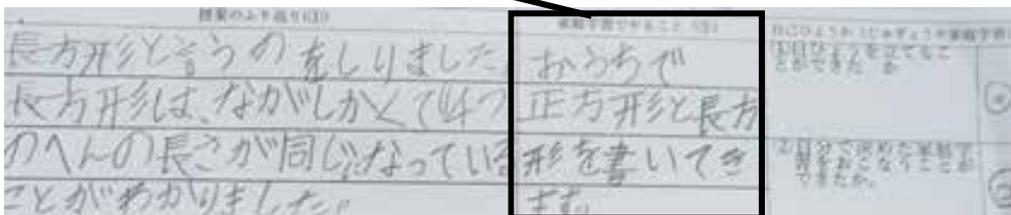
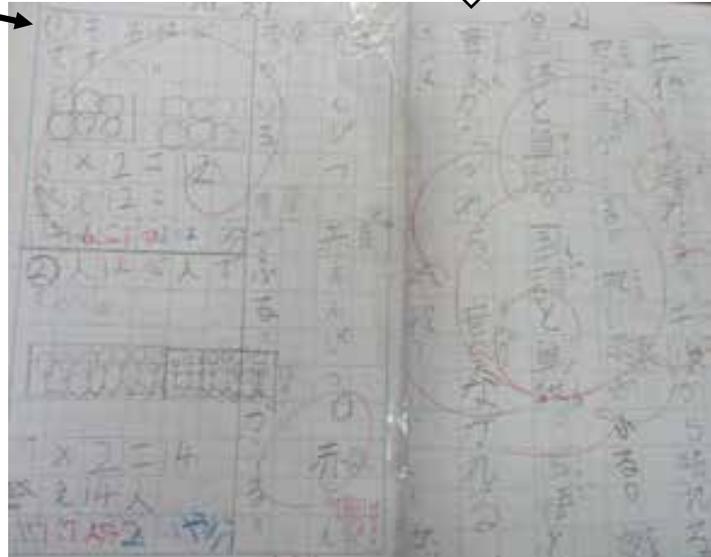
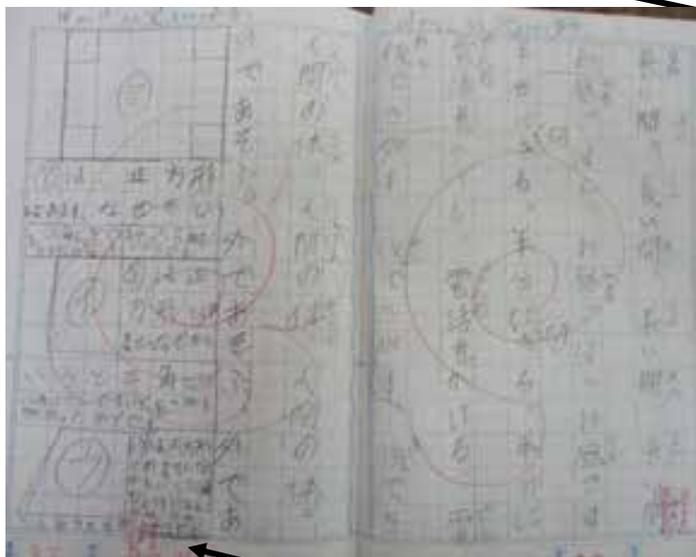
保護者が間違いを直して書き直しをしています。

学習した漢字や単位を使って日記を書くことができるようになりました。

写真②



授業の振り返りをもとに家庭学習でやることを決め、自学自習を行っています。



### 3 学年の家庭学習の取組実践

家庭学習帳「きらきらノート」を配布して、「宿題」と「自学自習」を行う。「宿題」には、市販されている「漢字ドリルノート」も活用している。授業と連動した自学自習の計画を立てる際、「くりかえし計算ドリル」も活用している。

#### (1) 「宿題」について

##### ①生活習慣を身につける（年間を通して実施）

- ・翌日の日程、持ち物確認を行う。
- ・行事や集会があった日等、日記を通して振り返る。

##### ②基礎学力を身につける（その日の授業の復習・書く力）

- ・写本（教科書）、漢字の学習（くりかえし漢字ドリル）、計算問題（くりかえし計算ドリル）
- ・別冊「漢字ドリルノート」
- ・はじめ・中・終わりの組み立てで日記を書く。（写真①）

#### (2) 「自学自習」について（写真②）

- ・算数科の授業におけるまとめや振り返りをもとに、「教科書」や「くりかえし計算ドリル」を活用し、その日の自分の学習課題を決めて取り組んでいる。  
学習後はABCの三段階の自己評価を行い家庭学習の振り返りを行っている。
- ・算数科の授業におけるまとめや振り返りをもとに、教師が設定した家庭学習の課題にどのように取り組むか、学習のめあてをたてて取り組んでいる。

#### (3) 身につけさせたい力

- ①学習習慣
- ②粘り強くやり抜く力（継続する力）
- ④基礎学力の定着
- ⑤書く力
- ⑥自己学習力（自分で決めて学習する力）や  
自己マネジメント力（自分の振り返りをしてより良くする力）

#### (4) 評価等の方法

- ・毎日提出し、学級担任がすきま時間を活用して、自分で学習課題を決めて取り組んでいるか、または課題に合った学習のめあてをたてられているか確認し、検印とコメントを入れる。
- ・宿題プリントの正誤などの確認は、授業前や朝の会終了後などのすきま時間に行っている。

#### (5) 成果（○）と課題（△）、課題への対応策（→）

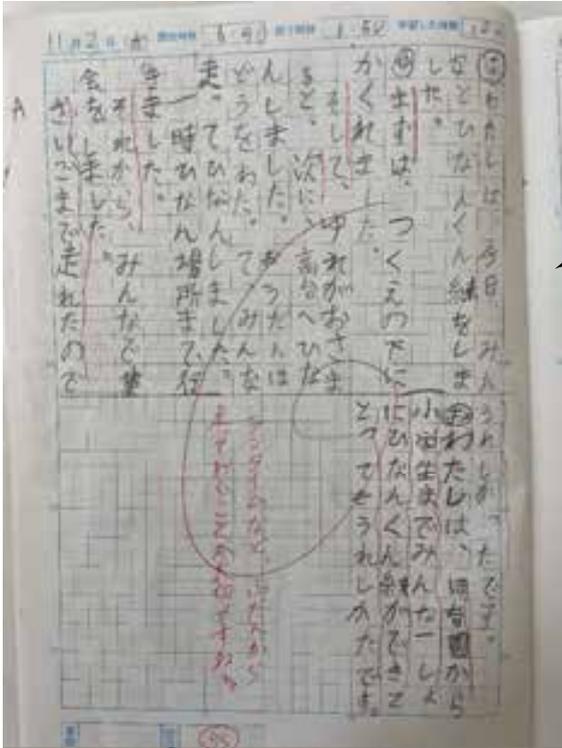
- 振り返りをもとに自己分析し、学習のめあてを立てたり、学習課題を設定したりするのが上手になってきた。
- 毎日家庭学習を行うことができた児童は、全体の約87.5%。
- △家庭学習の習慣化

→家庭とも連携を図り、個々にあった内容を確認しながら継続して指導を行う。

### △授業と家庭学習の連動

→予習にも取り組ませる。(発達段階を考慮しながら)

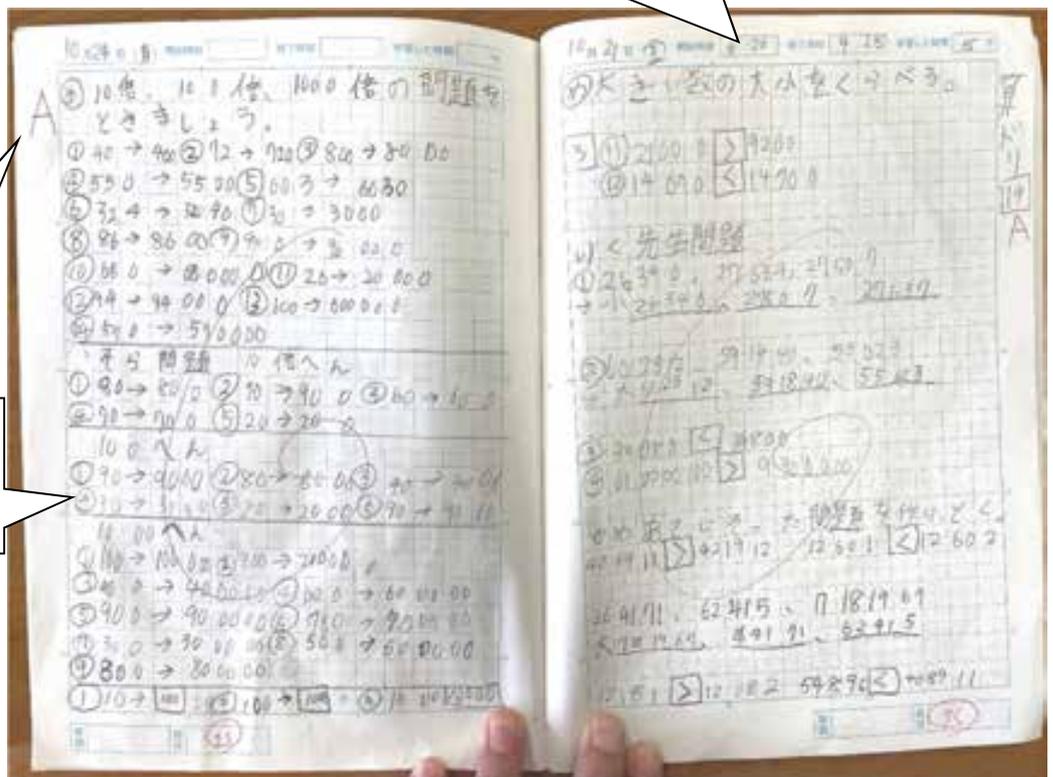
### 宿題 (写真①)



行事等があったときに日記で振り返る。  
その際、「はじめ・中・終わり」で書いている。

授業のまとめやふりかえりからめあてを立てる。  
難しいときは、その日の授業の学習内容を書いている。

### 自学自習について (写真②)



自分の立てためあてに  
そって家庭学習ができたか、自己評価をつけている。

学習課題とめあてを設定し、それらにそった問題を自分で作って解いている。

#### 4 学年の家庭学習の取組実践

家庭学習帳「きらきらノート」を配布して、「宿題」と「自学自習」を行う。「宿題」には、市販されている「漢字ドリルノート」「計算ドリル」「算数形成確認プリント」等も活用している。

また、授業と連動した「自学自習」に取り組ませるため、主に算数科において、授業のふり返りを元に家庭学習のめあてを立てるように声かけしている。

##### (1) 「宿題」について (写真①)

###### ①基礎基本の定着。

- ・漢字の学習（くりかえし漢字ドリル）、計算問題（くりかえし計算ドリル）
- ・別冊「漢字ドリルノート」
- ・算数科形成確認プリント
- ・その他習熟を図るための練習プリント

###### ②生活習慣を身につける。

- ・日記を通して行事や休日の出来事を振り返るとともに、文章力と漢字力を養う。

##### (2) 「自学自習」について (写真①②)

- ・算数科の授業における振り返りをもとに「自学自習」のめあてを立てさせ、「本時のノート」や「教科書」, 「くりかえし計算ドリルを活用し、その日の自分の課題等に取り組ませている。
- ・予習に取り組んでくる子も増えてきている。

##### (3) 身につけさせたい力

- ①学習習慣
- ②粘り強くやり抜く力（継続する力）
- ③計画し、実践する力
- ④基礎学力の定着
- ⑤書く力

##### (4) 評価等の方法

- ・毎日提出させ、担任が検印とコメントを入れる。
- ・計算ドリルを活用した場合、自分で丸付けを行い、間違いは直してくるよう声かけを行っている。（直していない場合は、休み時間取り組ませている）
- ・宿題プリントは担任がチェックし、その日でやり直しまで行わせている。

##### (5) 成果 (○) と課題 (△)、課題への対応策 (→)

○家庭学習の習慣が身についている子が多い。

○授業の振り返りをもとに自学自習に取り組めるようになってきた。

△自学自習の質の向上

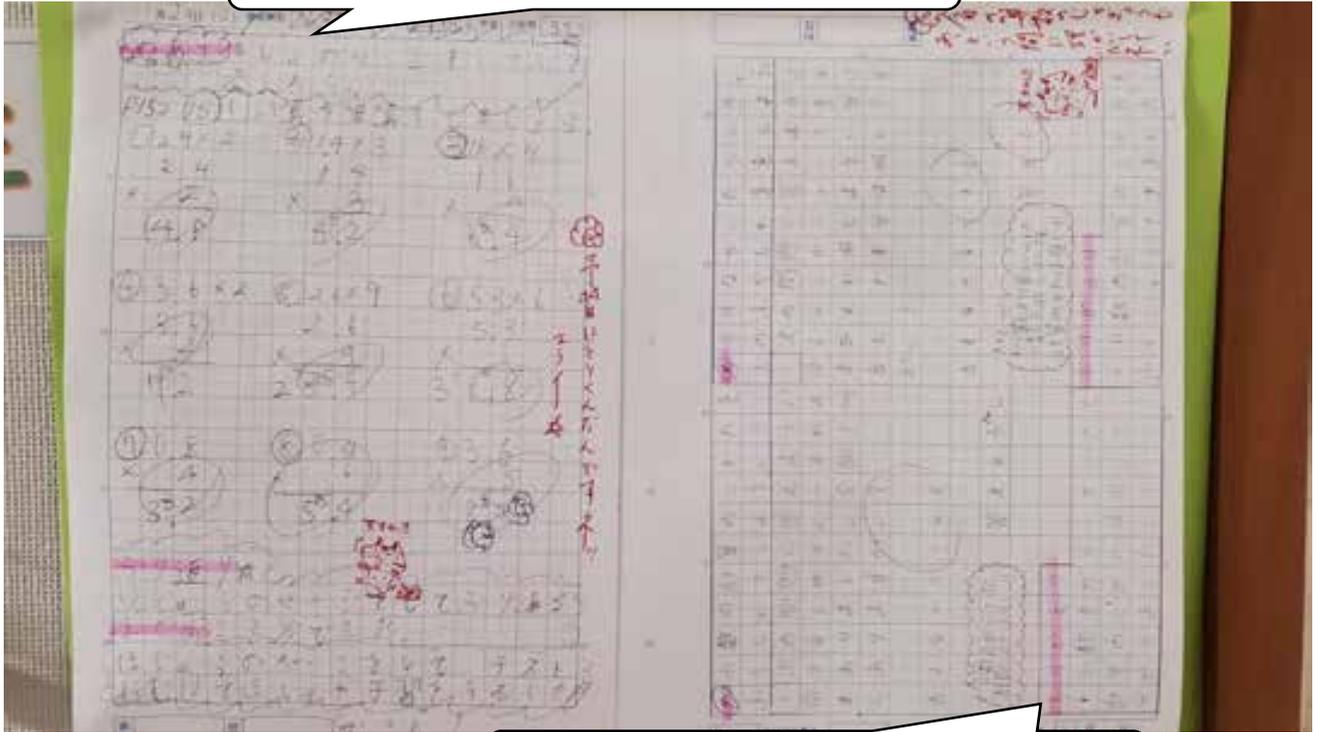
→互いにノートを見せ合ったり、授業で取り上げることで、子どもの意欲・向上心を高める。

△授業と家庭学習の連動

→予習や算数科以外の教科にも取り組ませる。

宿題 (写真①)

自学自習のめあてを自分で立てて取り組んでいます。

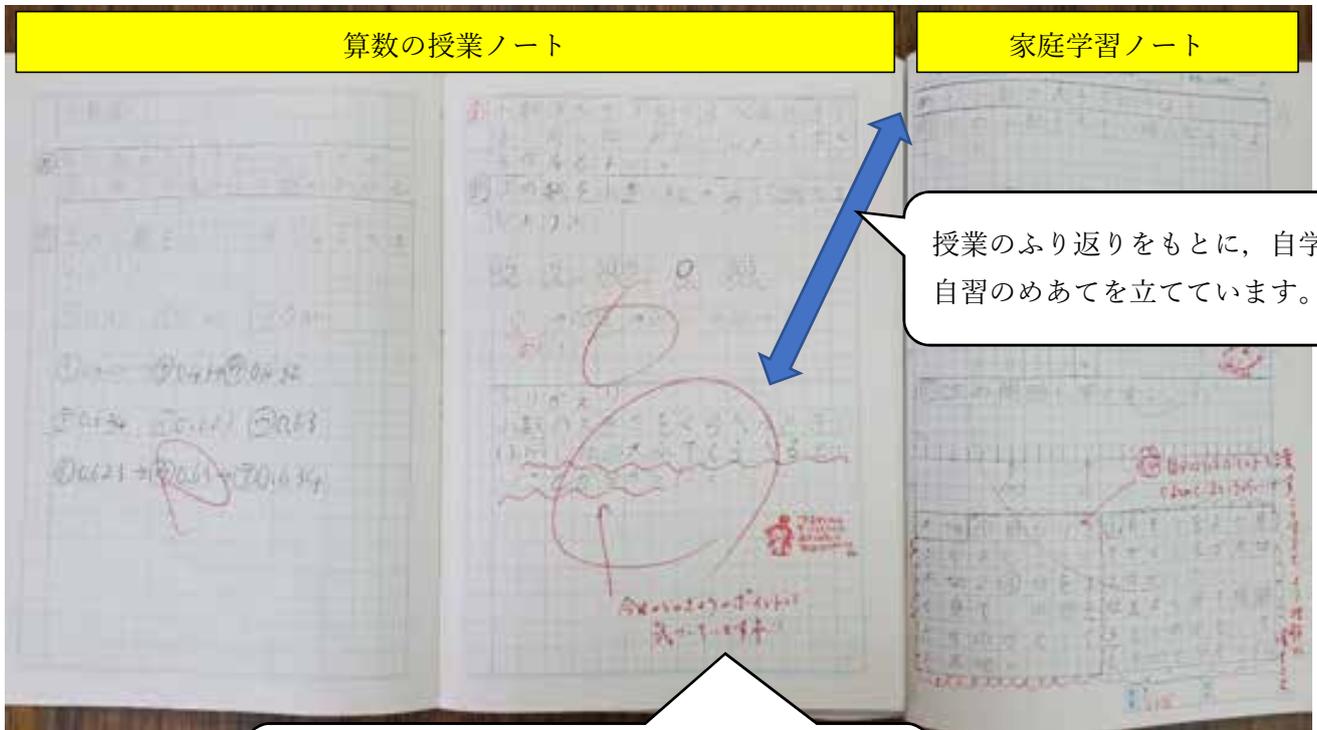


自学自習のふり返りを書いてくる子もいます。

写真②

算数の授業ノート

家庭学習ノート



授業のふり返りをもとに、自学自習のめあてを立てています。

授業のノートや家庭学習のノートにできるだけコメントを書いてあげられるよう努めています。

## 5 学年の家庭学習の取組実践

家庭学習帳「きらきらノート」を配布して、「宿題」と「自学自習」を行う。「宿題」には、市販されている「漢字ドリルノート」も活用している。授業と連動した自学自習の計画を立てる際、「くりかえし計算ドリル」も活用している。

### (1) 「宿題」について (写真①)

#### ①生活習慣を身につける (年間を通して実施)

- ・翌日の日程、持ち物確認を行う。
- ・行事や集会があった日等、日記を通して振り返る。

#### ②基礎学力を身につける (その日の授業の復習)

- ・写本 (教科書)、漢字の学習 (くりかえし漢字ドリル)、計算問題 (くりかえし計算ドリル)
- ・別冊「漢字ドリルノート」
- ・けテぶれ学習
- ・習熟を図るための練習プリント

### (2) 「自学自習」について (写真②)

算数科の授業における振り返りをもとに、「教科書」や「くりかえし計算ドリル」を活用し、その日の自分の課題等を見つけ、そのために何をするか目的意識をもって取り組んでいる。

### (3) 身につけさせたい力

- ①学習習慣
- ②粘り強くやり抜く力 (継続する力)
- ③計画し、実践する力
- ④基礎学力の定着
- ⑤書く力

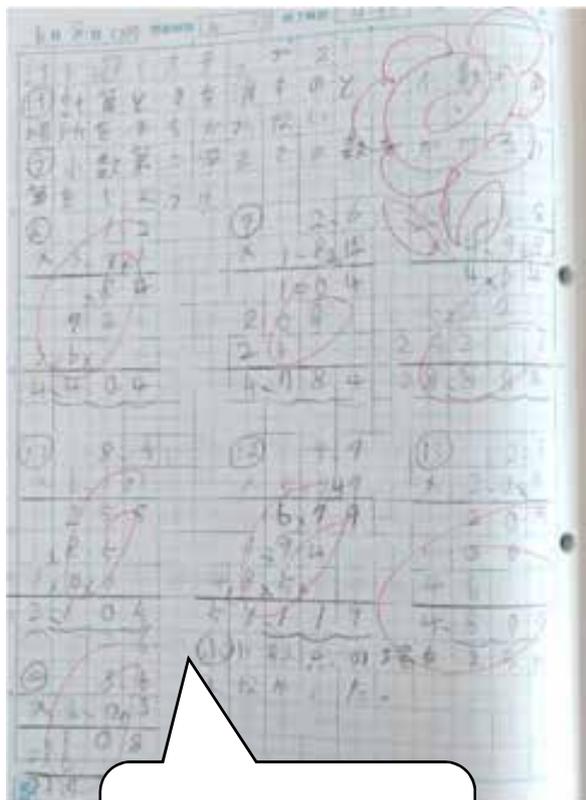
### (4) 評価等の方法

- ・毎日提出し、学級担任がすきま時間を活用して確認し、検印とコメントを入れる。
- ・計算ドリルを活用した場合、基本、自分で丸付けを行い、間違いは直してくるよう声かけを行っている。(直していない場合は、休み時間取り組ませている)
- ・宿題プリントの正誤などの確認は、授業前や朝の会終了後などのすきま時間に行っている。

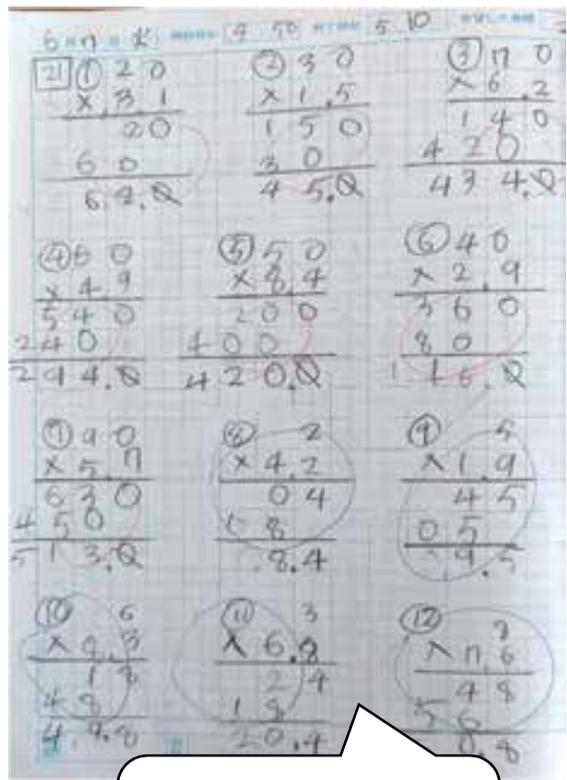
### (5) 成果 (○) と課題 (△)、課題への対応策 (→)

- 振り返りをもとに自学自習の計画が上手になってきた。
- 毎日家庭学習を行うことができた児童は、全体の約 75%。
- △家庭学習の習慣化
  - 家庭とも連携を図り、個々にあった内容を確認しながら継続して指導を行う。
- △授業と家庭学習の連動
  - 予習にも取り組ませる。(発達段階を考慮しながら)

宿題 (写真①)

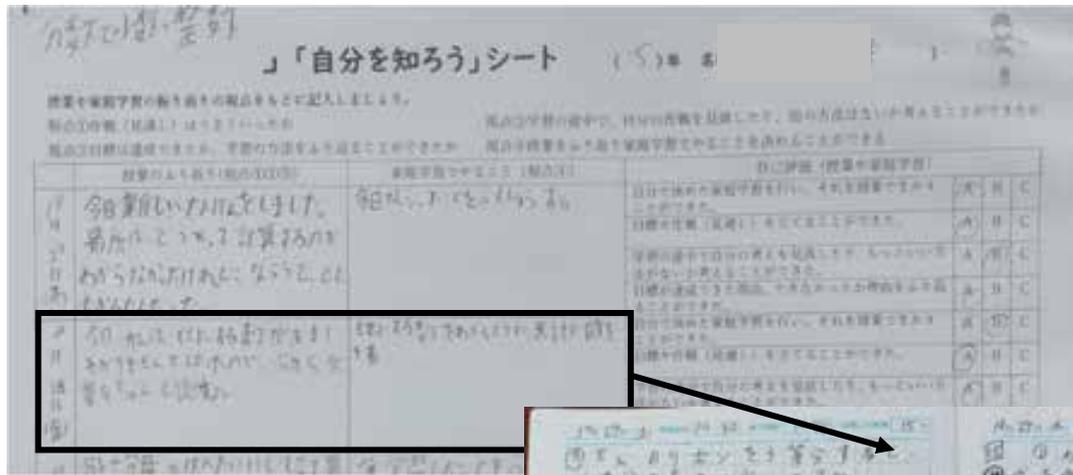


⑦⑧⑨⑩⑪⑫  
 学習に取り  
 組んでいます。

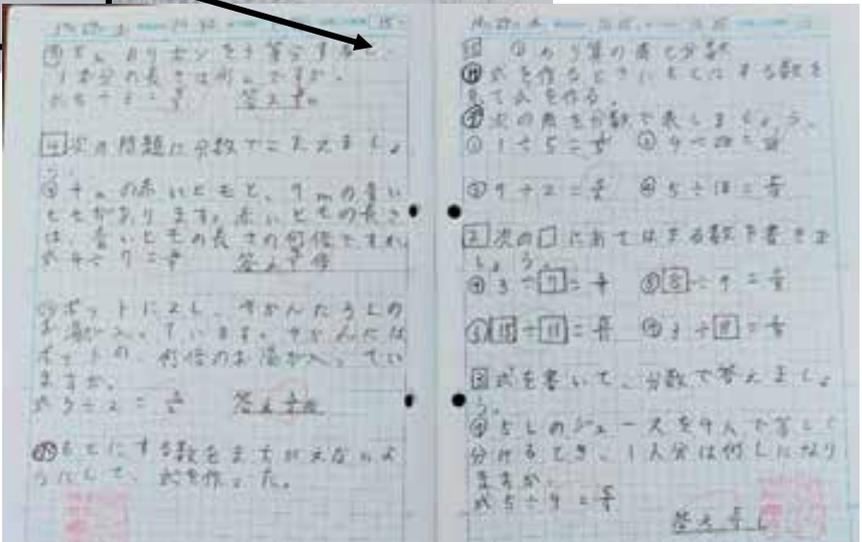


間違えた問題をもう一度  
 行い、青ペンで丸を付け  
 ている。

写真②



授業の振り返りを  
 もとに家庭学習で  
 やることを決め、  
 「けてぶれ学習」  
 を実行していま  
 す。



## 6 学年の家庭学習の取組実践

毎日の取り組みとして、家庭学習帳「きらきらノート」を配布したり、プリントを配布したりしている。児童は、「宿題」と「自学自習」を行っている。

「宿題」には、市販されている「漢字ドリルノート」「計算ドリル」「算数形成確認プリント」も活用している。

「自学自習」では、授業と連動した自学自習の計画を立てている。授業の中で振り返ったことをもとに、各児童が理解度に応じて復習や予習を選択している。その際「くりかえし計算ドリル」や学習アプリの「ミライシード」も活用している。

### (1) 「宿題」について (写真①)

#### ① 基礎学力を身につける (復習や予習)

- ・ 計算問題 (くりかえし計算ドリル)
- ・ 漢字の学習 (くりかえし漢字ドリル)、別冊「漢字ドリルノート」
- ・ 習熟を図るための練習プリント

#### ② 生活習慣を身につける (年間を通して実施)

- ・ 翌日の日程、持ち物確認を行う。
- ・ 行事や集会があった日等、日記を通して振り返る。

### (2) 「自学自習」について (写真①)

算数科の授業における振り返りをもとに、「教科書」や「くりかえし計算ドリル」を活用し、「けてぶれ学習」に取り組んでいる。授業の中で、自分の課題を見つけ、そのために何をするか目的意識をもって取り組んでいる。また、社会科で興味を持ったことを調べたり、PowerPoint にまとめたりする学習にも取り組んでいる。

### (3) 身につけさせたい力

- ① 学習習慣
- ② 粘り強くやり抜く力 (継続する力)
- ③ 計画し、実践する力 (自学自習力)
- ④ 基礎学力の定着
- ⑤ 書く力

### (4) 評価等の方法

- ・ 毎朝の提出し、担任の休み時間を使って点検している。
- ・ 計算ドリルやプリントは、児童に解答を配布し、自己解答から分析、間違い直しまでを家庭学習中で行えるよう指導している。(解答までしたものを担任が確認)
- ・ 授業の始まりに家庭学習の取り組みについて共有している。

### (5) 成果 (○) と課題 (△)、課題への対応策 (→)

○授業終盤に家庭学習で取り組むことを計画しているので、各自授業の理解度に応じた自主的な学習ができてきている。

○予習や復習を通して学習の定着が図れ、授業での学習意欲の向上に繋がっている。

△家庭学習への取り組みが持続しない児童がいる。

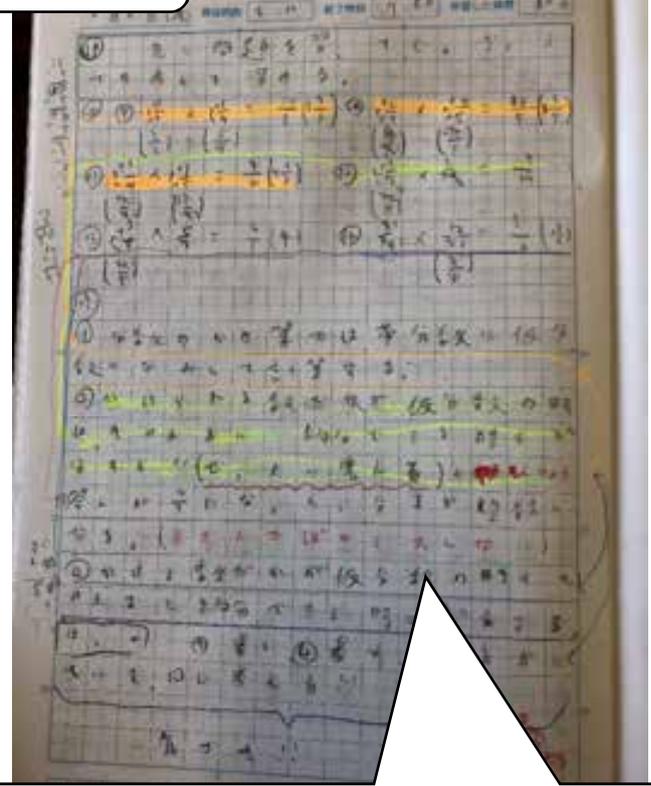
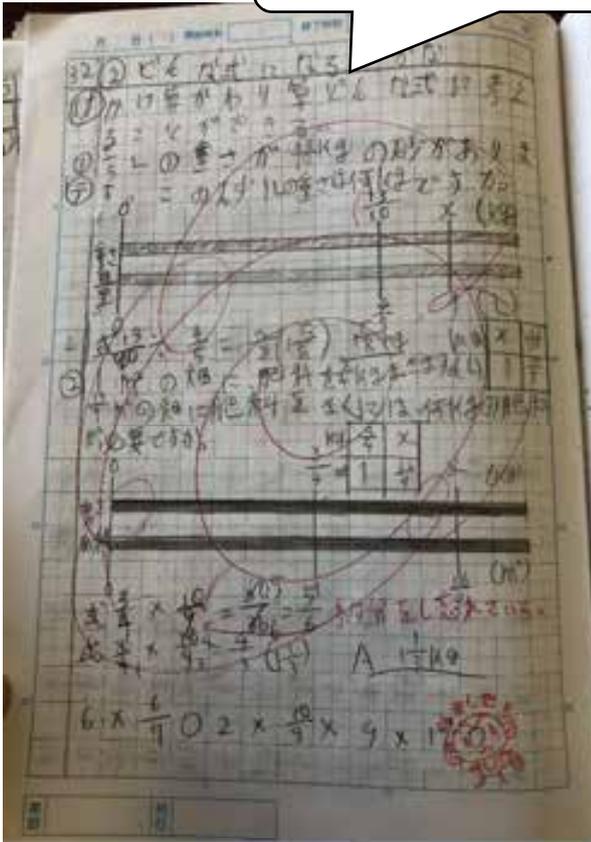
→取り組み時間など家庭との連携を深めていく。授業の中で、さらに取り組みを意識させる。

△ミライシードの活用がネット環境で利用できない児童がいる。

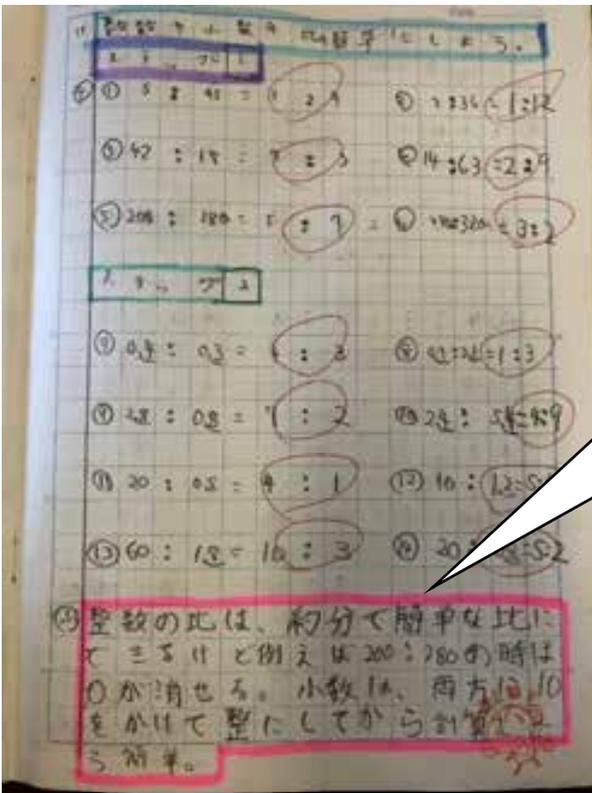
→家庭のWi-Fi環境の聞き取りを行い、ICTアドバイザーへ支援を求める。

宿題 (写真①)

⑦⑧⑨⑩学習に取り組んでいます。



問題の解き方や、自分の間違いやすいポイントを自分なりに分析してふりかえています。



授業の中で難しかった問題をドリルを活用して繰り返し練習しています。解答もその都度自分で行います。

補習や帯タイムでの活用以外に、家庭学習でも取り組んでいる。



## 特別支援学級（知的）の家庭学習の取組実践

家庭学習帳「きらきらノート」を配布して、「宿題」と「自学自習」を行う。「宿題」では、授業で学習したことが「身についているか」「一人でできるか」という目標を立て取り組んでいる。そのため、授業で使用したプリントをそのまま使ったり少し問題を変えて取り組ませたりしている。

### （1）「宿題」について（写真①）

#### ①生活習慣を身につける（年間を通して実施）

- ・毎日2ページの宿題を行うことで放課後や家庭での時間の学習習慣の定着
- ・行事や家庭での出来事を日記に書き、振り返る場面とする

#### ②基礎学力を身につける（その日の授業の復習）

- ・学習したことと同じ問題に取り組むことで、基礎学力の定着を図る
- ・宿題でできていない所は授業でもう一度学習し、宿題の問題に取り組む
- ・漢字練習に毎日取り組ませる

### （2）「自学自習」について（写真②）

6年生の児童は、中学校へ向け、小学校の既習漢字の振り返りの学習を授業内でiPadを使って行っている。その振り返りで出てきた漢字の中から自分で熟語を考えたり、インターネットで調べたりして漢字学習を行っている。

4年生の児童は、授業で習ったことが書かれているノートやプリントを持ち帰り、振り返りながら家庭学習に取り組んでいる。

### （3）身につけさせたい力

- ①学習習慣
- ②粘り強くやり抜く力（継続する力）
- ③計画し、実践する力
- ④基礎学力の定着
- ⑤書く力

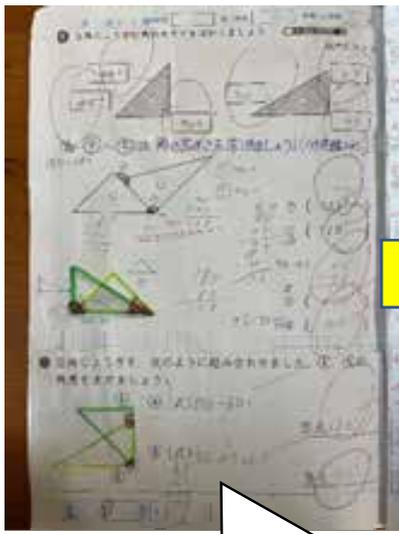
### （4）評価等の方法

- ・家庭で宿題に取り組み、保護者からのサインをもらう。
- ・毎日提出し、学級担任がすきま時間を活用して確認し、丸付けとサインとコメントを入れる。
- ・間違えていた問題は、授業の合間やチャレンジタイム、放課後の時間を使ってやり直しを一緒に行う。

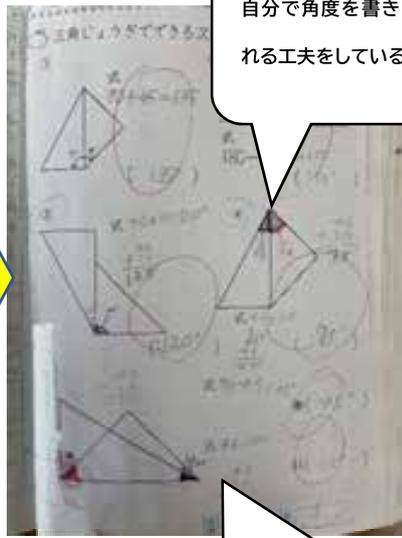
### （5）成果（○）と課題（△）、課題への対応策（→）

- 毎日宿題を提出できるようになった。（生活習慣が身についてきた）
- 自分で宿題を考えられるようになった。
- 宿題に他に漢字検定の練習や日記を主体的に取り組むようになった。
- △保護者からのサインがない時がある。家庭学習における家庭との連携課題  
→連絡ノートで宿題の内容・児童の達成度のやり取り

宿題 (写真①)



授業で学習したのと同じプリントだが、  
まだ、学習が身についていない。



もう一度一緒に具体物を操作したりして学習を行った日の宿題。仕組みが分かり、一人で全部解けるようになった。

自分で角度を書き入れる工夫をしている。

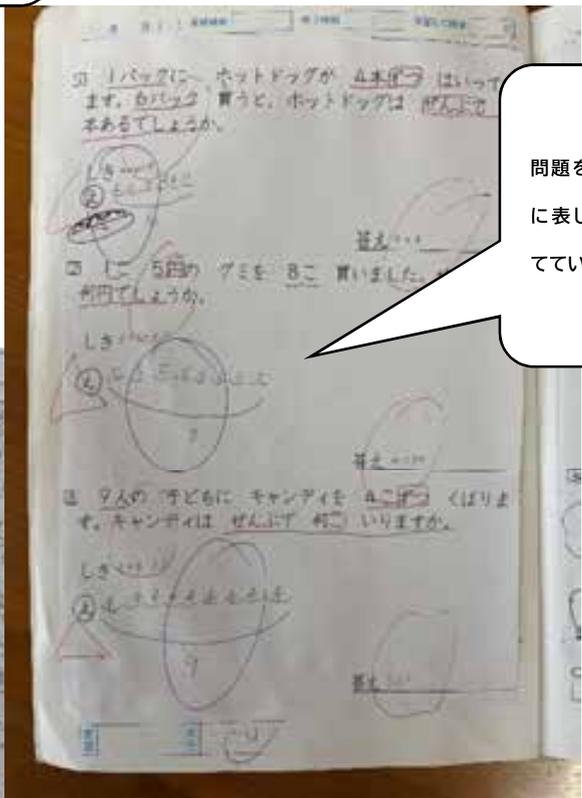


日記の宿題は出していないが、書きたくなったことを日記に書く意欲が出てきた。

写真②



漢字学習で出てきた漢字を使って、自分で考えたり調べたりして熟語にしている。(自学自習)



問題を簡単な絵に表して式を立てている。

## (2) 恩納村立恩納幼稚園の取組

主題 : 互いのよさに気づき、人と関わる力を育むための援助の工夫

### ～ 園における遊びを通して～

#### 1. テーマ設定の理由

幼稚園教育要領の人間関係の項目において、「他の人々と親しみ、支え合って生活するために、自立心を育て、人と関わる力を養う」とある。昨今では、地域活動や異年齢児との関わりなど社会生活の経験が少なく、人間関係において身近な人と親しみ関わるのが減りつつある。本園の幼児は、友達との関わりを好み誘い合って遊びを進めていこうとする姿はみられるが、関わり方や言葉使いに苦手さがあり、相手の気持ちがあくみ取れずトラブルが起きてしまう様子がみられる。トラブルの際も自己主張が多く、相手の思いを聞き入れようとする姿があまりみられない。

幼児は教師との信頼関係に支えられて自己を発揮し、教師や他の幼児に認められる体験をくり返し重ねることで満足感や充実感を味わうことができると考える。さらに友達の姿に共感し相手に親しみをもち互いを認め合うことができるだろう。幼児が他の幼児との関わりの中で互いのよさに気づき、相手を尊重する気持ちを共有することによって自己を調整する気持ちが育まれていくと考える。そこで互いのよさに気づき、人と関わる力を育むための援助のあり方を目指し本テーマを設定した。

#### 2. 研究仮説

- (1) 自己を発揮できる場を設定し、自分の力でやる充実感や満足感を味わえるようにすることで、自信をつけ様々な活動に意欲的に取り組むことができるようになる。また相手のよさに気づき、お互いを認め合い尊重し合える関係を築けるようになるだろう。
- (2) 友達との共通の目的をもって活動をする中で、目的を達成するために気持ちの折り合いを付ける体験を重ねることで、その思いに気づき決まりの必要性などに理解し、自分の気持ちを調整する力を育むことができるであろう。

#### 3. 幼児の実態

##### (1) 恩納幼稚園について

1組担任	: 教諭 池原里奈	男子	: 9人	女子	: 8人	合計	: 17人
2組担任	: 教諭 石垣翔子	男子	: 9人	女子	: 8人	合計	: 17人

##### (2) 幼児の特徴

- ・活発で明るく社交的な幼児が多い。様々な保育所から入園してきた幼児が集まった幼稚園だが、初対面の友達へも自ら関わろうとするなど、積極的な姿がみられる。中には自己中心的な幼児もおり、自分本位な気持ちを押し通そうとする姿や相手の嫌な面だけを教師へ訴える様子がみられる。また、協力して遊ぶことや一緒に活動することに不安を感じている幼児もいる。

#### 4. 指導の実際

##### 事例1 運動チャレンジ(教師との信頼関係を基盤とした取り組み)

###### 【幼児の姿】

梅雨時期と重なり、室内での静的な活動が多くなってきたが体を動かして楽しみたい幼児が多く、大縄とびが盛んになってきた。一人一人が跳ぶ回数を増やし盛り上がっているがその場限りで終わってしまう様子があった。

###### 【教師の願い】

何度もくり返し頑張っている姿を友達に見てもらい、自信や満足感を感じてほしい。

友達の頑張っている姿を見て、友達のよさに気づき、一緒に活動する楽しさを

たくさん、とべるよう  
になりたいな～  
がんばるぞ～!



味わってほしい。

**【環境構成】**

テラスで行っていた大縄跳びを、他児の刺激となるようにホールで行った。

**【教師の援助】**

運動チャレンジカードを作成し跳んだ回数を記入しわかりやすく可視化した。振り返りの時間に発表の場を設けることで、他児への刺激となるようにした。

**【幼児の変容】**

運動チャレンジカードを作成し跳んだ回数を記入しわかりやすく可視化し、意欲的に取り組んでいる姿を認める言葉かけを行うことで、記録が増えていく喜びや楽しみを感じ、積極的に取り組む幼児が増えた。

運動チャレンジカードを振り返りの時間に友達に発表することで、友達へも良い刺激となり、「〇〇さんは〇回跳べるんだよ。」「私もやってみたい。」と友達の姿に触発され、幼児自身の意欲へと繋がっている様子がみられた。

みんなに見てもらおう  
うれしいな！  
やる気がでるぞ！



**事例2 運動会（友達と共通の目的をもち取り組んだ活動）**

**【幼児の姿】**

大縄跳びに挑戦したり目当てを達成したりする幼児が増え、ますます体を動かすことに意欲的になってきた。

友達の姿に憧れをもったり、跳び方を教えたりと友達同士の関わりが多くみられるようになってきた。

**【教師の願い】**

一人ひとりが自信をつけくり返し挑戦する中で、友達同士の関わりが多くなってきたが、まだまだ少数の集まりなので全体で協力したり、一つの目的に向かって挑戦しやり遂げたりと満足感や達成感を感じてほしい。

**【環境構成】**

リズムダンスを取り入れ全体で共通の活動を行い、楽しさを共有できるようにする。新たな運動チャレンジカードを用意し、さらに幼児同士の関わりがもてるようにする。

**【教師の援助】**

全体でのリズムダンスを取り入れ、自然と楽しい雰囲気ですべての幼児が共通の楽しさや喜びが感じられるようにした。

リズムダンスや縄跳びなど得意なことを多くの人に披露したい気持ちをくみ取り、運動会という場を幼児と計画し、目的を明確化し全幼児の共通の目標を決めた。

**【幼児の変容】**

運動会という共通の目的をもったことで、一緒に活動する幼児同士が目的を共有し、ときには自己主張がぶつかり合いながらも折り合いをつけることをくり返し、工夫したり協力したりしながら活動を進める姿がみられた。また、一人では得られない達成感や満足感を味わったことで自分のことも友達のことも認めることが出来、生き生きするような関係性を築いていく様子があった。

みんなでリズムを  
あわせておどるに  
はどうしたらいい  
かな？



**5. 考察**

**成果**

(1) 運動チャレンジという場を設定したことで粘り強く取り組み自己を発揮することや、教師や他の幼児に認められる体験を重ねたことで自分の良さや特徴に気づき、自信をもって行動できるようになってきた。

さらに自分が認められることで友達の良さも認められるようになり、相手を尊重し合い信頼感をもつようになってきた。

あきらめずにれんしゅうしたら、  
たくさんとべるようになったぞ！  
ぼくってすごい！



- (2) 幼児と共に運動会を計画し進めたことで共通の目的が実現する喜びを味わう経験や他の幼児と試行錯誤しながら活動を展開する楽しさを通して、自分の思いと相手の思いの違いに気づいたり、いざこざなどの葛藤体験を乗り越えて互いに我慢したり受け入れたりしながら自己を調整できるようになってきた。
- (3) 友達との関わりを深め、思いやりの気持ちをもつようになり、様々な場面で友達同士協同し活動する姿が多く見られるようになってきた。



おもたそう  
だな。  
てつだって  
あげよう!

ありが  
とう

課題

- (1) 積極的に喜んで運動遊びにチャレンジする幼児が76%程度、運動遊びに苦手意識がありくり返し声かけが必要な幼児が24%程度おり、運動遊びを取り入れ研究したことで不得意に感じる幼児への援助の手立ての工夫が必要であると感じた。
- (2) 目的やイメージを共有するなかで幼児同士で思いの伝え合いやいざこざ等の経験を幼児一人ひとりの発達や特性によって感じ方や考え方が様々なため、幼児同士の関わり方に不安があり教師の仲介や代弁等の援助が必要な幼児が全体の18%程いる。

今後の手立て

- (1) 苦手意識をもつ幼児と向き合い、ありのままの姿を受け止め期待をもって見守りながら、信頼関係を築き、安心して自己を発揮できるように援助を行う。また、運動遊びのみではなく幼児それぞれの好きなことや得意なことを発揮する場を設定し幼児の姿に寄り添い、前向きな見通しをもちながら自信をもって取り組めるように援助を行う必要がある。
- (2) 月齢や発達面など個人差はあるが、折り合いをつける経験をくり返し、幼児同士一緒に遊んだり活動したりすることを通して互いの良さや特性に気づいていくであろう。思いを伝え合う経験を重ねていく姿を受け止め、個々の育ちを保護者と共有し適切な援助を行う必要がある。

がんばれ!  
がんばれ!  
〇〇さん  
じょうずだ  
なあ。



わたしがま  
わしてあげ  
る!



いきをあわ  
せて…  
よいしょ!

# 恩納村立恩納小学校の取組

## 主題：自ら学ぶ力を育成するための家庭学習への取組

### 1. 目標

中学校1学年終了時までに「自学自習力」を身につけさせる。

### 2. 本校が取り組んでいる家庭学習について

本校では、「家庭学習」を各教科の授業と連動させた既習事項の確認や習熟を図るために課題を出す「宿題」と、児童自身が課題を見つけ、学習計画を立て取り組む「自主学習」の2つを合わせて家庭学習として位置づけている。

「宿題」では、「書く力」の育成に向けた日記や授業で学習した内容を家庭で振り返ることができるよう課題を設定している。その宿題だけでは習熟が足りないようであれば「自主学習」で更に深めたり、時には発展問題に挑戦したりと自分自身で計画を立て（計画）、授業で学習したことの確認（復習）、事前の準備（予習）等を通して、自分の学習の取り組み方を振り返り、次の学習につないでいけるよう進めている。また、音読や読書活動も自主学習として推奨するなど、毎日の学校生活や家庭生活の中から疑問や課題、興味・関心を発見し、自己解決する力の育成に向け、「家庭学習」の習慣を身に付けられるよう促している。

本校の具体的な取り組みとして、県の資料を参考に独自の「自主学習チェックシート(写真①)」や「自主学

習の手引き(写真②)」を作成し、

家庭学習の目標や内容、取り組んだ時間を振り返ることができるよう保護者と連携し(チェックシートに保護者のサインやコメント記入)活用している。また、自主学習のポイント等を明確に示し、効果的に学習する方法や自主的に学習する態度を身に付けさせ、自ら学ぶ習慣の確立と学習内容の確実な定着を図っている。

家庭学習の評価等については、毎日、担任に提出をし、すき間時間等を利用して確認し、コメントを記入するなど看取りや見守り、支援を行っている。また、保護者の協力や理解、児童の意欲を高められるよう、毎学期の成績表に家庭学習の

取り組み状況を三段階評価し記載している(図①)。

また、優れた家庭学習ノートを掲示し、学校全体で良い取り組みを称賛し、全児童の参考となるようにしている(写真③)。

児童の自主学習チェックシート(写真①)



自主学習の手引き(写真②)



成績表への表記(図①)

評価：自分の課題や目標を持って進んで家庭学習に取り組んでいる。

評価基準	評価
自分の課題や目標を持って進んで取り組んでいる。(宿+自)	◎
毎日の宿題に取り組んでいる。(宿)	○
提出率や取り組み内容に意欲が感じられない。	△

校内掲示(写真③)



「家庭学習」の習慣化は、児童一人一人が夢や目標を持つだけでなく、その夢の実現に向けて努力するための方法を学ばせる機会と考え、小学校生活6年間で学び方を学ばせ、中学校と連携し義務教育9年間を通じた家庭学習の充実を図っていきたい。

## 2. 各学年の取組実践

### 1 学年の家庭学習の取組実践事例

「すてきノート」を配布して、「家庭学習」として「宿題」を行う。「宿題」には、授業内容と連動したプリントを活用。「家庭学習」は、ノートの使い方（写本・言葉集め・漢字・計算・日記等）を学習してから2学期から実施。音読カードで毎日の取り組み（音読・家庭学習）を保護者に記録していただく。

#### (1) 「宿題」について（写真①）

- ① 生活習慣を身につける（年間を通して実施）
  - ・ 翌日の時間割、持ち物、宿題、下校時刻、連絡などのメモ
- ② 基礎学力を身につける（その日の授業の復習）
  - ・ 写本、平仮名・カタカナ・漢字・計算プリント
  - ・ 国語の教科書・別冊「音読すらすら」からの音読
  - ・ 日記（土日のみ）－ 2学期より実施

#### (2) 「すてきノート」について（写真②）

- 「すてきノート」1ページに 家庭・自分で考えて取り組む。
- ・ 写本、言葉あつめ、ひらがな練習、カタカナ練習、漢字・計算ドリルの活用、日記 等

#### (3) 身につけさせたい力

- ① 学習習慣
- ② 毎日粘り強くやり抜く力（継続する力）
- ③ 基礎学力の定着
- ④ 読む力
- ⑤ 書く力
- ⑥ 計画し、実践する力

#### (4) 評価等の方法

「すてきノート」の宿題プリントは毎日提出し、担任が家庭学習への取り組みがあるかを確認し、指導と支援を行う。「宿題（家庭学習）」は保護者に点検サインと正誤チェックをお願いし、その後、宿題プリントと同じか同等内容のチェックプリントを授業で実施。結果によって補習（一斉・個別）をしている。音読カードで保護者から◎がもらえた児童は、音読テストを実施し、評価を行う。

#### (5) 成果（○）と課題（△）、課題への対応策（→）

- 家庭学習の取り組み内容に差はあるが、30/34人 は、毎日家庭学習に取り組んでいる。
- 単元前に家庭での音読への取り組みがすすめられているため、授業内容理解も早い。
- 日記の取り組みで書くことへの抵抗が少なくなってきたように思う。授業時間内で書き上げることができるようになってきた。家庭学習での取り組みも見えてきた。
- 授業内容と連動した宿題の取り組みで学習効果が得られた。
- △ 家庭学習の習慣化が見られない児童がいる。
  - 家庭へ、家庭学習の効果と必要性について理解と協力をお願いし、児童へ継続指導。（放課後対応）



## 2学年の家庭学習の取組実践事例

「すてきノート」と「宿題プリントファイル」を配布して家庭での学習を行っている。「宿題プリントファイル」の表紙裏には「チャレンジ!宿題チェックシート」を張り、記録をつけるようにしている。

### (1) 「宿題」について (写真①)

- ① 生活習慣を身に付ける (年間を通して実施)
  - ・ 翌日の日程 (時間割)、宿題、持ち物、家庭への連絡メモ
  - ・ 「チャレンジ!宿題チェックシート」を張り、毎日学習の記録をつける
- ② 基礎学力をつける (その日の授業の復習)
  - ・ 音読
  - ・ 日記
  - ・ 宿題プリント (国語・算数)
  - ・ 「すてきノート」に漢字の復習
  - ・ 「すてきノート」に算数の復習

### (2) 「自学自習」について (写真②)

- ・ テストで間違ったところを「すてきノート」に写して復習する
- ・ 自分で考えて漢字や算数の復習を行っている

### (3) 身につけさせたい力

- ① 家庭での学習習慣
- ② 粘り強く取り組む力
- ③ 基礎学力の定着
- ④ 読む力
- ⑤ 書く力
- ⑥ 計画し実践する力

### (4) 評価等の方法

- ・ 毎日提出させ、学級担任が朝の会の前までの時間や、休み時間、隙間時間を利用して確認を行っている。サインやコメントを入れて学習の見取りを行い支援、指導を行っている。
- ・ プリント等の正誤の確認が間に合わないときは、放課後等、児童が帰った後に確認を行っている。

### (5) 成果 (○) と課題 (△)、課題への対応策 (→)

- 音読を継続して行うことで教科書の音読が上手になり、読む力が身についてきた。
- 日記を継続することで、文章を書くことに抵抗が少なくなっている。
- その日に習ったことを家庭でも宿題として出しているのも、基礎学力の定着を図ることができた。
- △ 家庭の協力が得られない児童への対応
  - 家庭で、音読やプリントの確認、正誤の確認ができていないので、学校で課題に取り組みせたり、間違い直しや音読などに取り組みさせている。家庭への協力願いを継続して行っていく。
- △ 家庭学習の習慣化
  - 個別に支援が必要な児童に対してプリントを張って対応したり、休み時間や放課後に取り組みさせるようにしている。家庭への協力願いを継続して行っていく。

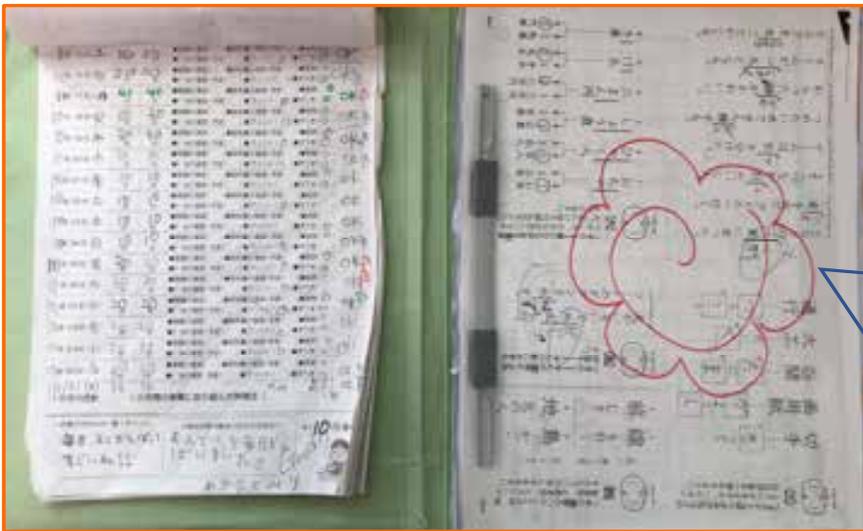
「すてきノート（宿題）」写真①

上の段

- ・連絡・日程（時間割り）・宿題の内容・持ち物などを書く。
- ・宿題については、音読する本の題名を入れている。
- ・「すてきノート」については、2ページ以上とし、今日の授業の復習をおたすけシートを見ながら復習している。

下の段

- ・今日あった出来事を「いつ・どこで・何をした」を意識したり、会話文を入れたりして日記に書くように取り組んでいる。
- ・習った漢字を使うように指導している。



宿題ファイル

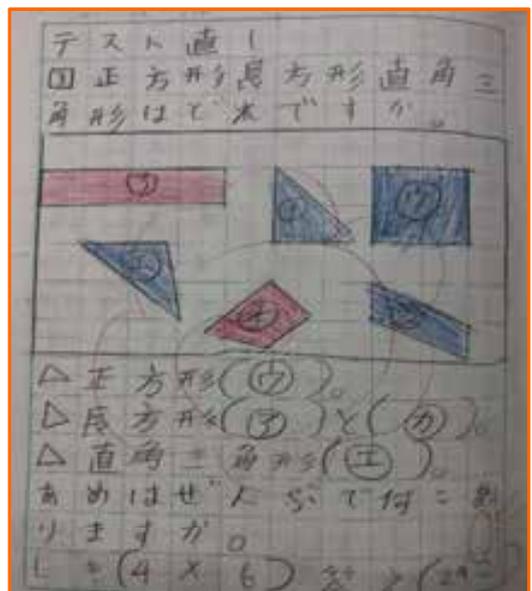
宿題ファイルに宿題チェックシートを貼り、保護者のサインをもらうようにしている。月の初めに月目標を立てて、2週間で振り返りをさせている。  
国語算数のプリントで復習を行っている。

「すてきノート（自学自習）」写真②

自分で考えての復習



算数のテストの間直し



## 学年の家庭学習の取組実践事例

「すてきノート」を配布して、「宿題」と「自主学習」を行う。「宿題」は、授業の復習になるプリントを配布したり、市販されている「漢字ドリルノート」や「計算ドリルノート」を活用している。また、「自主学習」はやる内容について困っている児童もいるので、時々授業の単元に応じて語句調べや短歌・詩づくりや、文章題作りなどを薦めたりしている。

### (1) 「宿題」について (写真①)

- ① 生活習慣を身につける。
  - ・ 翌日の日程、宿題の課題、持ってくるもの、連絡などのメモ
- ② 基礎学力を身につける。(その日の授業の復習を中心に)
  - ・ 国語プリント
  - ・ 算数プリント
  - ・ 別冊「漢字ドリルノート」
  - ・ 別冊「計算ドリルノート」
  - ・ 日記

### (2) 「自主学習」について (写真②)

- 「日記」と自分に必要な内容の「自主学習」を毎日1ページやってくるようにしている。
- ・ 日記はメモを書いた下の部分に課題として出している。題や書く量は特に指定せずに自由に書かせているが、行事や学年の校外学習などが行われた日はそのことを題にして書かせている。
  - ・ 授業やテストの復習
  - ・ 授業の予習
  - ・ 調べ学習 (自分の興味があることや授業の中で気になったこと)

### (3) 身につけさせたい力

- ① 学習習慣
- ② 継続する力
- ③ 基礎学力の定着
- ④ 書く力
- ⑤ 興味関心を広げる
- ⑥ 計画し、実践する力

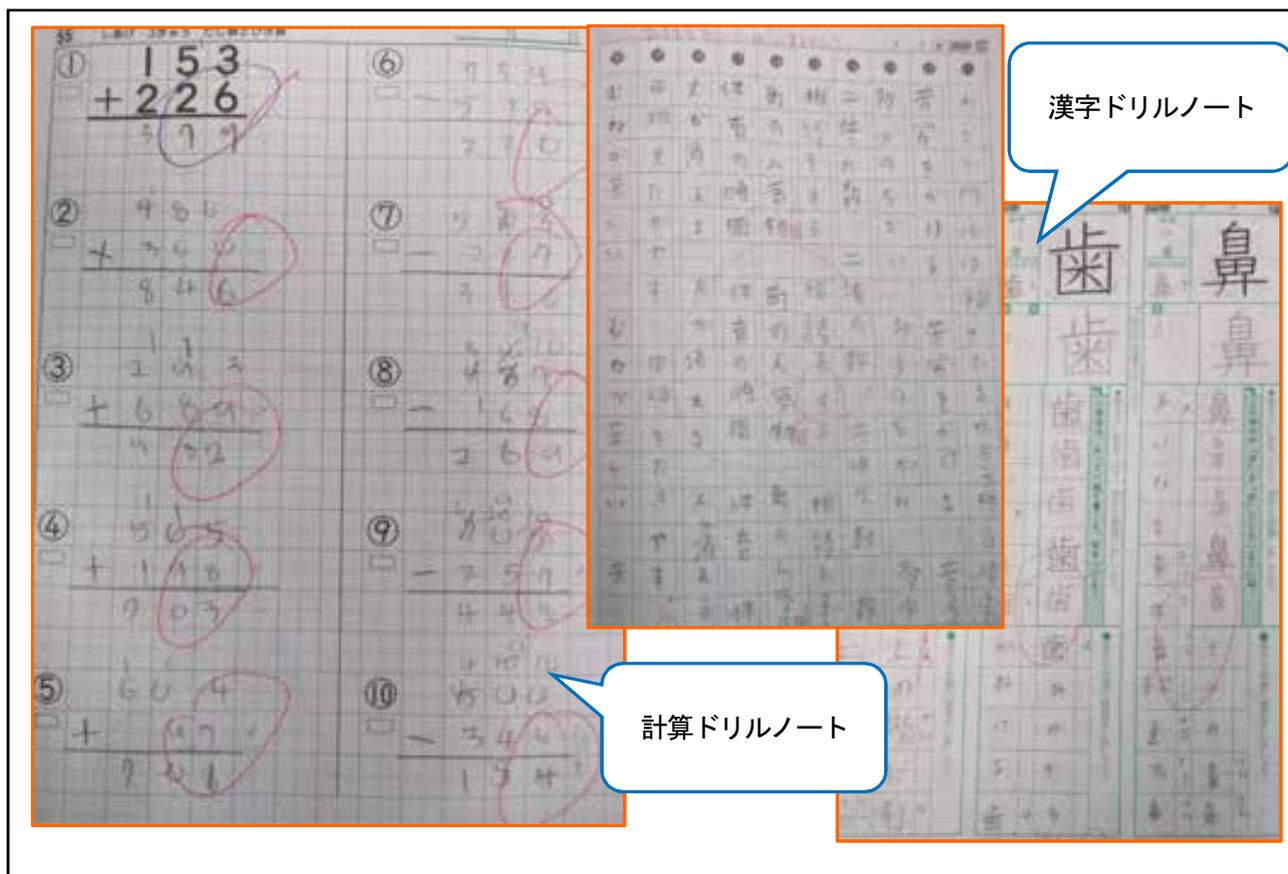
### (4) 評価等の方法

毎朝提出させ、係が提出状況をチェックしている。学級担任が専科の時間やすき間時間を活用して確認し、丸付けとコメントを入れて見るや指導、支援を行っている。プリントの解答は、補習の時間に行ったり担任が行ったりしている。

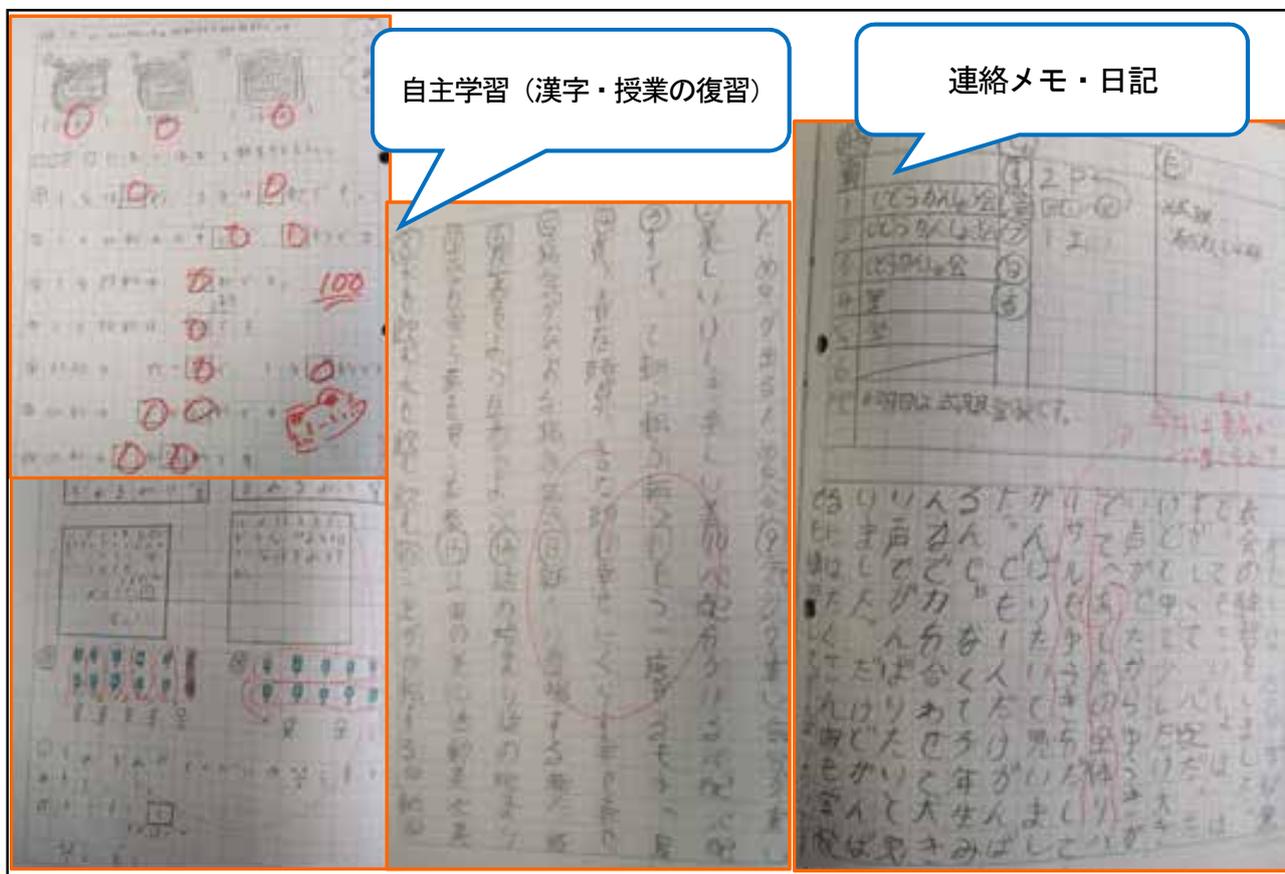
### (5) 成果 (○) と課題 (△)、課題への対応策 (→)

- 授業と家庭学習を連動させることで理解が深まった。(プリント・ドリル学習)
- 教科の学習だけでなく、自分の興味のあることを調べることで意欲的に学習できるようになった児童がいる。
- 自習学習ノートに授業ではできない色ペンの活用をしながらまとめることで楽しく取り組む児童がいる。
- △ 自主学習ノートの提出状況が悪い (25%~70%)
  - 家庭との連携、他の児童の内容を紹介する等して指導していく。
- △ 自主学習内容の工夫
  - 内容や書き方の良い児童のノートを紹介する。
  - 丁寧に書くことの大切さを伝える。

「宿題」について (写真①)



「自主学习」について (写真②)



#### 4学年の家庭学習の取組実践事例

「すてきノート」を配布して、「宿題」と「自主学習」を行う。「宿題」は、各担任が授業の流れに応じた国語、算数の課題をだしている。市販されている「計算ドリルノート」や「漢字ドリルノート」も活用している。表紙裏には「自主学習シート」を張り、「自主学習」を行った際に児童や保護者が記録を付ける。

また、「すてきノート二冊制」で行っている。これは、毎日宿題の課題として日記を書かせており、担任の返事を書く時間をとるため、交換日記のような感覚で行っている。これは校内研究（「書く」こと）と連動した取り組みとしている。

##### (1) 「すてきノート」について (写真①)

- ① 生活習慣を身につける
  - ・ 翌日の日程、宿題の課題、持ち物、連絡などのメモ
- ② 基礎学力を身につける (その日の授業の復習)
  - ・ 別冊「計算ドリルノート」
  - ・ 別冊「漢字ドリルノート」
  - ・ 日記
  - ・ 漢字、計算の練習
- ③ 学びに対する主体性を身につける
  - ・ 自主学習したことをシートに記入

##### (2) 「日記」について (写真②)

メモの書いた下の部分に「日記」を毎日課題として出している。教師がお題を設定し、そのことについて自分の考えや思ったことを書かせている。特に、書く量を指定することはない、自由に書かせている。それに対して、担任が読み、コメントを書いている。

##### (3) 身につけさせたい力

- ① 学習習慣
- ② 毎日粘り強くやり抜く力 (継続する力)
- ③ 基礎学力の定着
- ④ 書く力
- ⑤ 計画し、実践する力
- ⑥ 興味関心を広げる

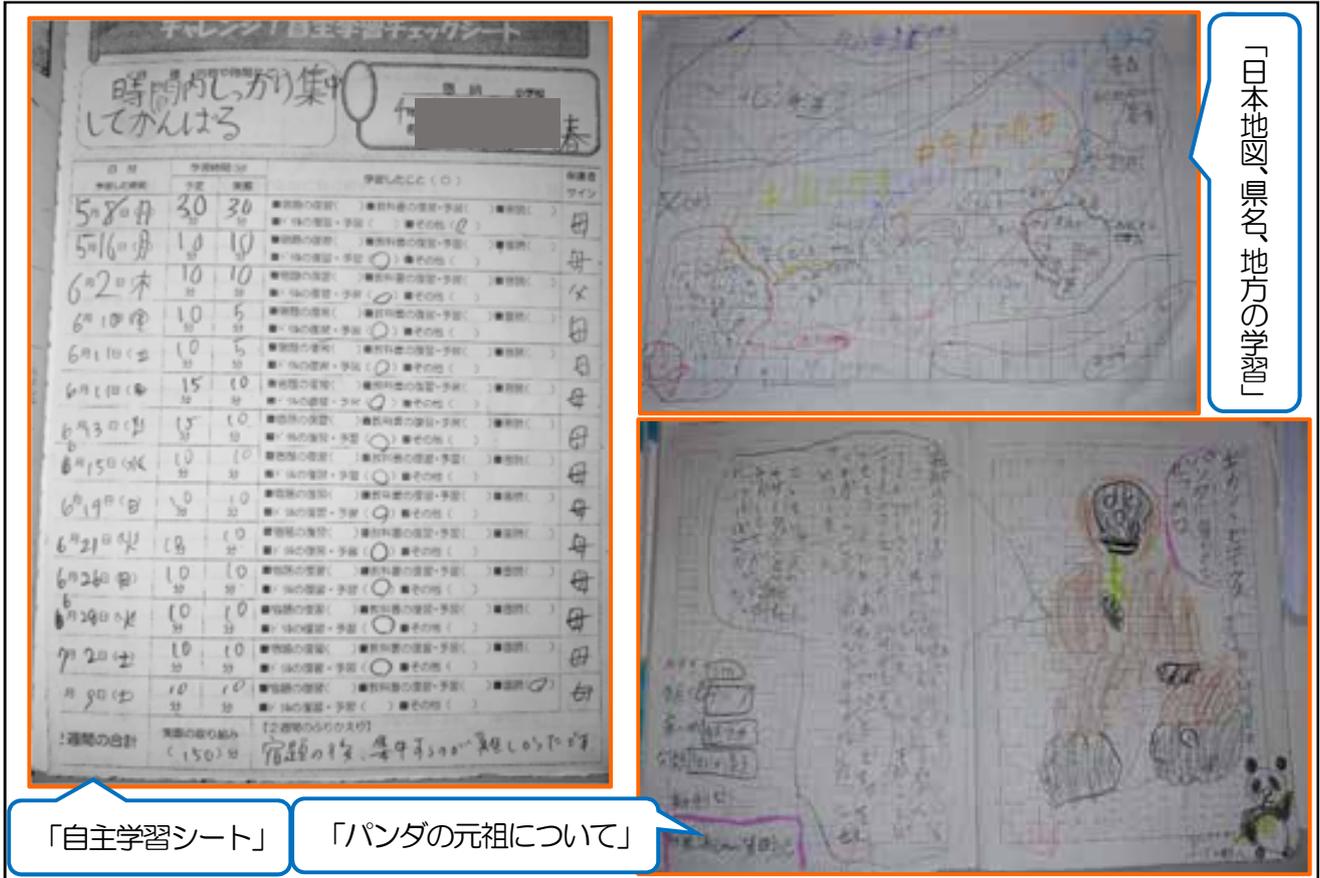
##### (4) 評価等の方法

毎日提出することにし、係が提出のチェックを行っている。そして、放課後や自宅にて学級担任が確認し、検印とコメントを入れ、実態把握や指導、支援を行っている。「自主学習シート」の記入や練習問題等の正誤等の確認は、保護者をお願いしている。

##### (5) 成果 (○) と課題 (△)、課題への対応策 (→)

- 毎日家庭学習をやってくる児童は6, 7割おり、その中でも自主学習をしてくる児童は数名いる。
- 教科等の授業で、書く活動に対する抵抗感が少なくなった。
- 基礎学力 (漢字、計算) が定着してきた。
- △ 家庭学習をしてこない児童が決まって同じ児童である。
  - 家庭学習の必要性を理解させるような継続的な指導が児童・保護者に必要。
  - キャリア教育と連動した児童にとって必要を感じるような取り組みを行う。

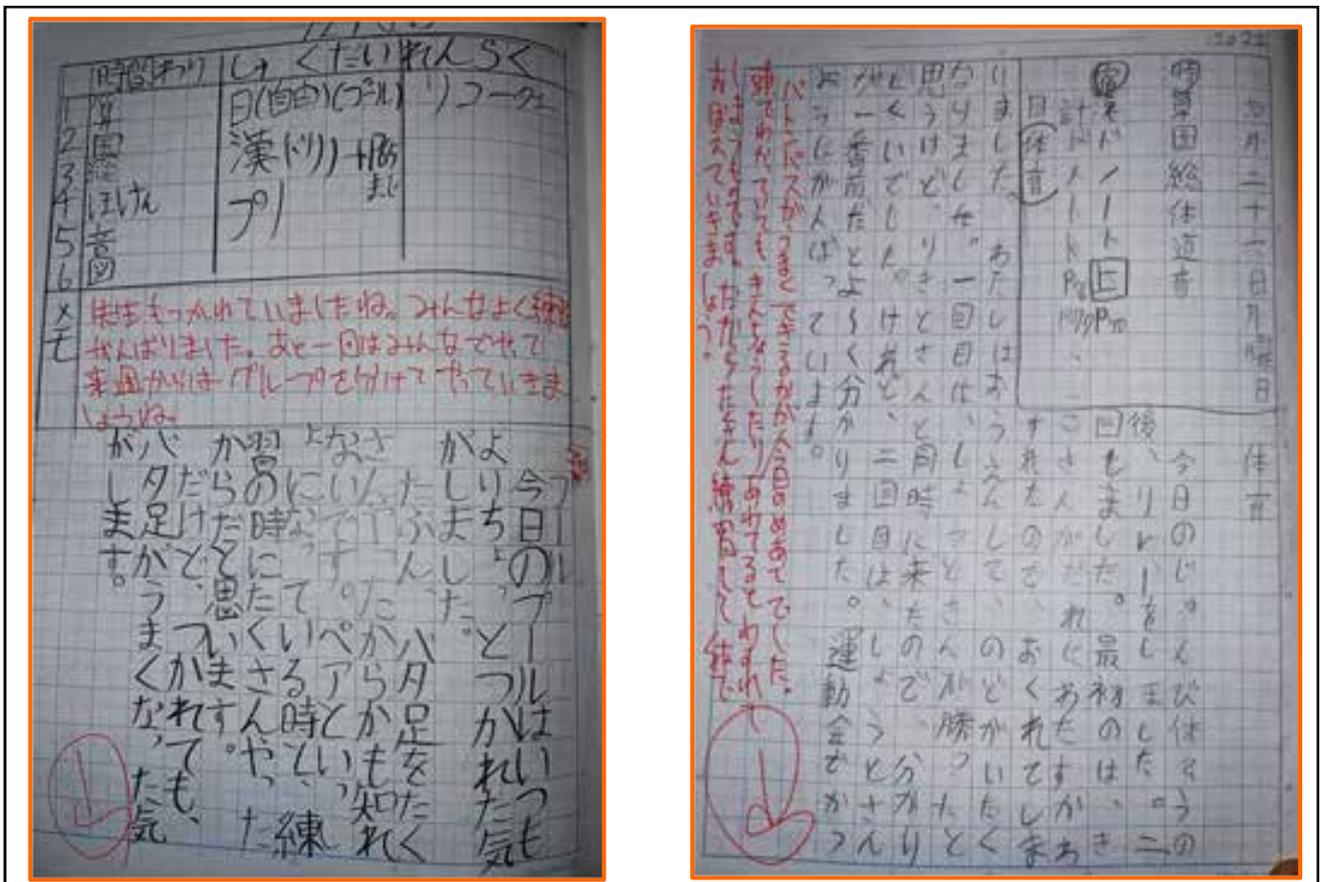
「すてきノート」について (写真①)



「自主学習シート」

「パンダの元祖について」

「日記」について (写真②)



## 5 学年の家庭学習の取組実践事例

「すてきノート」を配布して、「宿題」と「自学学習」を行う。「宿題」には、「プリント」や「漢字ドリルノート」も活用している。

### (1) 「宿題」について (写真①)

- ① 生活習慣を身につける (年間を通して実施)
  - ・ 翌日の日程、持参物、(保護者サイン欄有)
  - ・ 日記
- ② 基礎学力を身につける (その日の授業の復習)
  - ・ 漢字の学習
  - ・ プリント1枚 (表: 国語「慣用句・ことわざ」 裏: 算数「授業と連動した内容」)
  - ・ 国語の教科書の音読

### (2) 「自学学習」について (写真②)

「宿題」の次のページから、自分に必要な内容の「自学学習」を毎日1ページ以上書いてもらっている。

- ・ 授業やテストの復習 (各教科)
- ・ 授業の予習
- ・ 調べ学習 (自分の興味がある物や授業の中で気になったこと)
- ・ 各種検定の学習 等

### (3) 身につけさせたい力

- ① 学習習慣
- ② 毎日粘り強くやり抜く力 (継続する力)
- ③ 計画し、実践する力
- ④ 基礎学力の定着
- ⑤ 興味関心を広げる
- ⑥ 書く力
- ⑦ 読む力

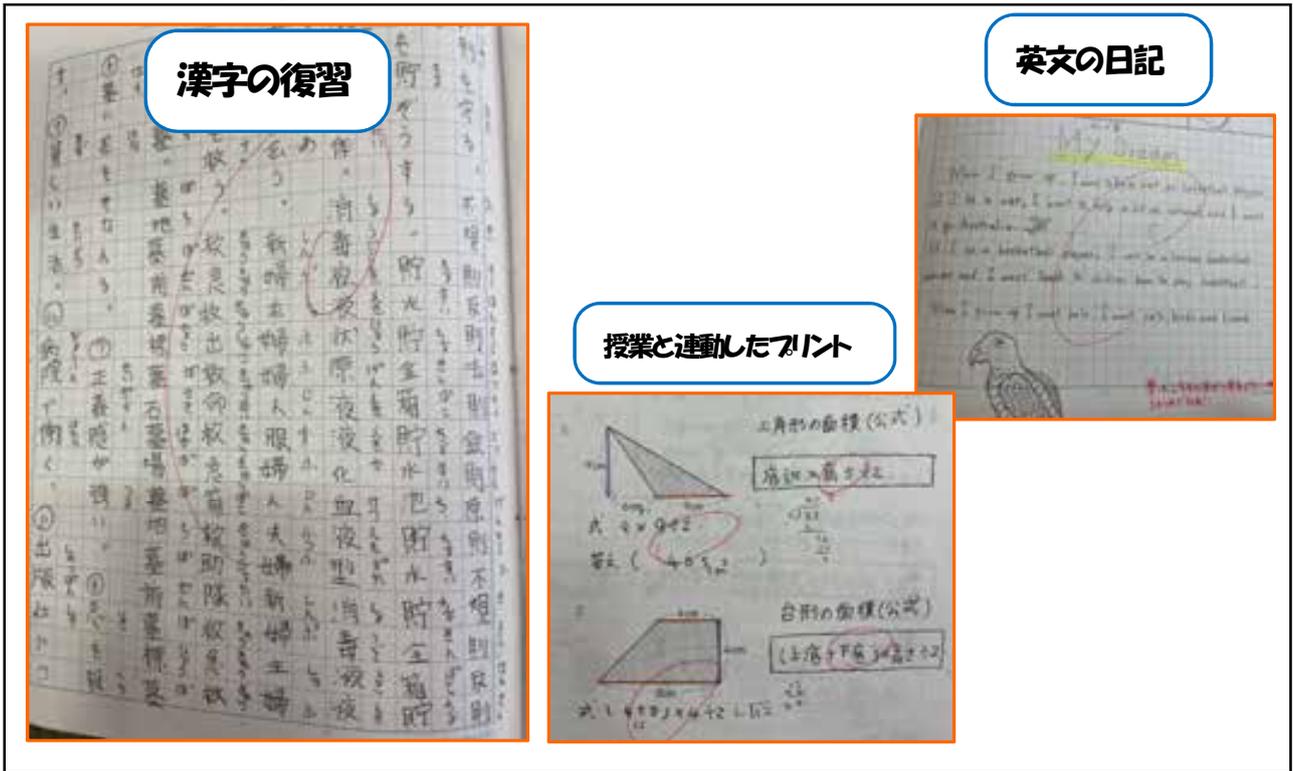
### (4) 評価等の方法

毎日朝提出させ、係が確認し、その後、学級担任がすき間時間を活用して確認し、コメントを入れて看取りや指導、支援を行っている。プリント等の解答は、授業の中や補習の時間に行っている。

### (5) 成果 (○) と課題 (△)、課題への対応策 (→)

- 粘り強さが出た。(ほとんどの子が毎日提出できる)
- 日記の内容が工夫して書けるようになった。
- 自学学習では、授業の復習だけでなく、自分自身が調べたいことをまとめたり、講話などで学んだことを表や文章でまとめたりするなど、工夫して学習できる子が多い。
- 授業と家庭学習を連動させることで、理解が深まった。
- △ 家庭学習の習慣化
  - 習慣付いていない子は、家庭と連携を図りながら、指導していく。
- △ 自学学習の内容の工夫
  - よいお手本を常に意識させ、意味のある学習になるように指導する。

「すてきノート (宿題)」 写真①



「自学学習」 写真②



## 6学年の家庭学習の取組実践事例

「すてきノート」を配布して、「宿題」と「自学学習」を行う。「宿題」には、「プリント」や「漢字ドリル」や「計算ドリル」、作文等も活用している。

### (1) 「宿題」について (写真①)

- ① 生活習慣を身につける (年間を通して実施)
  - ・ 翌日の日程、持参物の確認 (保護者サイン欄有)
  - ・ 日記 (授業の振り返り、友達のこと、月ごとの振り返り、新しい月の目標等)
  - ・ 「チャレンジ! 自主学习チェックシート」の活用 (2週間の取り組みの予定や振り返り)
- ② 基礎学力を身につける (その日の授業の復習)
  - ・ 漢字・計算ドリルを活用し、日々の学習の定着を図る。
  - ・ プリント1枚 (授業の復習)
  - ・ 国語の教科書の音読

### (2) 「自学学習」について (写真②)

「宿題」の次のページから、自分に必要な内容の「自学学習」を毎日1ページ以上書いてもらっている。

- ・ 授業やテストの復習 (各教科)
- ・ 授業の予習
- ・ 調べ学習 (自分の興味がある物や授業の中で気になったこと)
- ・ 行事後の作文を活用し、自分の成長と今後の展望について文章にまとめる。

### (3) 身につけさせたい力

- ① 学習習慣
- ② 毎日粘り強くやり抜く力 (継続する力)
- ③ 計画し、実践する力
- ④ 基礎学力の定着
- ⑤ 興味関心を広げる
- ⑥ 書く力
- ⑦ 読む力

### (4) 評価等の方法

毎日朝提出させ、係が確認し、その後、学級担任がすき間時間を活用して確認し、コメントを入れて看取りや指導、支援を行っている。プリント等の解答は、授業の中や補習の時間に行っている。

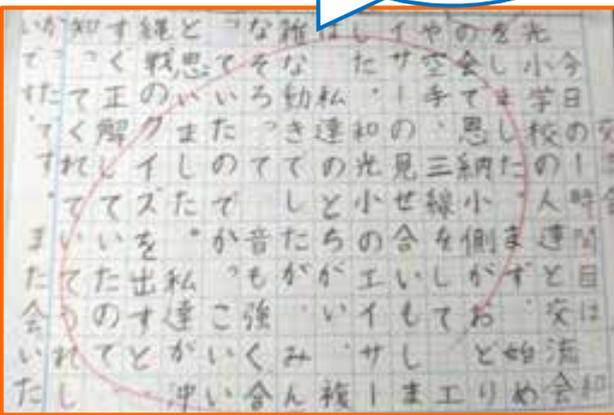
### (5) 成果 (○) と課題 (△)、課題への対応策 (→)

- 毎日の宿題と日記指導を行う中で、授業内容の定着や児童理解を進めることができた。
- 日記や作文指導、俳句の作成、新聞投稿を通して、書くことの苦手意識が無くなり、自分の考えを短い時間でまとめられるようになってきた。
- 自学学習では、授業の復習だけでなく、自分自身が調べたいことをまとめ、興味のあることを調べることのできる児童も出てきた。
- 授業と家庭学習を連動させることで、理解が深まった。
- △ 自主学习チェックシートの習慣化
  - 習慣付いていない子は、家庭と連携を図りながら、指導していく。
- △ 自学学習の内容の工夫
  - よいお手本を常に意識させ、意味のある学習になるように指導する。

◎「宿題」について（宿題①）：2週間ごとの自主学習チェックシートと毎日の日記指導を行い、家庭学習の習慣化を行う。漢字ドリル、計算ドリル、音読、復習プリント等を活用し、「宿題」の定着を図る。



自主学習チェック  
シートの活用。



毎日の日記を通して  
書く力を高め、児童  
理解にも活用する。

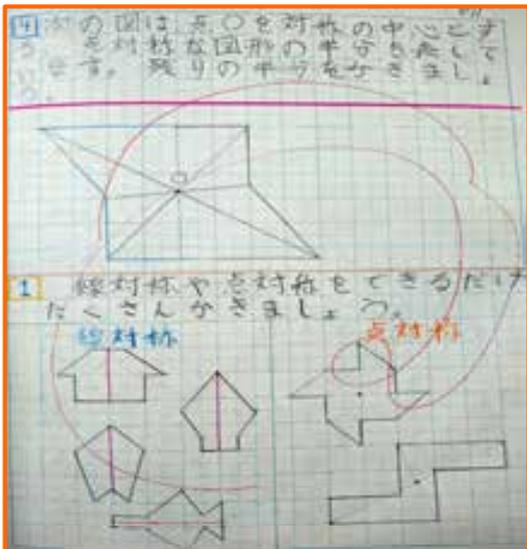
◎「自学学習」について（写真②）社会科のテスト前の問題作り、授業内容を深めるための練習問題。

(社会科)



授業と連動した自主学習。自分  
で内容を考え、学びを深める。

(算数)



### (3) 恩納村立仲泊幼稚園の取組

友達と親しみ、関わりを深め、工夫したり、協力したりして

一緒に活動する楽しさを味わえるようになるための援助の工夫

～友達との関わる活動を通して～

#### 1. テーマ設定の理由

幼稚園教育要領では、人との関わりに関する領域「人間関係」に、『他の人々と親しみ、支え合って生活するために、自立心を育て、人と関わる力を養う』とあり、ねらいに(1)幼稚園生活を楽しみ、自分の力で行動する事の充実感を味わう。(2)身近な人と親しみ、関わりを深め、工夫したり、協力したりして一緒に活動する楽しさを味わい、愛情や信頼感を持つ。(3)社会生活における望ましい習慣や態度を身に付ける。と示されている。

また、幼稚園教育要領解説では、幼稚園においては、教師との信頼関係を基盤としながら様々なことを自分の力で行う充実感や満足感を味わうようにすることが大切であり、人と関わる力の基礎は、自分が保護者や周囲の人々に温かく見守られているという安定感から生まれる人に対する信頼感を持つこと、さらに、その信頼感に支えられて自分自身の生活を確立することによって培われると述べられている。

本園の幼児の様子として、3.(2)の幼児の特徴があり、一人一人遊びが好きで活発であるが、友達に合わせたり、言葉での伝え合いがうまくいかず、自分の思いが先行しがちでトラブルを日々繰り返す様子が見られる。入園当初の園児にはこのような様子は例年所々に見られるのだが、同じような事でのトラブルが続いたり、気持ちの切り替えに時間がかかることが目立った。そのような園児の様子から、幼稚園が安心して過ごせる場所になり、安心感のもと、友達と親しみ関わりを深め、一緒に活動する楽しさを味わえるようになることを育み、さらには、工夫したり、協力したり、互いの良さを認め合う協同性への育ちを目指し、指導援助の工夫を進めたいと考えた。

#### 2. 研究仮説

(1) 様々な出来事を通して、嬉しい、悔しい、悲しい、楽しいなどの多様な感情体験を友達と一緒に味わい、触れ合いを繰り返すことで、友達との関わりが深まり、互いの思いや考えに気づいたり、認め合う関係ができ、一緒に活動する楽しさを味わえるようになるであろう。

#### 3. 幼児の実態

(1) 担任 : 教諭 船越千亜紀 男子 : 10人 女子 : 9人 合計 19人

#### (2) 園児の特徴

- ① 外遊びが好きで活発に動き遊ぶ子が多い。
- ② 歌やリズムが好きの子が多い。
- ③ 想像力があり遊びのイメージを広げ上手である。
- ④ 遊びや生活の中で、気持ちを言葉で伝えたり、気持ちの調整がうまくいかず、トラブルになることが多い。
- ⑤ 元気があり賑やかなクラスであるが、話を聞いて欲しい子が多く、静かに話を聞いたり、待つ事が全体的に難しい様子がうかがえる。
- ⑥ マイペースな子が多く、それぞれのペースの個人差が大きい。

#### 4. 研究の方法

- (1) 幼稚園教育要領の領域「人間関係」について理論研究を行う。
- (2) 幼児一人一人の発達段階や発達の個人差を考慮しながら、幼児に必要な経験を見通し指導を行う。
- (3) 友達との関わり合いが深められるよう環境構成と教材研究を継続的に行う。
- (4) 保育の記録や振り返りを行い、保育環境の改善や充実を図る。

## 5. 実践

### (1) 幼児が互いに関わりを深め、協同して遊ぶようになるための過程について（幼稚園教育要領より抜粋）

- ・集団の中のコミュニケーションを通じて共通の目的が生まれてくる過程
- ・幼児が試行錯誤しながらも一緒に実現に向かおうとする過程
- ・いざこざなどの葛藤体験を乗り越えていく過程

幼児が協同して遊ぶようになるためには、一人一人がその子らしく遊ぶことができるように自発性を育てる事が基盤となる。幼児は、教師や他の幼児との関わりの中で多様な関わりを学んだり、体感したことを自分の中に取り込み、自発性を獲得し、より生き生きとした深みのある人間関係を繰り返して広げていく。そして、幼児が互いに関わりを深め、共に活動する中で、皆でやってみたい目的が生まれ、工夫したり、協力したりするようになっていく。教師は、活動の過程での幼児の変容を読み取り、大切に受け止めていくことが重要である。

### (2) 事例 友達と共通の遊びができるように段階を踏んだ環境構成と援助の工夫

#### ①安心して過ごせる場の設定 4月・5月



落としゲーム遊び

ままごとコーナー

ブロック

ボーリングあそび

【環境構成】好きな遊びや知っている遊びの場

【幼児の姿】4月・5月

配置された玩具（写真以外に、おりがみ、パズル、ぬりえ、絵本コーナーなど）に興味を示して遊び、それぞれが自分の好きな遊びや知っている遊びを楽しみ、居場所を見つけて行った。遊びや場に慣れていくと、自分のやりたい気持ちが強くなり、譲り合いができずトラブルがあらこちらで発生。また、言葉でのやりとりがうまく進まず、互いの気持ちが分からずいじわるされたと感じたり勘違いや気持ちのすれ違いから泣いたり怒ったりが続き、手が出てしまう。また、隣で同じ遊びをする友達がいるが、一緒にではなく、それぞれで遊びを進め平行遊びが見られた。

【教師の援助】

トラブルに丁寧に対応し、双方の気持ちの聞き取りを行い、どちらの気持ちも受け止め、言葉で伝え合うことと、繰り返し起こるトラブルの解説を根気よく行い、解決へ導くことを行う。また、楽しいイメージで遊びが終わりまた遊びたい気持ちで終われるよう教師が遊びに入り共通の遊びで友達と繋がれるようにした。

#### ②個々の遊びから少人数グループでの遊びへ 5月～7月

—友達と一緒に楽しめるよ、でも順番を待ったり交代が必要だね—



うさぎとの触れ合い

ブランコ遊び

スクーター乗り

砂場あそび

【環境構成】園生活に慣れ、友達と少しずつ共通のイメージを持って遊びを進められるようになった頃、友達と一緒にする遊びの場として、うさぎとの触れ合いコーナーの柵、スクーター、砂場あそびの用具、等を配置。

【幼児の姿】

園生活に慣れ、保育園から一緒に遊ぶ友達、新しい友達、共に一緒に遊ぶことが見られるようになり園生活を楽しむ様子が見られた。遊びも友達の楽しそうな様子を見て自分もやってみたい、一緒に遊びたい気持ちが見られ、それ

それぞれ好きな遊びの場に分かれて遊びが進められている。楽しんでいる中で、「自分も遊びたいのに入れてくれない」「自分も使いたいのにかしてくれない」という声。そして交代できない場面ではつい手が出てしまったり、玩具や遊具を乱暴に奪ってしまう事がありトラブル発生。

#### 【教師の援助】

双方の気持ちの聞き取りを行い、遊びの流れを一緒に振り返り、どこでどうした方が良かったのか、楽しく遊びを続ける為に何が必要かを話し合う。同じようなトラブルが続くがその都度仲介役を繰り返し双方に伝えていく。幼児に寄り添い根気強く援助にあたる。また、固定遊具では、どのようなタイミングで交代することがいいかを相談し、提案をしながら幼児の考えや意見を取り入れ、ルールを確認して決めていった。

### ③状況理解が必要なごっこ遊び 1学期後半



まつりごっこ



おうちごっこ



学校ごっこ



赤ちゃんごっこ

#### 【幼児の姿】

好きなごっこ遊び（例えば、おうちごっこ、レストランごっこ、学校ごっこ など）を設定し遊びを進めるが、役割決めて相談がうまくできず、やりたい役になれなかったり、勝手に役を決められたり、遊びの進め方に相違がありトラブルが見られた。教師が仲介役となり、役を交代ですることはどうかという提案をきいて、役を交代して遊んだり、また、途中から役を2人にしたりして新しい考えを出して遊びを進めていく事ができた。それぞれが色々な役になる事で、その役の気持ちになり、いろいろな感情の体験にも繋がった。その経験から相手の気持ちや立場で考える機会やきっかけにもなる様子が見られた。

#### 【教師の援助】

基本的には幼児のやりとりを見守り、求められたら助け舟を出し対応。トラブルへの助言として、双方の思いを聞き、その思いを伝え合った後に役を交代したり、他の役を増やしたりするのはどうかと遊びの提案を行った。また、幼児からの新しい提案やうまく遊べたことに良かった事を伝え、トラブル中の気持ちとうまく遊べた時の気持ちの違いに気づけるよう声をかけた。

### ④多様なルールが含まれる集団遊び 7月～9月



いすとりゲーム



フルーツバスケット



走り競争



カードゲーム

#### 【幼児の姿】

遊び好きな本園児であるが、負ける事が嫌という理由で勝敗のある集団遊びを好まない幼児が多く、負けると、負けた事を受け入れられず、怒ったり、泣いたり、落ち込んだりする幼児が数名おり、気持ちの切り替えにも時間がかかっていた。また、順番を待つ、1回ずつ、当たるともう1回できる、など細かいルールのひとつひとつを守る事が難しく、特に自分が不利な状況になると感情的になる事があり気持ちを抑えられずトラブルになる事が続いた。

#### 【教師の援助と意図】

勝ち負けには相手がいること、自分の順番の時は友達が待っていること、うまくいかなかった時に励ましたり応援してくれる友達がいることなどを伝え、葛藤を繰り返し色々な感情の体験を重ね、気持ちのコントロールができるようになっていけるよう幼児の様子と調整しながら集団遊びを取り入れていった。

⑤みんなで合わせよう！ 運動会への取り組みから 10月



技の前の心の準備      せえのの合図で技の成功      声をかけ合い並ぶ場面      力を合わせて片付け

【幼児の姿】

運動会の取り組みとして、パラバルーンとダンスを行った。練習初めは、緊張からか張り切りすぎてか、はしゃいで自分の気持ちのままに動いたり、話しや説明が聞けなくなる場面が見られた。その状態で練習を進めるが、バルーンが膨らまなかったり、友達同士ぶつかったりしてうまくいかない。ぶつかったことでトラブルも発生。どうしたらいいかを相談しながら進めると「気持ちがばらばらだとうまくいかず、怪我にも繋がる」ことを理解し、『みんなでちゃんと合わせよう！』の声。その後、息を合わせて取り組めるようになっていった幼児達。気持ちが合った時にはバルーンがしっかりふくらみ技が成功する。みんなで声を合わせる楽しさ、気持ちを合わせて成功する心地よさを体験すると活動が活気づき意欲が高まっていった。活動に取り組む際には別の場面でも声をかけ合う事が増え、友達の存在に喜びを感じ、関係の深まりが感じられるようになっていった。

⑥みんなで気持ちを合わせよう！ 学習発表会への取り組みの中で 12月



オペレッタの練習      街ち時間を友達と楽しむ姿      遊びのルールや互いの気持ちを確認している場面

【幼児の姿】

発表会への取り組みの中で、オペレッタの歌を誰かが歌うとみんなに広がり大合唱になったり、みんなで踊り出したり、友達と一緒に同じ事を行う事に楽しさを感じて遊びの中でもオペレッタがとても盛り上がった。時々、気持ちが高ぶりふざけになる事が見られたが、「みんなで気持ちを合わせよう！ そうしないとばらばらになるよ。」 「ここに並ぶんだよ」など幼児同士で声をかけ合いクラス全体がひとつになっていく様子が見られた。みんなでひとつの目的に向かい思い切り表現できた事が自信となり、友達と一緒にやり遂げる達成感を得たことで、友達関係にも深まりが見られ活動や遊びへの意欲が高まる。

⑦友達関係の深まりから創り出す遊びへ 12月前半



お相撲遊び      自分だけの水槽創り      ピカピカお掃除隊      ドミノ大会

【幼児の姿】

イメージを共有して友達と一緒に取り組む楽しさや充実感を味わう事で友達関係により一層深まりが見られ、遊びもアイデアや工夫を出し合い充実している様子が見られる。

【教師の援助】

幼児のやりたい事が実現できるよう、材料を準備したり、必要な物を用意できりようにする。

### ⑧先生、ドラム屋さんやりたい！ 経験したことからいろいろな〇〇屋さんへ 12月後半



お店の看板



ドラム屋さん



お店の看板



ピアノ屋さん



帽子屋さん



演奏を聞かす所 (幼児の表現)



食べ物屋さん

#### 【幼児の姿】

遊びの中に日々展開が見られ、「こうしてみたい」「ああしてみたい」と幼児のイメージやアイディアがどんどん出てきた12月後半。まずドラム屋さんがオープン。友達の提案に乗って、一緒に必要な物を作ったり、材料や用具が足りない時には必要な物を準備したり先生にリクエストにしたり、イメージを共有してイメージの実現を目指し、友達と関わりながら楽しんでいる。更に遊びにこだわりが見られる。また、友達の様子を見て、他のお店をオープンし、お店や商品作りがどんどん広がっている。

#### 【教師の援助と意図】

幼児のイメージやこだわっていることを友達と一緒に表現できるように場を設定し援助する。振り返りの時間に取り組みの良さや、取り組みのお知らせを全体に紹介し、他児の関心を引きたい。そこから遊びを全体に広げ、お店屋さんごっこや演奏会等のイベントにできたらと考えている。

## 6. 考察

- (1) 教師が必要に応じて、遊びの助言者になったり、遊びの仲間になったり、トラブルの際には振り返ったりする場を設定し、幼児の遊びや思いを言葉にして伝え、つなぐ等、関係作りや話し合いを支えるよう時間をかけて援助していくことで自分の思いや考えを伝えたり相手の思いや考えを受け止めたりして遊びを進めていこうとする姿が見られるようになった。
- (2) 幼児一人一人の発達の過程を振り返りながら、その時期に必要な体験を積み重ねていけるよう援助をしてきたことで、幼児一人一人の育ちを促すことにつながっていった。
- (3) 共通の遊びや活動を行う中で、気持ちのすれ違いやぶつかり合いが起こるが、互いの思いを伝え合い、互いの思いをすり合わせる経験を重ねることで、試行錯誤したり一緒に活動する楽しさや共通の目的が実現する喜びを味わい、いざこざなどの葛藤体験を乗り越えていく姿につながっていった。

## 7. 今後の課題

- (1) 一人一人の育ちが見られるが、発達する姿はそれぞれ異なっている為、今後も幼児一人一人に思いを寄せ内面理解に努め一人一人が存在感を持って生活できる集団の育成に配慮しながら取り組みを続ける。
- (2) 今後も自己主張のぶつかり合いが予想されるので、自己主張のぶつかり合いは自己発揮と自己抑制の発達の上で重要であることを考慮し、幼児が納得して気持ちの立て直しができ次に進めるよう継続して援助にあたる。
- (3) 意見を出したり、互いの遊びを楽しくするための幼児同士の話し合いが深まるように、遊びの振り返りタイムを充実できるよう時間設定を見直す。

## 8. 参考文献 幼稚園教育要領解説・保育内容5領域の展開・ゾリエスを育む・10の姿を育む保育・こどもの発達 等

## 恩納村立仲泊小学校の取組

### 主題：自ら学ぶ力を育成するための家庭学習への取組

#### 1. 目標

中学校1学年終了時まで「自学自習力」を身につけさせる。

#### 2. 本校が取り組んでいる家庭学習（自学自習と宿題等）について

本校では、学力向上推進の目標に掲げてある「自立した学習者」を育てるため、家庭学習を「わくわく学習」と「バッチリ学習」の2つに分けた共通実践と音読を加えた3つの視点で行っている。「バッチリ学習」は、「漢字テストに向けた練習」や「苦手な計算の復習」など、授業と連動した内容や基礎的・基本的な内容を中心に学習内容の定着を図るものとして行っている。プリント学習や教師からの課題もこれに含まれる。それに対し「わくわく学習」は、学ぶことを楽しみ、児童の好奇心や知りたいという気持ちを大切に学習である。自分で課題を選び、調べたり、まとめたりすることを通して、本質的な学習（探究学習）の方法につながるものとして、本校では、以下のA～Eの5つのカテゴリーに分けて取り組んでいる。

##### （わくわく学習の内容）

- A：ふりかえり（授業で学んだ内容→できなかったこと、もっとやってみたいこと）
- B：クイズ作り（得意な分野についてクイズを考え、答えの説明をつける）
- C：Let's スタディ（自分で計画・テスト・分析・練習を行う）けテぶれ学習
- D：探究（総合学習や個人で、本や新聞、ネットやインタビューなどから調べたこと）
- E：トピック学習（新聞記事を読んで、切り抜いた記事から感じたことややってみたいことを書く）

##### （バッチリ学習の内容）

- |              |                 |
|--------------|-----------------|
| ○今日の授業の復習    | ○算数ドリル          |
| ○漢字の熟語練習     | ○テストのまちがい直し（復習） |
| ○教科書の詩や物語の視写 | ○文章問題作り         |

さらに見通しを立てた学習計画作りとして、週のはじめに、1週間の計画表を作成。週末で学習のふりかえりを行い「良かった点」と「改善したい点」を記入し、次週の計画につなげるようにするとともに偏った学習にならないよう時々教師から内容を指定しながら進めている。また、音読を通して保護者の協力を得るため、サインをお願いしている。

評価等については、毎朝提出してもらい、計画表と内容を確認し、コメントを挿入。学年によっては、児童の評価も取り入れている。また、自主学習を苦手としている児童に対しては、隙間時間を使い、担任が学び方の支援をくり返し行うことで、勉強する習慣を身につけさせていくとともに「家庭学習は未来の自分のために積み上げていくもの」だということを意識させながら進めている。

今後の取り組みとして、児童のがんばりを児童同士で評価させたり、朝の会や帰りの会において、自作クイズの発表を行ったりしながら、互いの学びの良さにふれさせていきたい。また、ていねいなノートやアイデアたっぷりのノート等を掲示する場を設定し、児童らのさらなる意欲につなげながら、自主（わくわく）学習の定着に努めていきたいと考える。

## 2. 各学年の取組実践

### 1 学年の家庭学習の取組実践事例

「はっするノート」を作成。教師の作成したお手本を活用したり、漢字ドリルを手本にしたりして取り組ませ、週末はプリントを配布している。音読ファイルを作成し、表紙にめあてと自己評価をはりつけ、毎日取り組ませている。3学期からは、学級全体で「わくわく学習」にも取り組んでいく。

#### (1) 「宿題」について (写真①)

##### ① 生活習慣を身につける (年間を通して実施)

- ・ 1週間の予定表と連絡メモ
- ・ 朝の活動表や給食完食表

##### ② 基礎学力を身につける (バッチリ学習)

- ・ 算数1ページ、国語1ページ→授業と連動させた教師のお手本を活用
- ・ 国語・算数の形成プリント
- ・ 毎日の音読

#### (2) 「はっするノート」について (写真②)

- ・ カタカナ集めやことば集めなどに取り組ませている。(教師からの課題)
- ・ 保護者といっしょに言葉集め、言葉しりとり、漢字等に自主的に取り組んでいる。

#### (3) 身につけさせたい力

- ① 基礎的・基本的学習内容の定着
- ② 音読で文を読む力
- ③ 書く力 (ひらがな・カタカナ・漢字)
- ④ 継続する力 (家庭学習の習慣化)

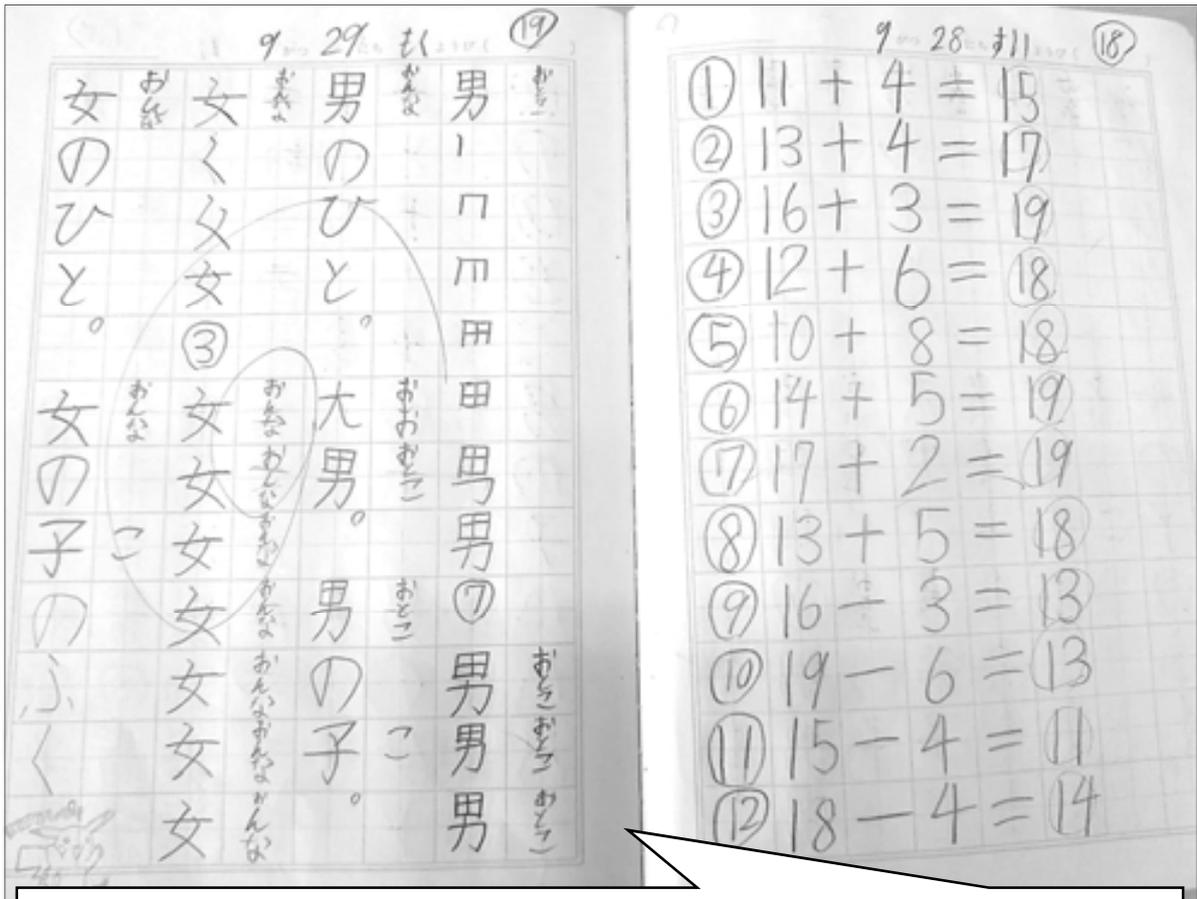
#### (4) 評価等の方法

- ・ 担任が毎日確認し、スタンプやコメントで賞賛している。
- ・ プリント等、授業で確認。はっするノートは1冊終えるごとにみんなに報告し、クラスで賞賛。

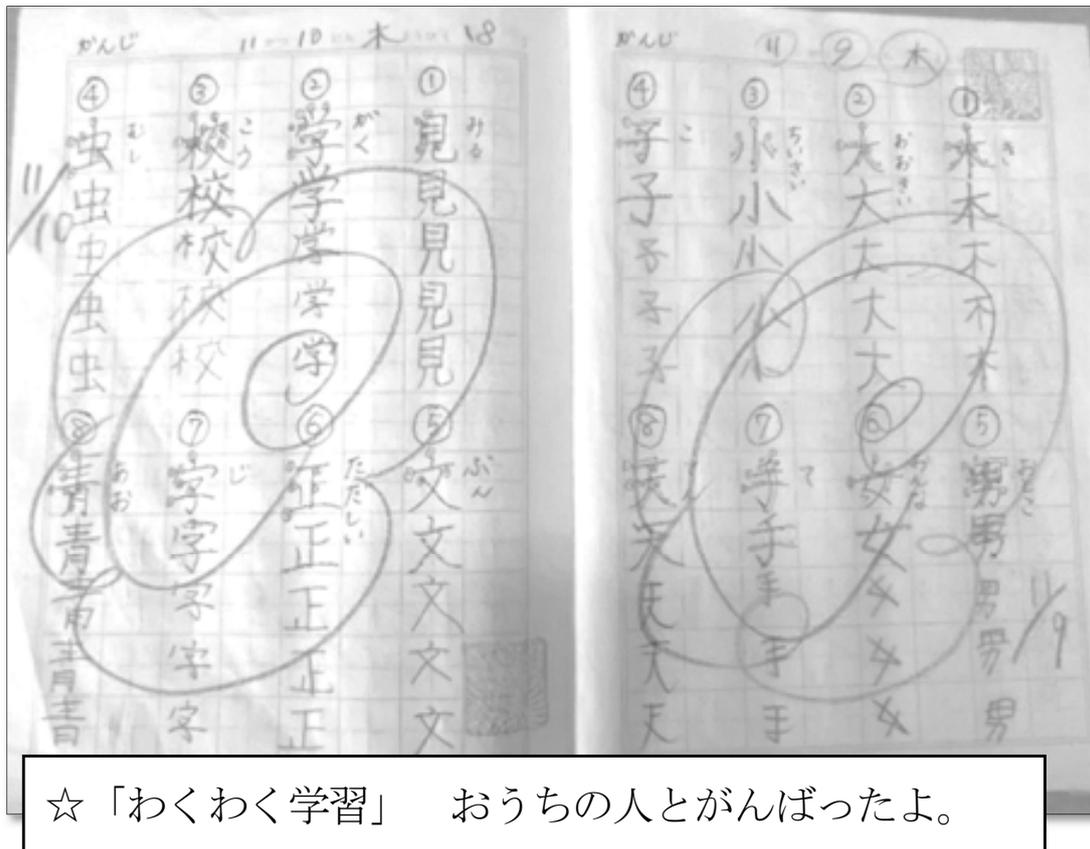
#### (5) 成果 (○) と課題 (△)、課題への対応策 (→)

- ひらがなが定着。漢字の練習にも意欲的
- 家庭学習は、9割の子が習慣化している。
- △ 音読が定着していない子がいる。  
→ 保護者と連携をとりながら、補習の時間や授業の中で取り組ませる。
- △ 自主学習「わくわく学習」への取り組み  
→ 「物の名前集め」や「もの知り博士」など、興味を持たせながら3学期から取り組ませる。

「はっするノート」 (写真①②)



・お手本ノートを活用し、計算・ひらがな・カタカナ・漢字の練習に取り組んでいる。



☆「わくわく学習」 おうちの人とがんばったよ。

## 2学年の家庭学習の取組実践事例

「はっするノート」を作成し、「くり返し漢字ドリル」を使った漢字の練習や今日学習した算数の計算問題に取り組みさせている。また基礎基本の定着として形成プリント1枚と学習している単元の音読を毎日保護者にチェックしてもらい、日記も毎日書かせている。

自主学習として、ふりかえりや授業の一部で、「わくわく学習」のしかたを学ばせ、クイズ作り等に取り組みさせている。

### (1) 「宿題」について (写真①)

- ① 生活習慣を身につける (年間を通して実施)
  - ・ 1週間の予定表を配布 (保護者コメント欄有)
  - ・ 1週間の学習計画表 (学習用具の準備) を作成
  - ・ 保護者へのお知らせ
- ② 基礎学力を身につける (バッチリ学習)
  - ・ 授業と連動した内容の宿題 (漢字・算数のプリント)
  - ・ 国語の教科書の音読

### (2) 「わくわく学習」について (写真②)

- ・ 自学学習を5つの内容にカテゴリー分けし、飽きることのないよう様々なスタイルに取り組みさせている。「わくわく学習」の仕方が定着するようにと、10月から「ふりかえりタイム」の中で、全員で取り組み、学び方を学ぶ時間として教師と確認しながら進めている。
- ・ 学習に興味を持たせるため教師からの本の提供を行っている。(学級で順番に活用)「地球の不思議」「宇宙の不思議」など

### (3) 身につけさせたい力

- ① 基礎的・基本的学習内容の定着
- ② 継続する力 (家庭学習の習慣化)
- ③ 最後まであきらめずに取り組む力
- ④ 興味・関心をもって取り組む力

### (4) 評価等の方法

- ・ 隙間時間を使って、全員のノートをチェックし、コメントを挿入。
- ・ 音読の状況や学習内容を確認

### (5) 成果 (○) と課題 (△)、課題への対応策 (→)

- ノートの使い方を指導することで、使い方が上手になった。
- 書写の学習を意識させることで、文字をていねいに書く子が多くなった。
- △ 家庭学習は、こなすだけで内容に変化がない子もいる。
  - 学習の方法を提示したり、その日やる学習を「ふりかえりの時間」を使って一緒に確認したり、1～2行程度一緒に書く活動を取り入れていく。

「はっするノート」(写真①②)



スリーヒントクイズ作り。帰りの会でみんなにクイズをだしたよ。

6のたん		7のたん	
6	× 1 = 6	7	× 1 = 7
6	× 2 = 12	7	× 2 = 14
6	× 3 = 18	7	× 3 = 21
6	× 4 = 24	7	× 4 = 28
6	× 5 = 30	7	× 5 = 35
6	× 6 = 36	7	× 6 = 42
6	× 7 = 42	7	× 7 = 49
6	× 8 = 48	7	× 8 = 56
6	× 9 = 54	7	× 9 = 63

宿題で苦手な6のたんと7のたんの練習

10/31 月 54		うつのち	
こえ	②	う	のち
① 9/12	8 1/2	で	日
	1/4	し	は
		よ	り
③	①	ク	フ
10/3	まる	イ	く
②	は	ズ	ら
② 88	り	れ	う
88	く	れ	う
て	よ	理	た
り	ん	由	か
る	く	ら	を
か	れ	で	き
ら	め	す	ね
で	う	ん	さ
す	れ	し	り

クイズを作ったら、ずかんを使ってくわしく調べる。

10/28 金 50		10/31	
100	× 1 = 100	500	× 1 = 500
100	× 2 = 200	500	× 2 = 1000
100	× 3 = 300	500	× 3 = 1500
100	× 4 = 400	500	× 4 = 2000
100	× 5 = 500	500	× 5 = 2500
100	× 6 = 600	500	× 6 = 3000
100	× 7 = 700	20	× 3 = 60
100	× 8 = 800	20	× 9 = 180
100	× 9 = 900	20	× 18 = 360
101	× 1 = 101	20	× 50 = 1000
101	× 2 = 202	20	× 8 = 160
101	× 3 = 303	30	× 3 = 240
101	× 4 = 404	2	× 9 = 63
101	× 5 = 405	8	× 7 = 56
		8	× 9 = 72
		30	× 5 = 150
		20	× 8 = 160

九九を使った未習の計算に挑戦。100のたんともできた。

### 3学年の家庭学習の取組実践事例

- ・「はっするノート」を作成し、「バッチリ学習」と「わくわく学習」を曜日ごとに分けて取り組んでいる。月曜日に予定（計画）を立て、毎日自分で記録させている。
- ・計画表を意識付けさせるために、計画表のページを開いて提出（自己評価や未記入の確認）
- ・授業の中で新しく出た言葉や疑問に思ったことを「わくわく学習」のタネとして教師が意識づけを行っている。

#### (1) 「宿題」について（写真①）

- ① 生活習慣を身につける（年間を通して実施）
  - ・ 1週間の予定表を配布（保護者コメント欄有）
  - ・ 1週間の学習計画表を作成、実行させている。（ふりかえりの記入）
- ② 基礎学力を身につける（バッチリ学習）
  - ・ 漢字の学習のやり方指導を行っている。
  - ・ 算数の既習単元のふりかえりプリント

#### (2) 「わくわく学習」について（写真②）

- ・ 自学学習を5つの内容にカテゴリー分けし、飽きることのないよう様々なスタイルに取り組ませている。わくわく学習の仕方が定着するようにと、10月から「ふりかえりタイム」の中で、全員で取り組み、学び方を学ぶ時間として教師と確認しながら進めている。
- ・ 生活や学習の中での疑問について調べたり、まとめたり、クイズを作ったりしている。
- ・ 授業の中で出てきた「不思議」や「むずかしい言葉」等を投げかけて興味を持たせている。

#### (3) 身につけさせたい力

- ① 基礎的・基本的学習内容の定着
- ② 粘り強くやり抜く力（家庭学習の習慣化）
- ③ 計画し、実践していく力
- ④ 興味関心を広げる力

#### (4) 評価等の方法

- ・ 朝の時間に全員のノートをチェックし、コメントを挿入。
- ・ 児童のノートを学級便りに掲載。

#### (5) 成果（○）と課題（△）、課題への対応策（→）

- 家庭学習の取組が習慣化してきた。
- 「わくわく学習」に進んで取り組む子が増えた。
- △ 学習内容の質の向上
  - お手本となる児童のノートを目につきやすいところに展示・掲示
- △ 指導時間の確保
  - 時間を確保し、学習の仕方を説明しながら、一緒に取り組む
- △ 授業と家庭学習の往還

1週間の計画表を作成。自己評価しながら、自分のよさと直したいところを書き込み次へつなぐ。

皆既月食観察後、新聞の切り抜きを読んで自分の言葉でまとめた。

## 4学年の家庭学習の取組実践事例

「はっするノート」を配布して、「ばっちり学習」と「わくわく学習」を行う。「ばっちり」は、担任から出す宿題（漢字や計算問題）で、「わくわく」は、自ら課題を選んで学習を行う。また、今週の予定表（時間割）と学習計画表を同じファイルに貼り、見通しをもって取り組めるよう計画を立てさせている。また、学習内容の定着度の確認のため、時々プリントを宿題として出し、教科書の音読もさせている。

### (1) 「宿題」について（写真①）

- ① 生活習慣を身につける（年間を通して実施）
  - ・ 翌日の日程、持参物、家庭への連絡メモ（保護者のサインあり）
  - ・ 日記（週に1回程度）
- ② 基礎学力を身につける（その日の授業の復習）
  - ・ その日の授業の復習
  - ・ 写本、漢字の練習、計算問題
  - ・ 計算ドリルプリント（週に3枚程度）
  - ・ 音読

### (2) 「わくわく学習」について（写真②）

- ・ 自学学習を5つの内容にカテゴリー分けし、飽きることのないよう様々なスタイルに取り組みさせている。「わくわく学習」の仕方が定着するようにと、10月から「ふりかえりタイム」の中で、全員で取り組み、学び方を学ぶ時間として教師と確認しながら進めている。
- ・ 4年生は、毎日「はっするノート」2ページに取り組んでいる。

### (3) 身につけさせたい力

- ① 基礎的・基本的学習内容の定着
- ② 粘り強くやり抜く力（家庭学習の習慣化）
- ③ 計画し、実践する力
- ④ 興味・関心を広げる力
- ⑤ 自ら課題を見つけ解決する力

### (4) 評価等の方法

- ・ 学級担任が毎日コメントを入れて看取りや指導、支援を行っている。（賞賛することだけ）

### (5) 成果（○）と課題（△）、課題への対応策（→）

- 家庭学習を楽しんでやる児童が増えた。
- 家庭学習の習慣が身についた児童が増えた。
- △ 家庭学習の習慣化
  - 引き続き、家庭学習の取り組み方について、根気強く指導を行っていく。
- △ 基礎学力の定着
  - 自ら課題を設定できるように、指導を繰り返し行う。

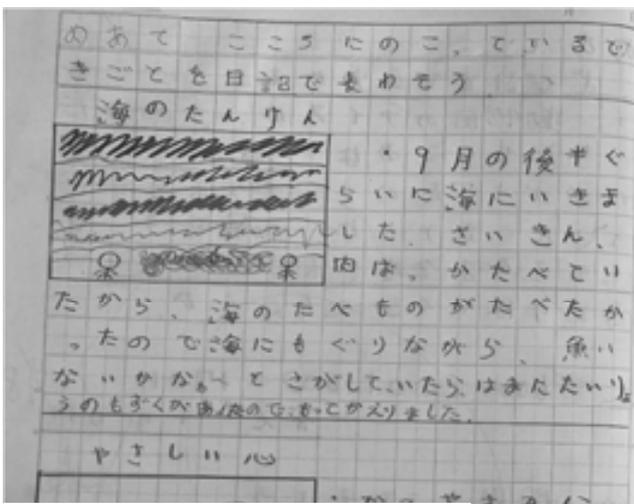
「はっするノート」（宿題）（写真①②）



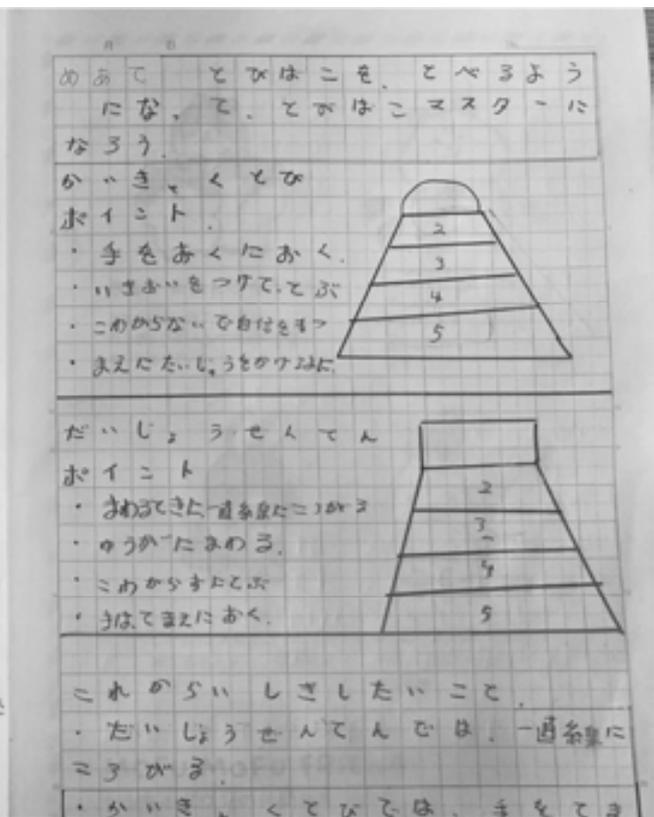
「けてぶれ」で取り組んだ力だめし 100点



新聞の切り抜きから「なぜ？」を見つけて、自分の感想をまとめる。



一冊、一冊を積み重ね、みんなで「ゴールをさげよう」



体育の授業でやったとび箱運動。自分のことばで技のポイントをまとめ実践へ。

## 5 学年の家庭学習の取組実践事例

「はっするノート」「を作成し、子ども自ら内容を選んで、主体的に楽しく学習できるよう「わくわく学習」に取り組みさせている。宿題としては、算数のドリルや授業と連動した形成プリントと漢字ドリルに取り組みさせている。音読も毎日教科書の音読をさせ、授業の中でチェックを行っている。

### (1) 「宿題」について (写真①)

- ① 生活習慣を身につける (年間を通して実施)
  - ・ 学習計画表を活用し、家庭学習の記録を付けている。
  - ・ 一週間の予定表を配布
- ② 基礎学力を身につける (バッチリ学習)
  - ・ 漢字の練習 (漢字ドリル)
  - ・ 算数の復習プリント

### (2) 「わくわく学習」について (写真②)

- ・ 自学学習を5つの内容にカテゴリー分けし、飽きることのないよう様々なスタイルに取り組みさせている。「わくわく学習」の仕方が定着するようにと、10月から「ふりかえりタイム」の中で、全員で取り組み、学び方を学ぶ時間として教師と確認しながら進めている。
- ・ 自分の気になったことの調べ学習
- ・ 国語、算数以外の学習

### (3) 身につけさせたい力

- ① 基礎的・基本的学習内容の定着
- ② 粘り強くやり抜く力 (家庭学習の習慣化)
- ③ 計画し、実践する力
- ④ 興味・関心を広げる力
- ⑤ 自ら課題を見つけ解決する力

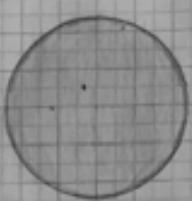
### (4) 評価等の方法

- ・ 隙間時間を使って、ノートのチェック、賞賛コメントの記入
- ・ 音読→国語の音読時に評価
- ・ 漢字セルフチェック
- ・ はっするノート大会 (児童同士の評価)

### (5) 成果 (○) と課題 (△)、課題への対応策 (→)

- 音読がスムーズにできるようになった
- △ 課題を通して学ぶというより、こなしている感じで取り組んでいる
  - 広く調べることから、視点を与えてより深く調べる学習を図書館利用の時間を使って支援していく。

「はっするノート」(宿題)(写真①②)

月と太陽のちがい		
太陽	違い	月
		
丸い	形	丸い
地球が太陽のまわりをまわっている	地球と月の関係	地球のまわりをまわっている
約億5千万km	地球との距離	約38万km
黒い点がある	表面	黒いくぼみがある
直径約140万km	大きさ	直径約3475km
自ら強い光を出している	光	自ら光を出さず、太陽光が反射し光る
初めて知. たこと		
<ul style="list-style-type: none"> <li>太陽には、黒い点がある。</li> <li>月は、太陽光が反射し光る。</li> </ul>		

理科の学びを発展させ、興味をもって課題を調べた学習。

授業で学んだ「エイズ」で気になったことをノートにまとめたり、新たに調べたりした「わくわく学習」

エイズ  
 AIDS  
 ① Immuno (免疫)  
 ② Deficiency (不全)  
 Syndrome (症候群)

HIVは感染  
 数週間後に一時的にインフルエンザに似た症状が出ることもある。

無症候群  
 無症候群はHIVにより免疫力が少しずつ下がる。

エイズ発症  
 正常な免疫機能が壊れるため、様々な感染症などを発症する。

HIV感染の3段階  
 ① 急性期  
 ② 無症候群期  
 ③ AIDS  
 → 絶対免疫不全症候群

レタスは、ジャコウチン油成分が豊富で、害虫や病気を防ぐために、青虫は、ジャコウチン油成分を解毒する力を持っています。また、ジャコウチン油成分の原形は、ジャコウチン油の食欲を抑制させることも知られています。ジャコウチン油は、害虫にとっての毒物です。ジャコウチン油は、害虫にとっての毒物です。ジャコウチン油は、害虫にとっての毒物です。

レタスは、ジャコウチン油成分が豊富で、害虫や病気を防ぐために、青虫は、ジャコウチン油成分を解毒する力を持っています。また、ジャコウチン油成分の原形は、ジャコウチン油の食欲を抑制させることも知られています。ジャコウチン油は、害虫にとっての毒物です。ジャコウチン油は、害虫にとっての毒物です。ジャコウチン油は、害虫にとっての毒物です。

「わくわく学習」ノートからはみ出すぐらい調べまとめることができた。

## 6学年の家庭学習の取組実践事例

「はっするノート」を作成し、「バッチリ学習」と「わくわく学習」に取り組んでいる。「宿題」として毎日プリント1枚と教科書の音読に取り組ませている。「わくわく学習」は、Let's study (けテぶれ学習)を中心に進め、児童が主体的に内容を選び、楽しく学べるように取り組ませている。

### (1) 「宿題」について (写真①)

#### ① 生活習慣を身につける (年間を通して実施)

- ・ 1週間の予定表を配布 (保護者のサインあり)
- ・ 1週間の学習計画表を作成, 毎日記録させる。(ふりかえりの記入)

#### ② 基礎学力を身につける (バッチリ学習)

- ・ 自学学習を5つの内容にカテゴリー分けし、飽きることのないよう様々なスタイルに取り組ませている。「わくわく学習」の仕方が定着するようにと、10月から「ふりかえりタイム」の中で、全員で取り組み、学び方を学ぶ時間として教師と確認しながら進めている。
- ・ 算数のプリント (その日の授業と連動)
- ・ 漢字の練習 (けテぶれ学習)

### (2) 「わくわく学習」について (写真②)

- ・ 「けテぶれ学習」を意識させて取り組ませている。
- ・ 授業の中で、児童に興味を持たせるような問いかけを心がけ、「わくわく学習」につなげている。

### (3) 身につけさせたい力

- ① 基礎的・基本的学習内容の定着
- ② 粘り強くやり抜く力 (家庭学習の習慣化)
- ③ 計画し、実践する力
- ④ 興味・関心を広げる力
- ⑤ 自ら課題を見つけ解決する力

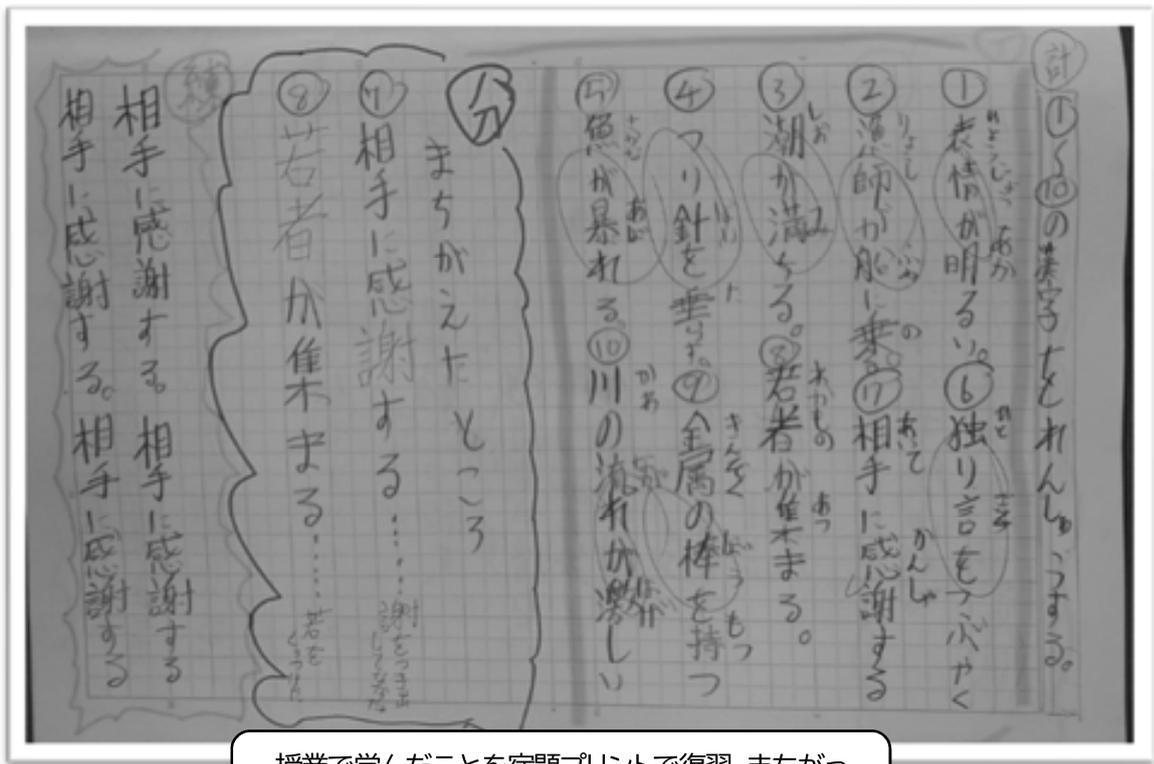
### (4) 評価等の方法

- ・ 朝の隙間時間を活用し、全員のノートをチェックしコメントを入れながら指導・支援を行っている。
- ・ 児童の良いノートを学級便りで紹介

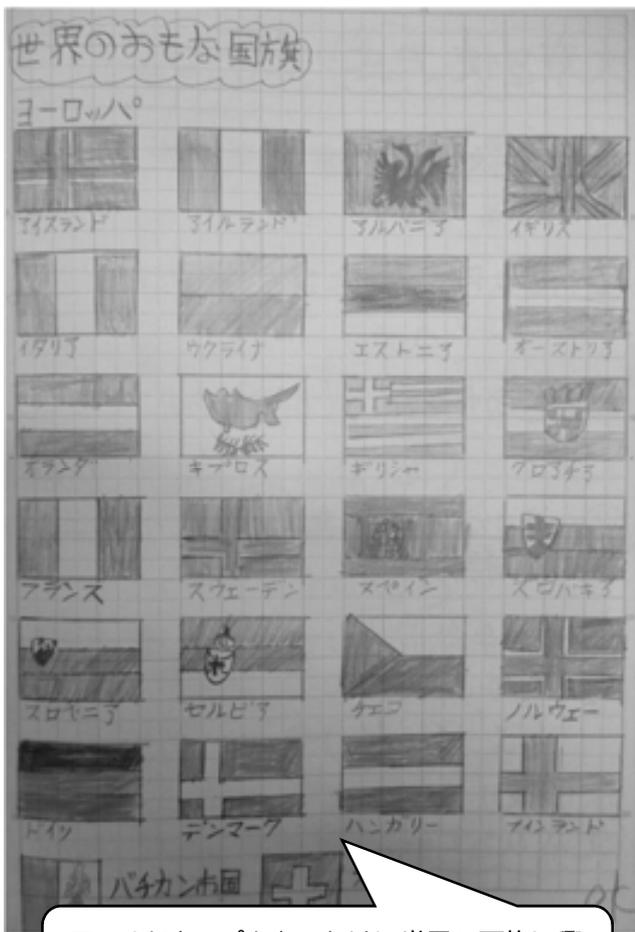
### (5) 成果 (○) と課題 (△)、課題への対応策 (→)

- 単元テストの平均点が up。
- 家庭学習をやってくる子が増えた。
- △ 保護者のサインがない児童が多い  
→ 保護者との連絡・連携を密にしていく。

「はっするノート」(宿題)(写真①②)



授業で学んだことを宿題プリントで復習。まちがったら「けてぶれ」ではっするノートで再学習。



ワールドカップをきっかけに世界の国旗に興味をもち、まずは、ヨーロッパから...



漢字ドリルで練習したあとは、10問テストでチェック。まちがった漢字は、計画的に「けてぶれ」で学び直し。漢字力upにつながりました。

## (4) 恩納村立山田幼稚園の取組

### 友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わうための環境構成と援助の工夫

#### ～ 発達に即した遊びを通して ～

#### 1 テーマ設定の理由

近年、少子化や核家族化などにより、人間関係が希薄化し、他者とのかかわりが苦手な子や、子ども達を取り巻く環境の変化から、受動的な遊びが増えるなど、子ども同士が直に触れ合い、刺激し合いながら育ち会える環境が減少してきているように思われる。

幼稚園教育要領の「人間関係」の領域、内容の取り扱い(3)では、「幼児が互いにかかわりを深め、協同して遊ぶようになるため、自ら行動する力を育てようとするともに、他の幼児と試行錯誤しながら活動を展開する楽しさや共通の目的が実現する喜びを味わうことができるようにすること。」と示されている。

本学級の幼児の実態を見てみると明るく素直な子が多く、自ら友達に関わり遊ぶ子もいるが、どのように友達と関わってよいか分からず一人遊びをする子、遊びが続かない子、気持ちが乗らないと一緒に取り組むことが難しい子や発達段階を考慮した援助が必要な子など、一人一人の発達の個人差が大きい。

そこで本研究では、学級の幼児の実態を踏まえ、興味・関心や発達に即した遊びなどを取り入れ、幼児が友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わうことが出来るような援助の工夫や協同して遊びたい環境構成の工夫を行うことで幼児が互いのよさに気づき、協同して遊ぶことができる幼児の育成をめざし本テーマを設定した。

#### 2. 研究仮説

幼児の興味・関心や発達に即した遊びなどを取り入れ、コミュニケーションを通して共通の目的に向かうような援助・場の設定をすることで、協同して遊ぶことができる幼児が育つであろう。

#### 3. 幼児の実態

##### (1) 山田幼稚園について

担任 : 教諭 高石 葉子      男子 : 10人      女子 : 9人      合計 19人  
担任補助: 渡慶次 由紀子      特別教育支援員: 富着 竜一      預かり保育担任: 卜部 淑代

##### (2) 園児の特徴

- ・明るく素直な子が多い。気の合う友達同士、遊びや活動を楽しむ子もいるが、友達と一緒に活動が続かなかったり、途中で遊びからぬけてしまったりする子がいる。
- ・友達との関わり合いの中で自分の思いや気持ちを言葉で表現出来ないことが多く遊びが続かないことがある。
- ・発達面から支援の必要とする幼児が数名おり、気持ちが乗らないと一緒に取り組むことが難しい子や発達段階を考慮した援助が必要な子がいる。

#### 4. 指導の実際

##### 事例1, 砂場遊び・色水遊び

##### 【幼児の姿】

- ・みんなと一緒に空間にいても一人で遊ぶ事を好み、教師と遊ぶ姿が多く見られる。
- ・上手くいかないと泣いたり、諦めたりして教師に助けを求め、自分でやることを諦めてしまうことがある。

##### 【教師の願い】

- ・友達と一緒に遊びを進める中で、様々な出来事を通して、嬉しい、悔しい、悲しい、楽しいなどの多様な感情体験を味わってほしい。
- ・友達と一緒に遊ぶ中で、試したり、工夫したりする楽しさを味わってほしい。

### 【教師の援助】

- ・ 幼児との信頼関係を築き、自分の気持ちを表現できるようにしていく。
- ・ 幼児の言葉やイメージを幼児同士が共有できるよう、教師があたたかい言葉でつないでいく。
- ・ 学級全体の話し合いの中で、一人一人の意見を大切に、思ったことが自由に発言できる雰囲気作りを行う。
- ・ 意図的に協同的な遊びの場や、話し合う場面の設定をする。

### 【幼児の変容】

- ・ 楽しんで遊んでいる遊びを紹介したり、アイデアを話し合ったりしたことで、一人で遊ぶことが多かった幼児も活動に興味を持って参加し友達と一緒に楽しめるようになった。
- ・ 友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わう経験を積み重ねたことで、上手くいかなくても諦めずに取り組むようになってきた。

石の響きを発見し友達と楽器遊びをしている姿



個々の色水遊びが発展して「友達と一緒に色水滑り台を作っている姿」



砂山作りが遊びが発展して「友達と温泉ごっこ遊びをする姿」



クラスで遊びの共有している姿



### 事例2：おばけ迷路づくり・大型ブロック遊び

#### 【幼児の姿】

- ・ 廃材を用いた「せい作」遊びを好み、色々な素材を使い作品を作る姿が見られる。
- ・ 個々で作っていた活動が教師の援助により数名、または同じ思いの複数名でのせい作を行うようになってきたが遊びが発展しないことが多い。

#### 【教師の願い】

- ・ 共通の目的に向かっていく中で、友達と一緒に工夫したり協力したりすることを通して遊びを展開する楽しさや共通の目的が達成される喜びを味わってほしい。
- ・ イメージや目的を共有し、それを実現していく中で自己主張がぶつかりあったり、折り合いをつけたりすることを繰り返しながら、工夫したり、協力したりする楽しさや充実感を味わってほしい。
- ・ 友達と一緒に活動していく中で、友達のよさに気づき、一緒に活動することを楽しみ、次の活動意欲へとつながってほしい。

### 【教師の援助】

- ・イメージを表現するための道具や用具、素材を用意し幼児と一緒に環境構成を行う。
- ・幼児の言葉やイメージを幼児同士が共有できるようにあたたかい言葉つないでいく。

### 【幼児の変容】

- ・初めは個々で製作を楽しんでいたが、同じ目的を持つ友達と一緒に作ることが出来るようになった。またお互いの気持ちを伝え合い、ぶつかり合いながらも試行錯誤しながら工夫して作品を仕上げる様子が見られた。
- ・友達と一緒に作り上げていく中で、友達のアイデアやよい面に気がつき友達同士で楽しみながら製作する姿が見られた。

クラス全体で公園か海賊船作りのどちらにするかディベートをする姿



クラス全員で協力して完成させた「おぼけ迷路作り」★衣装作りまで楽しみました



## 5. 成果と課題

### 成果

- ・興味関心を捉え、意欲的に環境に関わる物的、空間的環境構成を行ったことで、友達と共通の目的を持ち協同的な遊びが展開していくことができた。
- ・一人一人に応じた援助を行ったことで幼児が自己発揮し、自発的な行動をとれるようになった。また進んで環境に関わり、友達と協同的な活動が展開できるようになった。

### 課題

- ・園全体で組織的、計画的な園内研修の実施と環境構成の更なる工夫。

## 6. 参考文献

- ・「幼稚園教育要領解説」(平成30年3月) フレーベル館
- ・「幼稚園教育要領ハンドブック」 武藤隆
- ・「子どもの主体の協同的な学びが生まれる保育」 大豆生田哲友 学研
- ・「日本版保育ドキュメンテーションのすすめ」 大豆生田哲友 小学館
- ・「3, 4, 5歳の児の ごっこ遊び」 神長 美津子 岩城 眞佐子 ひかりのくに

# 恩納村立山田小学校の取組

## 主題：自ら学ぶ力を育成するための家庭学習への取組

### 1. 目標

中学校1学年終了時まで「自学自習力」を身につけさせる。

### 2. 本校が取り組んでいる家庭学習（自学自習と宿題等）について

#### (1) 家庭学習（自学自習と宿題）の定義と内容

家庭学習を教師が与える既習事項の定着を目的とする課題「宿題」と児童が主体的に学びたい学習「自学自習」の2つの視点でとらえている。「宿題」においては、全学年で統一教材を選定し、学びをそろえている。

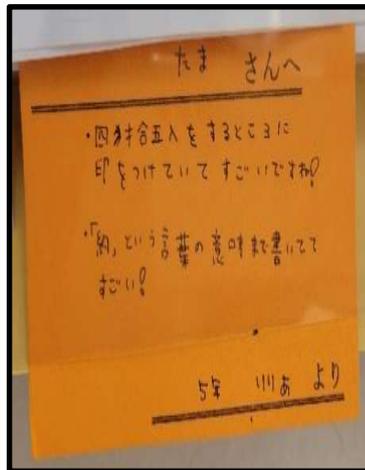
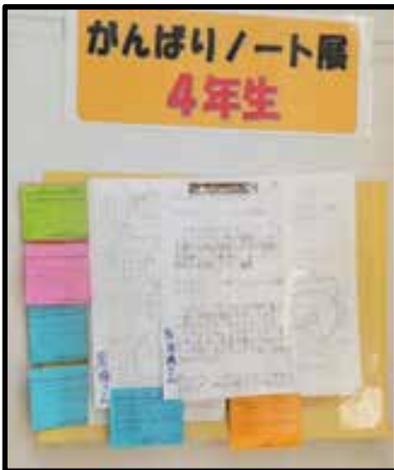
- ①宿題
  - ・朝のドリル学習の復習・・・漢字ドリル2字
  - ・授業と連動した課題・・・形成プリント、自作プリント、ICT（端末の活用）
  - ・教科書の内容把握、漢字の読み・・・音読
- ②自学自習
  - ・自分に必要な学習、学びたいこと・・・「めあて」「ふりかえり」の記入
  - ・学期に1度家庭学習強化月間を実施・・・学級のめあての設定、計画表作成、保護者のサイン

評価等については、毎日の提出をチェックし、担任は休み時間やすき間時間等を利用して、コメントを入れたり間違いを直させるなど学習の看取りを行っている。また、お手本となる児童のノートを「がんばりノート展」で貼り出して、どの児童にも「見える化」し参考にできるように工夫している。教師からのコメントだけでなく、児童から児童への「ほめほめカード」を記入させることで、家庭学習ノートの内容や書き方で良かった点を児童自ら見つけ自分の学習に生かしていけるような取り組みになればよいと考え、今年度から実施している。

お手本となるノート

児童の「ほめほめカード」

自学自習計画表（1週間ごとに作成）



日付	毎日の学習(課題・宿題)	自学自習(学習)	学習時間	保護者サイン
10月14日 (水)	漢字ドリル2字 漢字プリント1枚	読者の日記	5分	サイン
10月15日 (木)	漢字ドリル2字 漢字プリント1枚	読者の日記	10分	サイン
10月16日 (金)	漢字ドリル2字 漢字プリント1枚	読者の日記	10分	サイン
10月17日 (土)	漢字ドリル2字 漢字プリント1枚	読者の日記	10分	サイン
10月18日 (日)	漢字ドリル2字 漢字プリント1枚	読者の日記	10分	サイン
10月19日 (月)	漢字ドリル2字 漢字プリント1枚	読者の日記	10分	サイン
10月20日 (火)	漢字ドリル2字 漢字プリント1枚	読者の日記	10分	サイン

#### (2) 家庭学習の変容（保護者アンケートより）

保護者アンケートで「家庭学習の習慣化してきた」という項目の1学期と2学期を比較してみると、「当てはまる」が11%上昇し、本校の取り組みが児童に定着してきたと感じている保護者が増えている結果となった。しかし、「当てはまらない」「あまり当てはまらない」を合わせると17%となり、課題も見られた。今後も自学自習の取組について工夫改善を図っていく必要がある。



### 3. 各学年の取組実践

#### 1 学年の家庭学習の取組実践事例

「がんばりノート」を配布して、「宿題」と「自学自習」を行う。「宿題」として、音読、プリント、がんばりノートの1ページは写しプリントを配布して、基礎学力や、がんばりノートの使い方の定着を図っている。内容は授業内容に合わせて、言葉あつめ、漢字・カタカ練習、計算など。

1ページは家庭や学童で児童と相談しながら、授業と連動した内容やその子に合った内容を復習させたりしている。その際、今まで学習したのプリントや「くりかえし漢字ドリル」も活用している。又、プリントファイルを作成し、そのファイルに音読表を貼り、保護者のサインなどで意識づけを行っている。週の予定表にその週の音読や学習の内容を保護者に知らせ、協力をお願いしている。12月は「学習計画表」を作成し、自分で計画を立て保護者と協力しながらページや内容を決めさせ、振り返りを行っている。

#### (1) 「宿題」について (写真①)

- ① 生活習慣を身につける (年間を通して週予定表の配布)
  - ・ 翌日の日程、持ち物、音読、課題、家庭への連絡メモ
- ② 基礎学力を身につける (音読・プリント・がんばりノートにその日の授業の復習)
  - ・ 国語の教材の音読 (家庭のサイン)  
「形成プリント」その他プリントをファイルに綴り提出
  - ・ 教科書の練習問題や漢字・カタカナ練習・計算等を1ページ (写しプリント配布)

#### (2) 「自学自習」について (写真②)

家庭・学童と相談しながら自分に必要な内容を1ページ以上

- ・ につき      ・ 言葉あつめ      ・ カタカナ      ・ 漢字      ・ 写本
- ・ たし算、ひき算 (教科書補充問題、過去のプリントから)
- ・ 苦手な単元の復習

#### (3) 身につけさせたい力

- ① 学習習慣
- ② 基礎学力の定着
- ③ 主体的に取り組む力 (計画→実践)
- ④ 粘り強くやり抜く力
- ⑤ 書く力
- ⑥ 読む力
- ⑦ 振り返る力

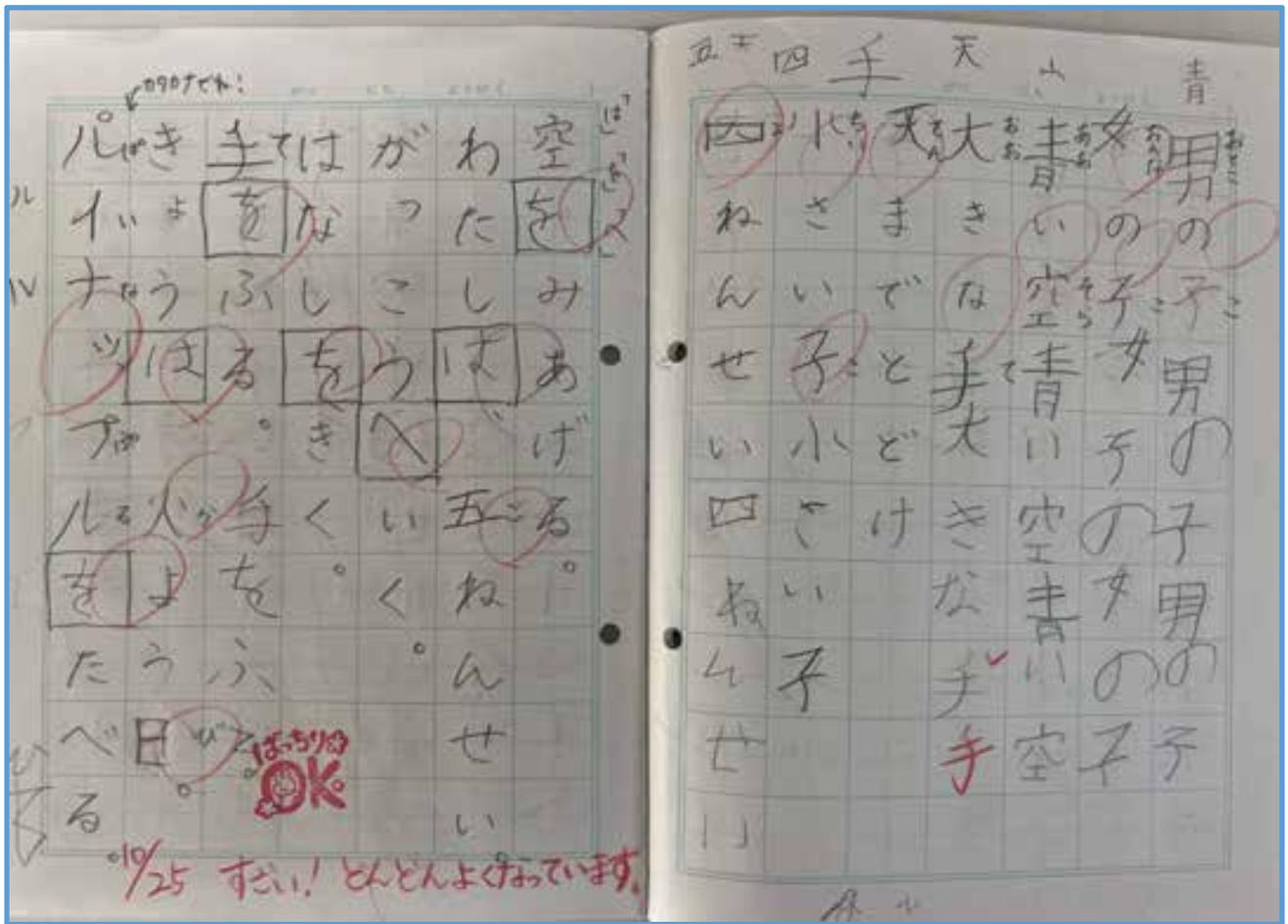
#### (4) 評価等の方法

- ・ プリントファイルを毎日提出させ、音読、プリントを担当でチェックしている。気になるミスや雑な文字に関しては、放課後やすきま時間に指導。
- ・ 前日出した漢字等についてミニテスト等を実施し、評価。
- ・ がんばりノートにアドバイスや感想等があれば、コメントなどで指導や支援。
- ・ 音読表で20日以上頑張っている子へごほうびシールを貼って賞賛。

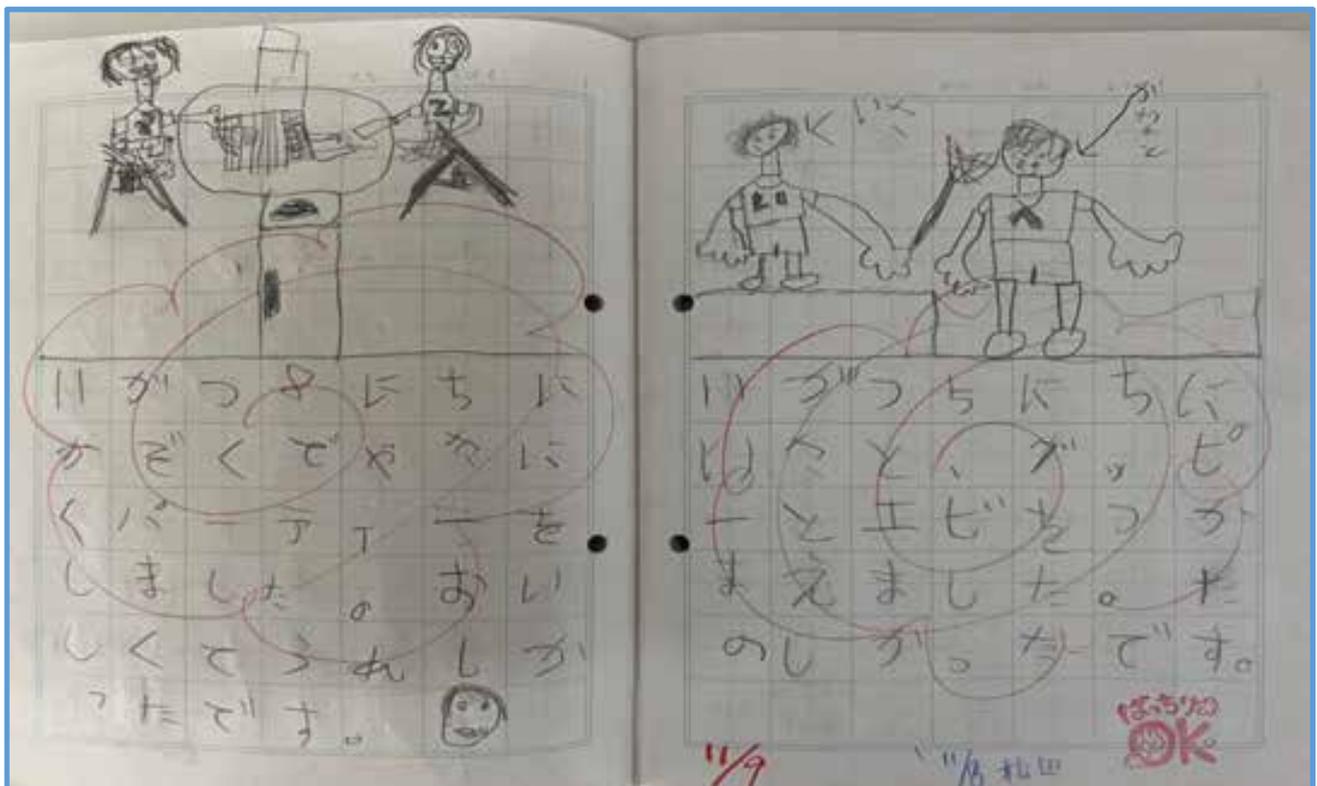
#### (5) 成果 (○) と課題 (△)、課題への対応策 (→)

- ほとんどの子プリントやがんばりノートを継続できた。
- 授業と連動した宿題を与えたことで、漢字や計算力など定着が見られた。
- △ 音読のサインが少ない。家庭学習として習慣化させたい。→ 家庭への呼びかけ、学童との協力。
- △ 自学自習の取組内容がその子に合っていない。→ 自分に必要な内容かどうかを考え、家庭と協力して粘り強く取り組めるよう支援していきたい。
- △ 授業と家庭学習の往還  
→ 予習や復習が生かされるような授業の組み立てを行い、意欲につなげる。

「がんばりノート (宿題)」 写真①



「がんばりノート (自学自習)」 写真②



## 2学年の家庭学習の取組実践事例

「がんばりノート」を配布して、「宿題」と「自学自習」を行う。「宿題」では、朝のドリル学習の漢字2字を復習させ、算数の「形成プリント」のどちらかを出している。教科書の練習問題に取り組みさせるなど、補習や授業と連動した課題を与えている。「自学自習」では、家庭学習強化月間に学級のためあてを設定し、意識づけを行っている。また、「学習計画表」を作成し、内容を記録・振り返りを行っている。

### (1) 「宿題」について (写真①)

- ① 生活習慣を身につける (年間を通して実施)
  - ・ 週の予定の配布
  - ・ 検温・音読カード (保護者の音読サイン欄有り)
- ② 基礎学力を身につける (朝のドリル漢字の復習・その日の授業の復習)
  - ・ 「くりかえし漢字ドリル」
  - ・ 「形成プリント」
  - ・ 教科書の練習問題や発展問題
  - ・ 国語の教科書の音読
  - ・ かけ算を暗唱

### (2) 「自学自習」について (写真②)

「宿題」の次のページから、土日の宿題として自分に必要な内容を1ページ

- ・ 絵日記
- ・ 計算やかけ算練習
- ・ 生きものについて (調べ学習)
- ・ 琉歌
- ・ 自分の苦手な単元の復習

### (3) 身につけさせたい力

- ① 学習習慣
- ② 基礎学力の定着
- ③ 主体的に取り組む力 (計画→実践)
- ④ 粘り強くやり抜く力
- ⑤ 書く力
- ⑥ 読む力
- ⑦ 振り返る力

### (4) 評価等の方法

- ・ 毎日提出し、学習係が提出状況をチェックし、提出を促す。(提出状況の把握)
- ・ アドバイスや感想等があれば、コメントし、指導や支援を行っている。
- ・ 音読表のチェックがない場合は担任が現在学習しているところの音読をさせている。
- ・ 練習問題等の正誤等の確認や手直しは、授業や準備時間、すき間時間で実施。

### (5) 成果 (○) と課題 (△)、課題への対応策 (→)

- △ 学習習慣がまだ身につけていない子がいる。(6/27名)
- 授業と連動した宿題を与えたことで、定着が見られる単元もあった。
- 自学自習でも授業で学習したことを復習したり、調べたりしてくる子がいた。
- △ 自学自習の取組内容
  - 簡単な問題をただやってくる子もいるため、見本になる子のノートを提示している。
- 授業と家庭学習の往還

「がんばりノート (宿題)」 写真①



「がんばりノート (自学自習)」 写真②



### 3学年の家庭学習の取組実践事例

「がんばりノート」を配布して、「宿題」「自立学習」を行う。毎日の「宿題」では、国語は、朝のドリルで学習した漢字2字の復習・既習の言葉事項（修飾語や辞典の使い方・漢字の意味など）算数は今日学習した内容の復習を「おたすけプリント」を作成して取り組ませている。復習や補充問題と授業と連動した課題を与えている。漢字ドリルノートも今日学習した文字を練習している。形成プリントも週末に活用し得ている。「自立学習」では、家庭学習強化月間には、学級や個人のめあてを設定や学習計画票を作成し意識づけを行っている。

#### (1) 「宿題」について (写真①)

- ① 生活習慣を身につける（年間通して週予定表の配布）
  - ・翌日の日程、持ち物、家庭への連絡メモ
- ② 基礎学力を身につける（授業と連動した課題）
  - ・国語・・・その日学んだ漢字の音訓読み、熟語、使い方、漢字ドリルノート  
言葉事項（修飾語・漢字の意味・ローマ字など）、音読
  - ・算数・・・授業の復習や補充問題、予習問題  
形成プリント

#### (2) 「自学自習」について (写真②)

自分が取り組みたい学習をする

- ・日記 ・写本 ・漢字 ローマ字
- ・かけ算の筆算 ・わり算（計算問題）・補充問題
- ・得意なことや好きなこと（生き物観察・物語作り・計算・漢字）

#### (3) 身につけさせたい力

- ① 学習規律
- ② 基礎学力の定着
- ③ 主体的に学ぶ力
- ④ 自分の得意なことや好きなことを広げる力（自己伸長）
- ⑤ 粘り強くやりぬく力
- ⑤ 振り返る力

#### (4) 評価等の方法

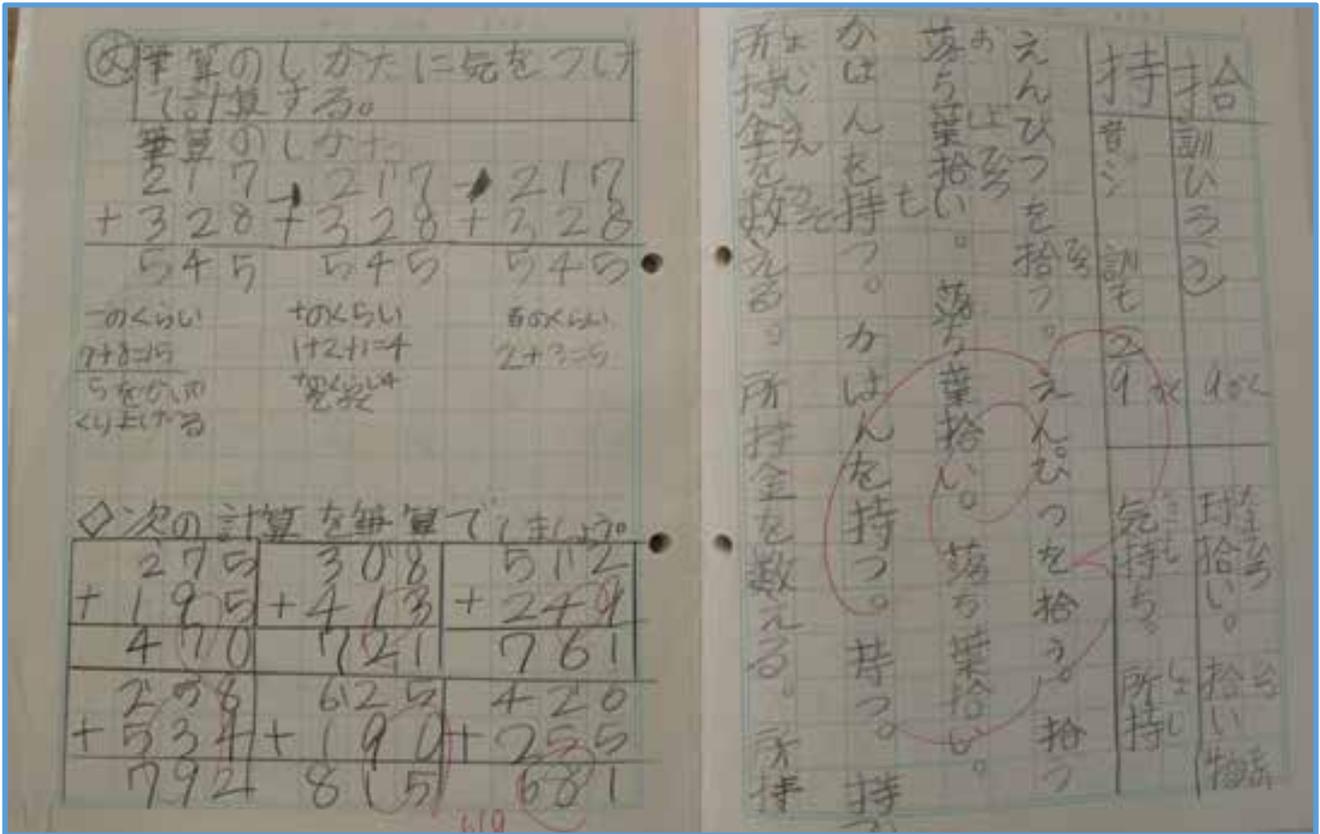
- ・毎日、担任が提出状況を把握し丸つけを行っている。誤答や書き方が雑な児童は支援・指導をしている。
- ・休み時間やすきま時間に誤答の直しの支援や書き方指導を行っている。
- ・ノートの使い方や工夫が見られる児童を賞賛し、紹介している。

#### (5) 成果 (○) と課題 (△)、課題への対応策 (→)

- 授業と連動した「おたすけプリント」を作成し課題にすることで既習内容の定着が見られた。
- 自分のやりたいことや好きな調べ学習に取り組む児童がいる。
- △ 家庭学習の習慣化ができていない児童への支援
  - 家庭学習の見取りを保護者へ協力依頼をする。できることを考え実行できるように声かけ支援。
- △ 自学自習の支援・指導
  - 自分のよさや伸ばしたいことを考え取り組む。（予習）  
苦手なこと課題についての対応を話し合う。（内容や課題）

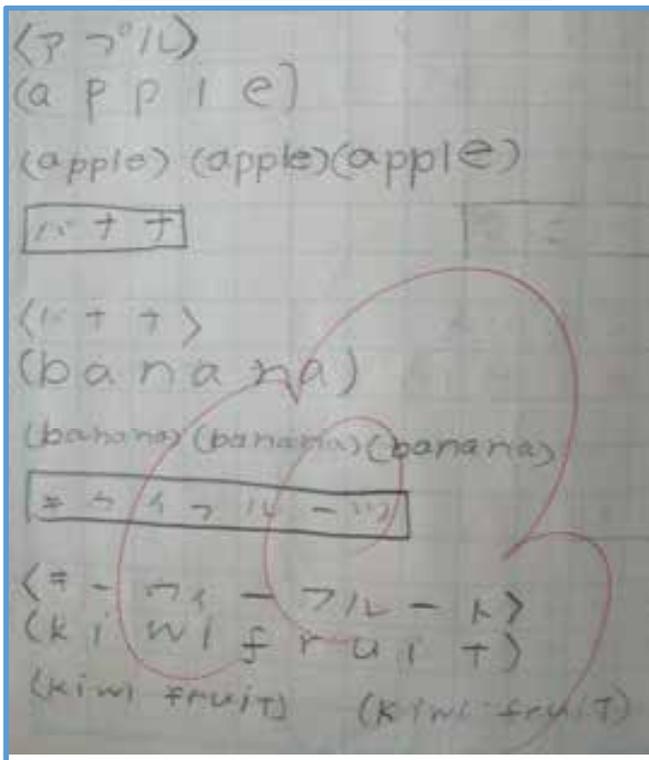
「がんばりノート（宿題）」写真①

「おたすけプリント」で授業と連動したがんばりノート。めあてをもって取り組んでいます。

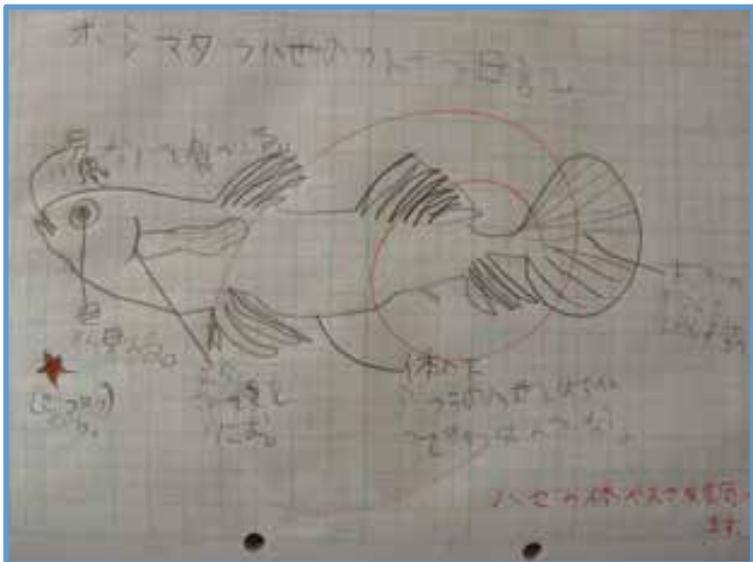


「がんばりノート（自学自習）」写真②

自学自習の取り組み（ローマ字）



好きな生き物観察（調べ学習）



#### 4学年の家庭学習の取組実践事例

1日の「宿題」は、がんばりノート1ページ半・漢字ドリルノートを活用した新出漢字2字・算数形成プリントを与えている。がんばりノート1ページは、教科書を見て算数の時間の予習や復習を行い、半ページには日記の課題を与えている。

家庭学習強化月間では、一週間の家庭学習予定表の作成、1ページの「自学自習」を推奨している。自分の苦手な教科や単元、興味のある内容など、復習したり調べたりしたことをまとめさせている。また、めあて・振り返りの記入を呼びかけ、目的意識をもった家庭学習に取り組ませている。

##### (1) 「宿題」について (写真①)

###### ① 生活習慣を身につける

- ・ 翌日の日程や持ち物、宿題のメモの記入
- ・ 日記(条件やテーマを設定する)

###### ② 基礎学力を身につける

- ・ 漢字ドリルノート(朝ドリルの時間に練習した新出漢字2字の復習)
- ・ 算数形成プリント
- ・ 算数の練習問題や発展問題、次の時間に学習する内容の予習
- 国語の教科書の音読

##### (2) 「自学自習」について (写真②)

- ・ 興味のあることを調べてまとめる。
- ・ 苦手な教科の復習
- ・ テスト問題の復習

##### (3) 身につけさせたい力

- ① 基礎的・基本的な知識・技能の定着(計算力、漢字の読み書き)
- ② 学習習慣
- ③ 自己の課題に向けて、粘り強くやり抜く力
- ④ 書く力
- ⑤ 振り返る力

##### (4) 評価等の方法

- ・ がんばりノート、漢字ドリルノートは、担任が○付け、訂正があればその場で直させる。
- ・ 算数プリントは、係児童が○付けをし、訂正があればその場で直し、担任が確認をする。
- ・ 担任が、日記に励ましのコメントを記入する。

##### (5) 成果(○)と課題(△)、課題への対応策(→)

- 個に応じた宿題を提示することで、主体的に学習する児童が出てきた。
- 授業と連動した宿題を与えることで、定着が見られる単元があった。
- 自学自習に取り組む児童を全体に紹介することで、児童の賞賛の場が増えた。

△ 学習習慣が身につけていない児童がいる。

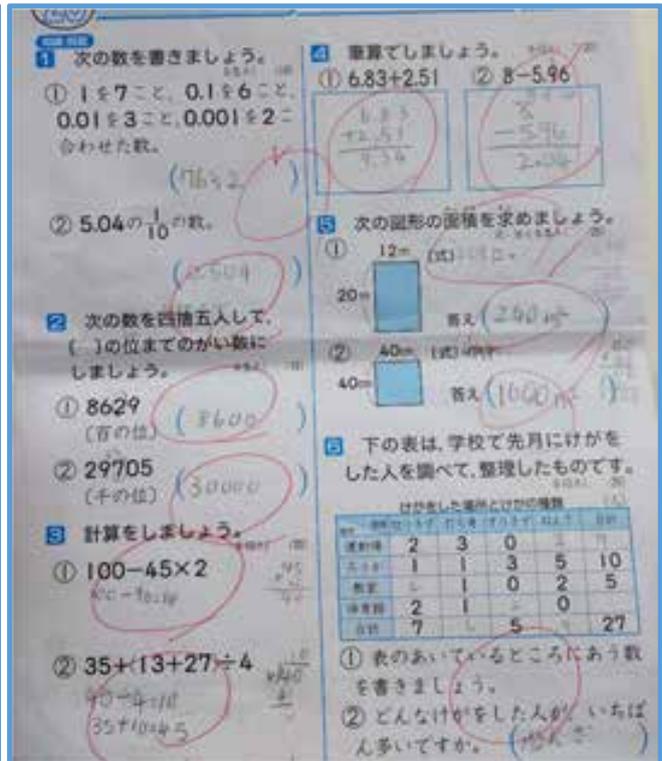
→家庭と連携をとり、支援を継続する。

「がんばりノート（宿題）」写真①

朝のドリル学習で習った2字を宿題として漢字ドリルノートで復習する。

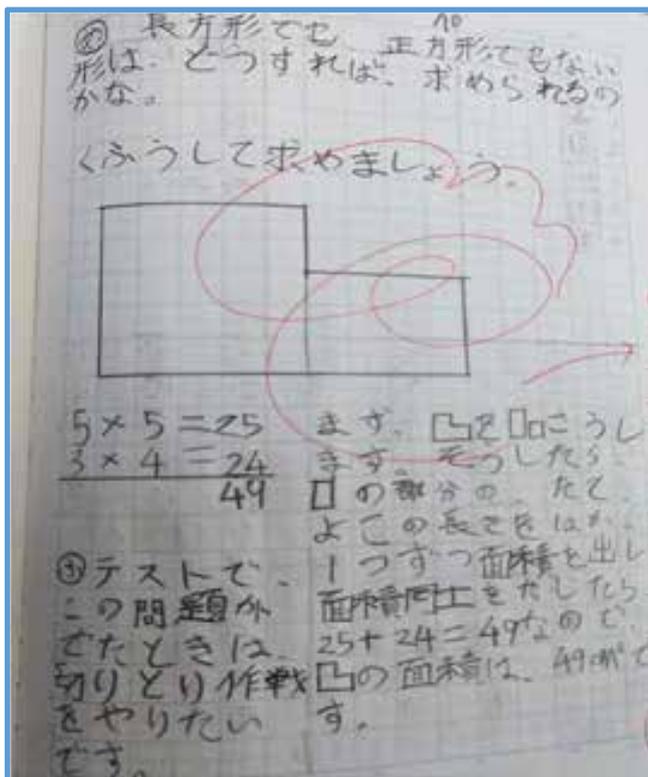


授業と連動した算数の形成プリントを宿題として与え、訂正があればその場で訂正する。

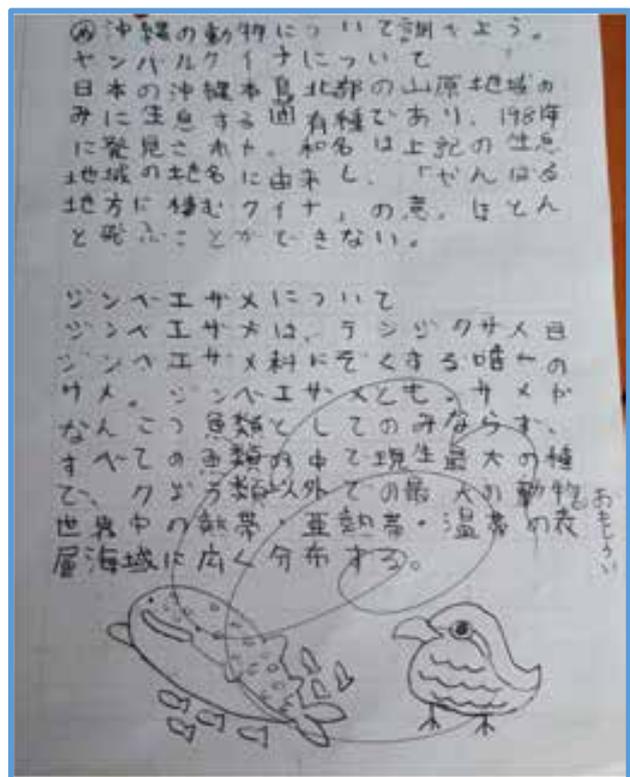


「がんばりノート(自学自習)」写真②

テストで間違えた問題の復習(めあて・振り返り記入)



興味があることを調べてまとめる(イラスト記入)



## 5学年の家庭学習の取組実践事例

「がんばりノート」を配布して、「宿題」と「自学自習」を行う。「宿題」では、朝のドリル学習の漢字2字を復習させたり、教科書の練習問題に取り組みさせるなど、補習や授業と連動した課題を与えている。また、「形成プリント」や「くりかえし漢字ドリル」も活用している。「自学自習」では、家庭学習強化月間に学級のためをを設定し、意識づけを行っている。また、「学習計画表」を作成し、内容を記録・振り返りを行っている。

### (1) 「宿題」について (写真①)

- ① 生活習慣を身につける (年間を通して実施)
  - ・翌日の日程、持参物、家庭への連絡メモ (保護者の音読サイン欄有り)
  - ・日記 (行事等がある時)
- ② 基礎学力を身につける (朝のドリル漢字の復習・その日の授業の復習)
  - ・ 「くりかえし漢字ドリル」
  - ・ 「形成プリント」のぺら張り
  - ・ 教科書の練習問題や発展問題
  - ・ 国語の教科書の音読
  - ・ 都道府県の歌を暗唱

### (2) 「自学自習」について (写真②)

「宿題」の次のページから、自分に必要な内容を1ページ

- ・ 絵日記
- ・ 英語のスペルと意味
- ・ テスト対策
- ・ 本の紹介文
- ・ 他国の豆知識
- ・ 将来の夢につながる事 (調べ学習)
- ・ 算数の予習
- ・ 絶滅危惧種について
- ・ 苦手な単元の復習

### (3) 身につけさせたい力

- ① 学習習慣
- ② 基礎学力の定着
- ③ 主体的に取り組む力 (計画→実践)
- ④ 粘り強くやり抜く力
- ⑤ 書く力
- ⑥ 読む力
- ⑦ 振り返る力

### (4) 評価等の方法

- ・ 毎日提出し、学習係が提出状況をチェックし、提出率を掲示する。(提出状況の把握)
- ・ 検印をし、三段階で内容の評価する (花丸・◎・○)
- ・ アドバイスや感想等があれば、コメントし、指導や支援を行っている。
- ・ 音読表のチェックは朝の会で実施。
- ・ 練習問題等の正誤等の確認や手直しは、授業や準備時間、すき間時間で実施。

### (5) 成果 (○) と課題 (△)、課題への対応策 (→)

- 学習習慣が身についてきた。(16/19名)
- 授業と連動した宿題を与えたことで、定着が見られる単元もあった。
- 自学自習でも授業で学習したことを復習したり、調べたりしてくる子がいた。
- △ 自学自習の取組内容
  - 自分に必要な内容かどうかを考え、粘り強く取り組めるよう支援していきたい。
- △ 授業と家庭学習の往還
  - 予習や復習が活かされるような授業の組み立てを行い、意欲につなげる。

「がんばりノート（宿題）」写真①

朝のドリル学習で習った2字を宿題として  
がんばりノートで復習する。（書き方統一）

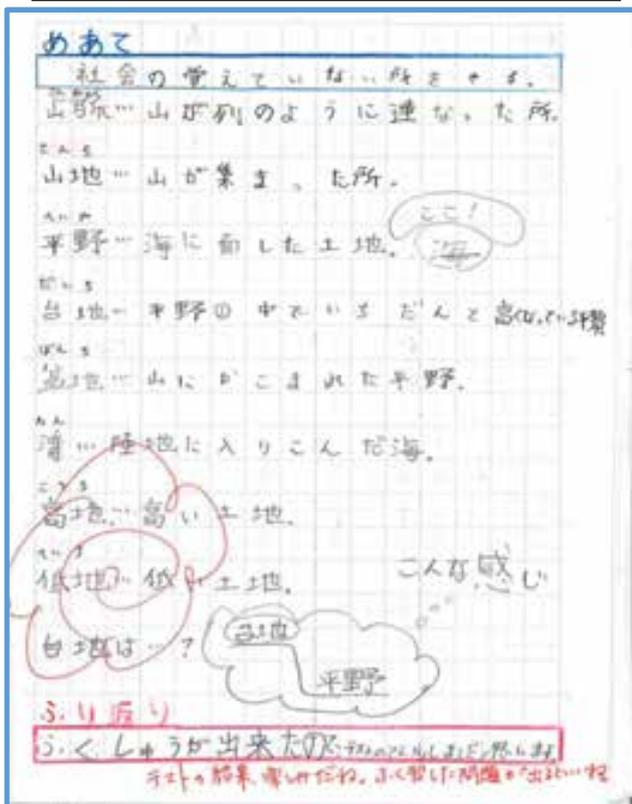


単元のプリントを宿題として、がんばりノート  
に貼る。（授業と連動した宿題プリント）



「がんばりノート（自学自習）」写真②

社会の覚えていない用語についての復習の様子  
「めあて」「ふり返り」の記入有り。



総合学習でサンゴ学習を行った日の自学自習  
ノートの様子（イラスト入り）



## 6学年の家庭学習の取組実践事例

「がんばりノート」を配布して、「課題」と「自学自習」を行う取り組みをした。「課題」では、朝のドリル学習の漢字2字を復習したり、既習算数の類似問題、テストでの落ち込んだところなど、授業と連動した課題を与えている。また、学文会社（係）の子どもたちが前時の授業などから問題を作成したプリントを配布したりと子どもたち自らが進んで取り組めるような家庭学習に取り組んだ。「自学自習」では、教師側から例題を提示したり子どもの自学自習でよいところを紹介したりと楽しく興味を持つような探求的な自学自習に取り組んでいる。さらに、めあてや振り返りも書くような意識づけもさせている。

### (1) 「宿題」について (写真①)

- ① 生活習慣を身につける (年間を通して実施)
  - ・ がんばりノートに課題や自学自習した時間を書かせる。
- ② 基礎学力を身につける (朝のドリル漢字の復習・その日の授業の復習・係活動との連動)
  - ・ くりかえし漢字ドリル
  - ・ 課題プリント
  - ・ 教科書の練習問題や発展問題
  - ・ 社会の歴史上人物調べ
  - ・ 係から出された課題

### (2) 「自学自習」について (写真②)

自学自習の例

- ・ 将来の職業との関連
- ・ 読書と感想
- ・ おすすめの本紹介
- ・ 作家活動 (物語作り)
- ・ 説明書作り
- ・ 歴史上の人物調べ
- ・ サイン作り
- ・ 季節のスイーツ調べ (実際に作って感想など)
- ・ 画家や作家調べ
- ・ ペット紹介・動物調べ
- ・ ファッション用語調べ
- ・ 電車紹介
- ・ 外国文化調べ
- ・ 野球の作戦など
- ・ 本や資料などを使っての社会や理科の調べ学習

### (3) 身につけさせたい力

- ① 学習習慣
- ② 基礎学力の定着
- ③ 主体的に取り組む力
- ④ 探求しまとめる力
- ⑤ 書く力
- ⑥ 読む力
- ⑦ 振り返る力

### (4) 評価等の方法

- ・ 毎日提出し、学文会社（係）が提出状況をチェックし、提出率を掲示する。(提出状況の把握)
- ・ アドバイスや感想等があれば、コメントし、賞賛や支援を行っている。
- ・ 練習問題等の正誤等の確認や手直しは、準備時間、すき間時間に実施。

### (5) 成果 (○) と課題 (△)、課題への対応策 (→)

- 学習習慣が身についてきた。(16/20名)
- 授業と連動した課題を与えたことで、単元テストの平均点が上がった。
- △ 自学自習の取組内容
  - 自分に必要な内容かどうかを考え、粘り強く取り組めるよう支援していきたい。
- △ 習慣化しない子への支援
  - 自分なりにできそうな内容や時間などの週の計画を立てて取り組むようにする。

「がんばりノート（宿題）」写真①

めあて ふりかえり 学習した時間

繰り返し漢字ドリル 熟語での練習

15:30 - 15:40 12.8.14

① 縦と横の長さの比が4:6の長方形をなします。

② まわりの長さを40cmにするとき、縦の長さは、何cmにすればよいですか。

4 : 10 = x : 40    x = 4 × 4 = 16

16 + 2 = 18 縦の長さ (8cm)

6 : 10 = x : 40    x = 6 × 4 = 24

24 + 2 = 26 横の長さ (12cm)

③ ①のとき、長方形の面積は何cm<sup>2</sup>ですか。

式は 24 × 16 = 384 答え (384cm<sup>2</sup>)

おらい♡    Love Thank.

7	6	5	4	3	2	1
政	確	内	革	天	殺	観
党	実	閣	新	皇	倉	衆
に	な	総	的	陛	地	の
属	道	理	な	下	帯	前
す	を	大	意	の	が	下
る	進	臣	見	お	広	演
	む			言	が	奏
政	確	内	革	葉		す
党	実	閣	新			る
に	な	総	的	天	殺	
属	道	理	な	皇	倉	観
す	を	大	意	陛	地	衆
	進	臣	見	下	帯	の
				の	が	前

「がんばりノート（自学自習）」写真②

将来の夢の職につくための学習

興味のある偉人について調べ学習

危険をまねくいたら、重い犯罪になるよ

第125条 往來危険

1項 鉄道やその標識を壊しながら、汽車・電車運行に危険を与えた人は、2年以上の有期懲役

第129条 往來妨害及び同罪

1項 道路や橋や電線

2人シンセラー

・視覚、聴覚の発達障害者  
・脳の老廃物に気づく  
・AIにシグナルは多くの障害者  
・もつたや 脳が休まずに働き続けること  
・社会生活と闘った

人生はわりと短いので、未来を占めておくのがいいよ。もしこの世に自分がいるとしたら、どうやって生きていこうか。それは、自分自身で決めることだ。

② 世界の百の偉人

・ケルソール・パイプ  
・パイプは、一ヶ月の親  
・一ヶ月の親は、ケルソール・パイプを倒した。  
・一ヶ月の親は、ケルソール・パイプを倒した。  
・一ヶ月の親は、ケルソール・パイプを倒した。  
・一ヶ月の親は、ケルソール・パイプを倒した。  
・一ヶ月の親は、ケルソール・パイプを倒した。

## (特別支援学級(かがやき)の家庭学習の取組実践事例)

今年度、本学級には1年生、3年生、4年生2名が在籍している。

家庭学習の取り組み内容は、ほぼ学年と同じであるが、個の実態に応じて書く量や内容を調整している。

「宿題」では、朝のドリル学習の漢字2字を漢字ドリルノートに練習。また、授業と連動した算数の形成プリントに取り組んだ。「自学自習」は、児童と話して内容を決めることが多いが、日記や苦手な計算、ローマ字、漢字の復習等に取り組ませた。家庭学習強化月間には、学年で配布された「学習計画表」を作成し、学習内容の記録振り返りを行った。

### (1) 「宿題」について

#### ① 生活習慣を身につける

翌日の時間割や持ち物を交流学級でメモする。(年間を通して実施)

#### ② 基礎学力の定着

朝のドリル漢字の復習 (写真①)

算数形成プリントを自分の力で解く。(写真②)

音読(サインをもらう)

### (2) 「自学自習」について

取り組む内容を教師と決め「学習計画表」に記述する。(写真③)

自分に必要な内容を半ページ、1～2ページ(写真④)

### (3) 身につけさせたい力

#### ① 学習習慣

#### ② 基礎学力の定着

#### ③ 主体的に取り組む力(計画→実践)

#### ④ 粘り強くやり抜く力

#### ⑤ 書く力

#### ⑥ 読む力

#### ⑦ 振り返る力

### (4) 評価等の方法

・毎日提出し、アドバイスや感想等があれば、コメントし、指導や支援を行っている。

(朝で提出できれば、がんばりシールを貼ることが出来る。)

・練習問題等の手直しは、授業のすき間時間やチャレンジタイムで実施。

### (5) 成果(○)と課題(△)、課題への対応策(→)

○ 学習習慣が身につけてきた。(3/4名)

○ 授業と連動した宿題を与えたことで、定着が見られる単元もあった。

○ 日記を書かせることで、学校や家での児童の様子を知ることが出来た。

○ 児童がつまづいている箇所早く気づくことで支援につながった。

△ 主体的な学び

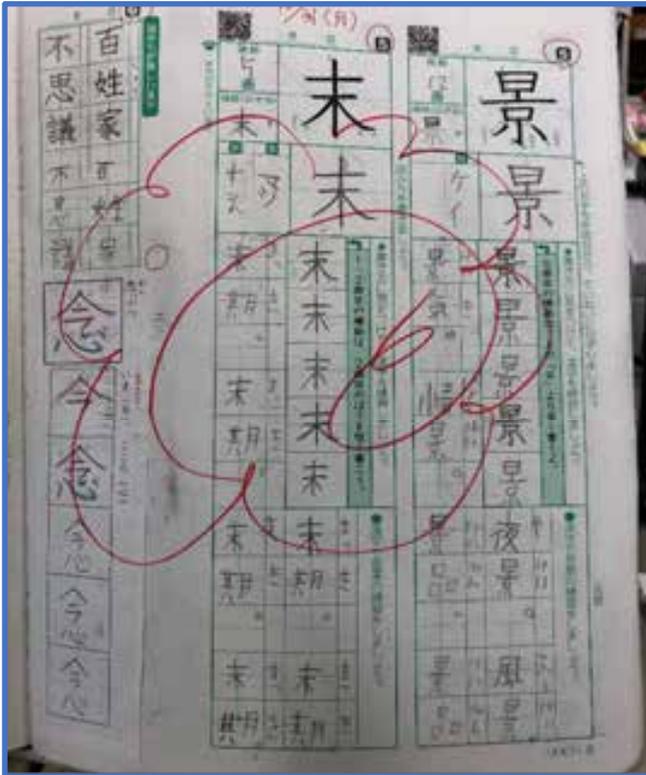
→ 教師主導の児童が多いが、今後少しずつ自学自習に挑戦させたい。

△ 学習習慣がまだ身につけていない児童への対応

→ 放課後の個別学習、家庭との連携。

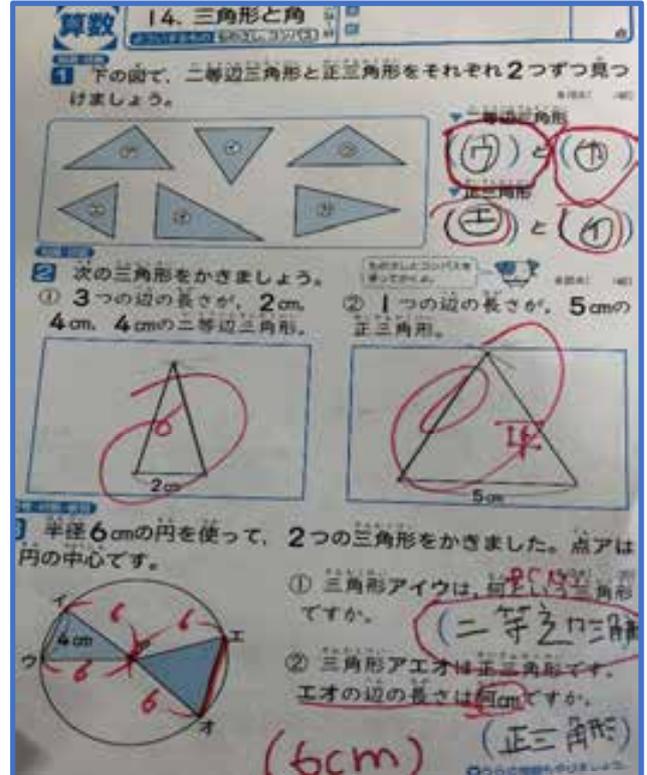
「宿題」写真①

朝のドリル学習で習った2字を漢字ドリルノートに練習する。



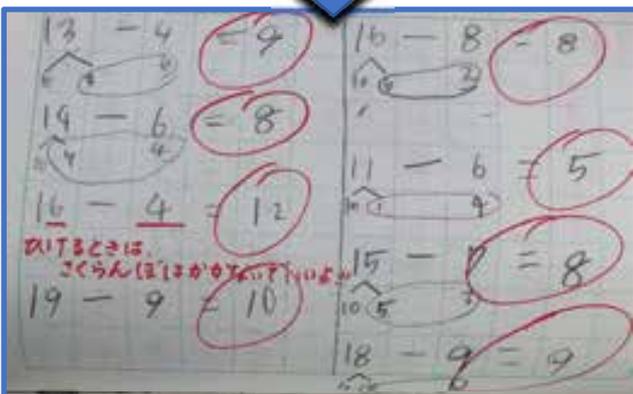
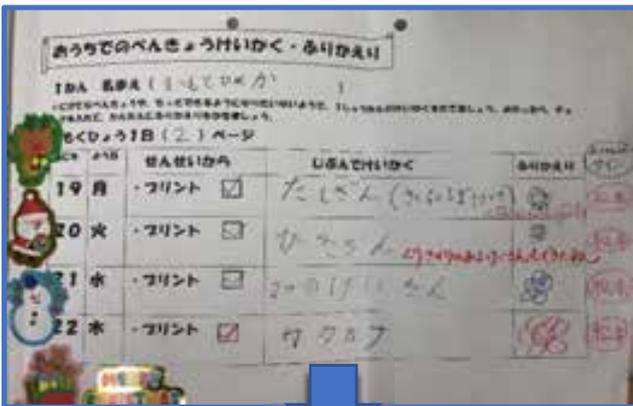
写真②

授業と連動したプリントに自分の力で挑戦する。



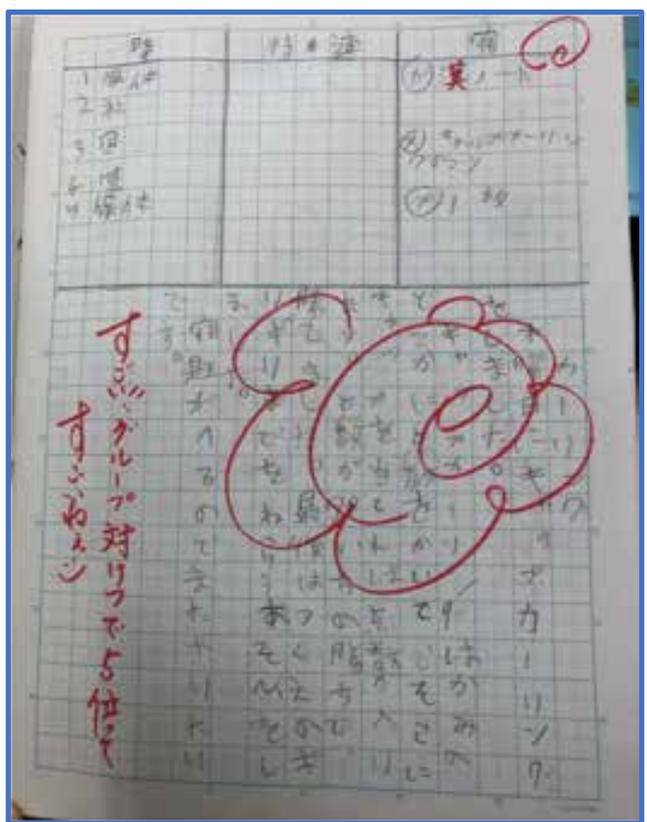
「自学自習 (がんばりノート)」写真③

学習計画表に計画したことを自分で頑張る。  
( 苦手なさくらんぼ計算に挑戦! )



写真④

行事があったときや週末は、自分が感じたことや思いを日記に綴る。



## Ⅱ 恩納村学力向上対策専門部会活動報告

### 2 家庭・地域教育部会（各地域の実践報告）

- （1）喜瀬武原地区支部
- （2）安富祖地区支部
- （3）太田地区支部
- （4）恩納地区支部
- （5）塩屋地区支部



サンゴの村宣言

Onna Village in Okinawa

## 地域学習塾活動実績書

( 喜瀬武原 ) 自治会地域支部

活動日時	場 所	活動内容	参加人数	講師氏名
7月 26日 9時から11時	公民館	夏休みの友	2名	佐久間大輔
7月 27日 9時から11時	公民館	夏休みの友 夏休みの宿題	8名	佐久間大輔
7月 28日 9時から11時	公民館	夏休みの友 夏休みの宿題	0名	佐久間大輔
7月 29日 9時から11時	公民館	夏休みの友 夏休みの宿題	4名	佐久間大輔
8月 2日 9時から11時	公民館	夏休みの友 夏休みの宿題	5名	佐久間大輔
8月 3日 9時から11時	公民館	夏休みの友 夏休みの宿題	2名	佐久間大輔
8月 4日 9時から11時	公民館	夏休みの友 夏休みの宿題	2名	佐久間大輔
8月 5日 9時から11時	公民館	夏休みの友 夏休みの宿題	5名	佐久間大輔
8月 6日 9時から12時	公民館	工作	14名	宇江城朝美、瑞慶山奈美、外間杏野

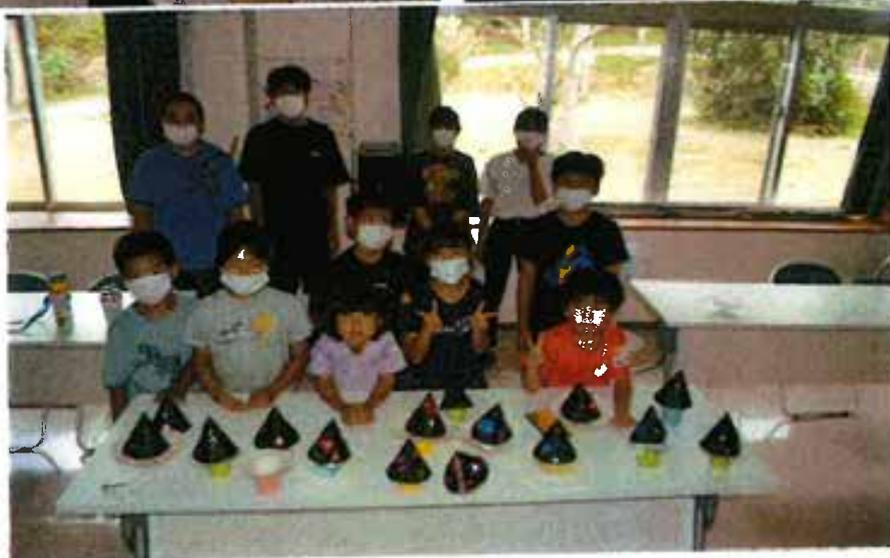
### 効果

- ◎参加する子供は早めに宿題に取り組んで順調に終わらせていた。
- ◎工作作りは参加人数が多く、楽しんで作品を完成させていた。
- ◎支援員の先生が参加する日は、子供たちも楽しそうに勉強していた。

### 課題

- ◎参加する児童が決まってい、全く参加しない子をどう誘うか、今後は保護者への日程表の公文を配布する。学校にも協力してもらおう。(子供会役員からラインで送信したが子供会に加入していない世帯もあるので)
- ◎工作以外の習字等を取り入れたいと思ったが、今回も講師が確保できなかった。
- ◎中学生が参加する日は人数が増えたが、翌日以降コロナウイルス感染症濃厚接触などで参加人数が減った。
- ◎次年度以降のためにも参加方法や講師の確保の工夫が必要だと思う。





## 地域学習塾活動実績書

自治会地域支部の名称（ 安富祖区 ）

活動日時	場 所	活動内容	参加人数	講師氏名
7月27日(水) 9時から12時	2階畳間	図 画 (夏休みの課題)	0人	コロナ感染 拡大防止の 為中止
8月 1日(月) 9時から12時	会議室	夏休みの課題 予習・復習	2人	
8月 3日(水) 9時から12時	2階畳間	夏休みの課題 予習・復習	4人	伊是名 雄哉
8月 5日(金) 9時から12時	2階畳間	夏休みの課題 予習・復習	4人	幸地 克珂
8月 8日(月) 9時から12時	2階畳間	図 画 (夏休みの課題)	0人	コロナ感染 拡大防止の 為中止
8月 9日(火) 9時から12時	2階畳間	書 道 (夏休みの課題)	0人	コロナ感染 拡大防止の 為中止
8月15日(月) 14時から17時	会議室	夏休みの課題 予習・復習	2人	
8月17日(水) 14時から17時	会議室	夏休みの課題 予習・復習	2人	
8月19日(金) 14時から17時	会議室	夏休みの課題 予習・復習	2人	
月 日 時から 時				
月 日 時から 時				
月 日 時から 時				
月 日 時から 時				

## 効果と課題

令和4年度 座学のみ 6日間開催 参加人数 16名

コロナ感染拡大防止の為に、2年間地域学習塾を行っていなかった事と、色々な要因が重なり、子ども育成会・学校・名嘉真区・喜瀬武原区と綿密な連携が取れなかった。

地域学習塾が入っている日に稲刈りが日時丸被りで入っていたり、特別支援教育支援の先生の予定が、他の区の地域学習塾と被って先生が不在だったり等、今までなかったことが起こったので今後この様な事が無いように、各関係者と連携をとっていきたい。

また、過去例にみないコロナ感染者数の増加・家庭内感染の増加等の要因も子ども達の参加率を著しく低下させたので、コロナとの付き合い方も考えさせられた。

今回参加人数が少ない事もあってか、子ども達が楽しそうに学習していた。子ども達が自主的に通常2時間の座学を3時間に延ばして先生方との学習を行っていたのが印象的だった。



## 地域学習塾活動実績書

自治会地域支部の名称（太田区自治会）

活動日時	場 所	活動内容	参加人数	講師氏名
8月1日 8:30から10:30	太田公民館 会議室	夏休みの宿題	0名	田中里英
8月3日 8:30から10:30	〃	〃	3名	田中里英
8月5日 8:30から10:30	〃	〃	5名	伊波早 仲村奈実
8月8日 8:30から10:30	〃	〃	8名	無し
8月15日 8:30から10:30	〃	〃	5名	無し
8月17日 8:30から10:30	〃	〃	7名	無し
8月19日 8:30から10:30	〃	〃	4名	無し
8月22日 8:30から10:30	〃	〃	3名	無し
8月24日 8:30から10:30	〃	〃	1名	無し
8月26日 8:30から10:30	〃	〃	2名	無し

### 効果と課題

- ・夏休みの宿題ができています。
- ・学童に行っている子どもたちがいて、年々参加人数が少なくなっている。



# 塩屋子供育成会

夏休み工作、ダンボールでシーサーやイルカなどを作る、ストローでコースターを作る。を計画していましたが、コロナ増加の為、役員で型紙を作ったり、ストローをカットしたり、作り方をコピーして、各子供に配布。各自家で工作してもらうことにしました。



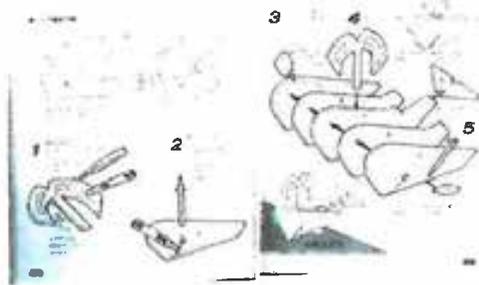
こんな感じで配りました。



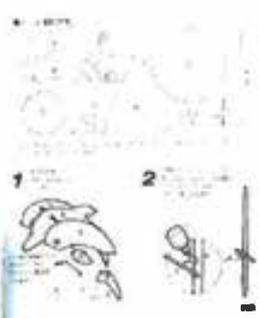
ストローコースターの作り方



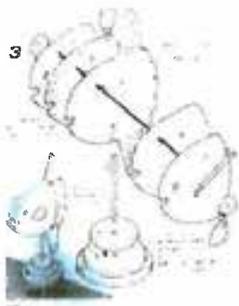
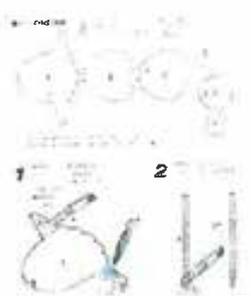
シーサーの作り方



イルカの作り方



熊の作り方



## Ⅱ 恩納村学力向上対策専門部会活動報告

### 3 諸検査・調査の結果

- (1) 全国学力・学習状況調査
- (2) 沖縄県学習到達度調査の結果
- (3) 学びの確かめ 結果
- (4) 学校図書館、読書活動の実態調査
- (5) 児童生徒質問紙
- (6) 恩納村学推実践7項目の評価
- (7) 問題行動等及び長期欠席者等に関する実態
- (8) 泳力調査



# (1)全国学力・学習状況調査 正答率5年間の推移(小6)

国語		全国	県	恩納村
令和4年度	正答率	65.6	63	<b>66</b>
	差	<b>0.4</b>	<b>3.0</b>	
令和3年度	正答率	64.7	65	<b>68</b>
	差	<b>3.3</b>	<b>3.0</b>	
令和2年度	正答率	*	68.9	<b>70.4</b>
	差	<b>*</b>	<b>1.5</b>	
令和元年度	正答率	63.8	68	<b>71</b>
	差	<b>7.2</b>	<b>3</b>	
国語A		全国	県	恩納村
平成30年度	正答率	70.7	68	<b>64</b>
	差	<b>-6.7</b>	<b>-4</b>	

国語B		全国	県	恩納村
平成30年度	正答率	54.7	56	<b>51</b>
	差	<b>-3.7</b>	<b>-5</b>	

算数		全国	県	恩納村
令和4年度	正答率	63.2	59	<b>65</b>
	差	<b>1.8</b>	<b>6.0</b>	
令和3年度	正答率	70.2	69	<b>73</b>
	差	<b>2.8</b>	<b>4</b>	
令和2年度	正答率	*	66.7	<b>67.5</b>
	差	<b>*</b>	<b>0.8</b>	
令和元年度	正答率	66.6	68	<b>67</b>
	差	<b>0.4</b>	<b>-1</b>	
算数A		全国	県	恩納村
平成30年度	正答率	63.5	66	<b>63</b>
	差	<b>-0.5</b>	<b>-3</b>	

算数B		全国	県	恩納村
平成30年度	正答率	51.5	52	<b>50</b>
	差	<b>-1.5</b>	<b>-2</b>	

理科		全国	県	恩納村
令和4年度	正答率	63.3	61	<b>63</b>
	差	<b>-0.3</b>	<b>2.0</b>	

○小学校においては、国語、算数ともに令和元年度以降平均正答率が全国平均を上回る状況が続いており、今年度も、国語、算数共に、全国平均を0.4ポイント、県平均を3ポイント上回っている。また理科においては、県平均を2ポイント上回っている。

○小学校国語においては、「我が国の言語文化に関する事項」、「話すこと・聞くこと」、「読むこと」、算数においては、「図形」、理科においては、「粒子」、「生命」、「地球」の領域で全国平均を下回り、課題が見られた。

## (1)全国学力・学習状況調査 正答率5年間の推移(中3)

国語		全国	県	恩納村
令和4年度	正答率	69	64	62
	差	-7.0	-2.0	
令和3年度	正答率	64.6	60	55
	差	-9.6	-5.0	
令和2年度	正答率	*	76.3	81.5
	差	*	5.2	
令和元年度	正答率	72.8	68	65
	差	-7.8	-3	
国語A		全国	県	恩納村
平成30年度	正答率	76.1	72	70
	差	-6.1	-2	

国語B		全国	県	恩納村
平成30年度	正答率	61.2	58	57
	差	-4.2	-1	

数学		全国	県	恩納村
令和4年度	正答率	51.4	42	37
	差	-14.4	-5.0	
令和3年度	正答率	57.2	52	50
	差	-7.2	-2	
令和2年度	正答率	*	45.1	52
	差	*	6.9	
令和元年度	正答率	59.8	53	49
	差	-10.8	-4	
数学A		全国	県	恩納村
平成30年度	正答率	66.1	59	53
	差	-13.1	-6	

数学B		全国	県	恩納村
平成30年度	正答率	46.9	40	35
	差	-11.9	-5	

理科		全国	県	恩納村
令和4年度	正答率	49.3	44	42
	差	-7.3	-2.0	

○中学校においては、国語、数学ともに平均正答率が全国平均を下回る状況が続いており、今年度も国語で5ポイント以上、数学で10ポイント以上下回っている。また、理科では、全国平均を5ポイント以上、県平均を2ポイント下回っている。

○中学校国語では、「言葉の特徴や使い方に関する事項」、「情報の扱い方に関する事項」、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、数学では、「数と式」、「図形」、「データの活用」、理科では、「粒子領域」、「生命領域」、「地球領域」の領域で、全国平均及び県平均を下回り、課題が見られた。

(3) 学びのたしかめ(令和4年度 沖縄県学力定着状況調査)結果 R4. 6月実施  
小学校

学年	教科	実施時期	恩納村		中頭地区平均	沖縄県平均
			恩納村平均	県との差		
4学年	国語	6月	52.6	2.9	49.5	49.7
	算数	6月	57.0	7.4	49.0	49.6
5学年	国語	6月	65.3	2.3	62.8	63.0
	算数	6月	60.4	8.8	51.6	51.6

※令和4年度は、6月のみ実施

中学校

学年	教科	実施時期	恩納村		中頭地区平均	沖縄県平均
			恩納村平均	県との差		
1学年	国語	6月	50.5	3.3	46.1	47.2
	数学	6月	64.3	8.3	54.7	56.0
2学年	国語	6月	43.0	-1.2	42.9	44.2
	数学	6月	45.2	2.4	41.3	42.8
	英語	6月	44.0	-2.2	44.3	46.2
3学年	英語	6月	37.7	-6.3	42.1	44.0

※令和4年度は、6月のみ実施

## (2) 令和3年度 沖縄県学力到達度調査結果

小学校

令和4年2月実施

学年	教科	恩納村		中頭地区平均	沖縄県平均
		恩納村平均	県との差		
5学年	国語	73.6	5.6	68.7	68.0
	算数	61.0	8.5	53.6	52.5
6学年	国語	67.2	5.4	61.2	61.8
	算数	39.3	0.8	38.4	38.5

中学校

令和4年2月実施

学年	教科	恩納村		中頭地区平均	沖縄県平均
		恩納村平均	県との差		
1学年	国語	56.6	3.9	50.0	52.7
	数学	48.3	5.0	41.9	43.3
	英語	44.5	3.2	40.6	41.3
2学年	国語	56.6	1.3	54.1	55.3
	数学	44.0	4.1	37.8	39.9
	英語	52.2	-2.1	52.9	54.3

#### (4) 学校図書館・読書活動の実態調査

〈学年毎の平均読書冊数（5カ年の推移）〉

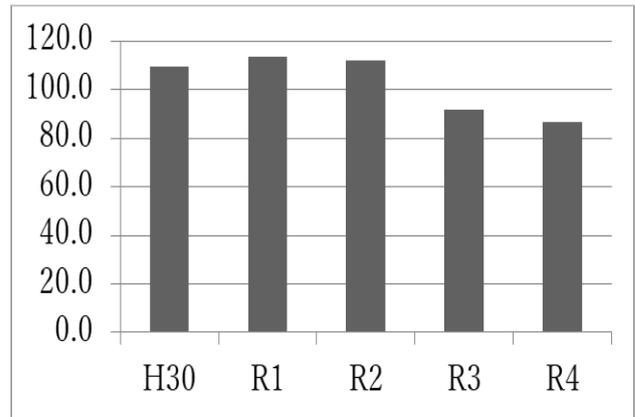
## 小学校

※単位：冊

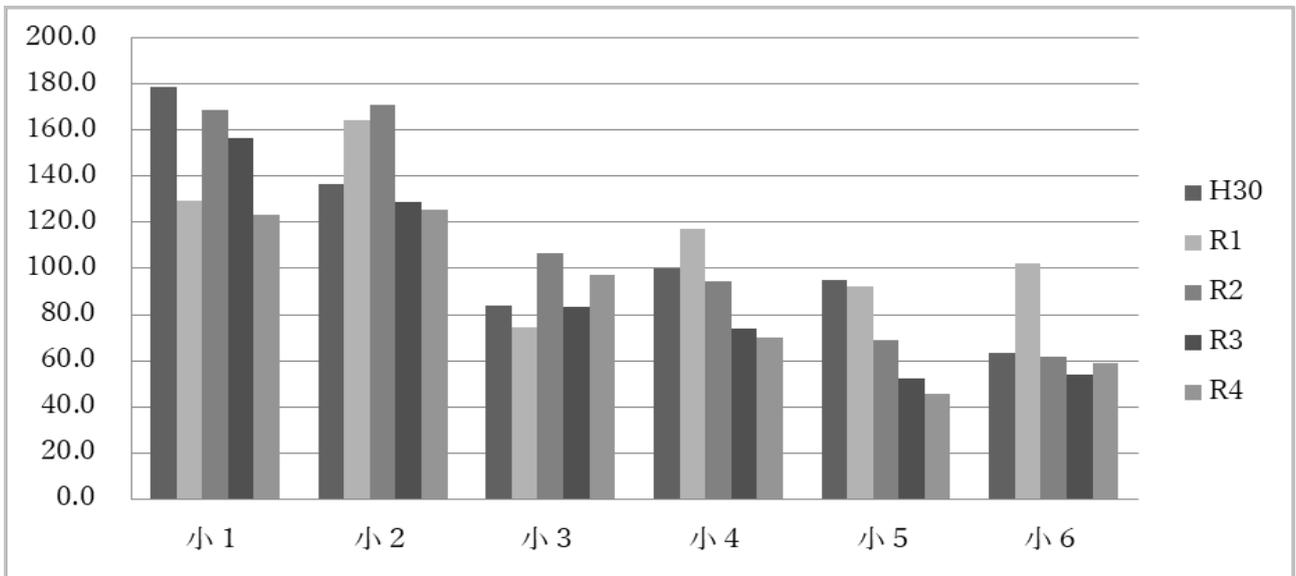
##### 1 読書冊数表（5年間）

	H30	H1	R2	R3	R4
1年	178.8	129.6	168.9	156.8	123.3
2年	136.5	164.4	170.9	128.7	125.3
3年	83.9	74.6	106.4	83.5	97.1
4年	100.0	117.4	94.6	74.0	70.2
5年	95.1	92.4	69.0	52.4	45.8
6年	63.4	102.3	61.5	54.2	58.8
平均	109.6	113.5	111.9	91.6	86.7

##### 2 児童全体の年間平均読書冊数（1人あたり）



##### 3 各学年の1人あたりの読書冊数の推移



##### 4 各学校からの成果と課題

成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>○読み聞かせボランティアや職員の読み聞かせなどを通して興味・関心をもたせることができた。</li> <li>○”借りた本を読む”につなげるための読書をする時間をしっかりと設けており、読書の習慣化につながった。</li> <li>○読書旬間、月間に積極的に読書に参加する児童が増えた。</li> <li>○国語や社会など教科での調べ学習に図書館利用が増えた。また、調べたことをまとめ、図書館で掲示することもできた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▲3年生と4年生の児童は、絵本から物語等の活字本に読書の幅を広げる時期となるが、なかなか活字本に興味を示さず消極的であった。対策の必要性を感じた。</li> <li>▲性別、学級によって借りる本の分類に偏りがあった。</li> <li>▲発達段階（学年）に応じた読書の選書がうまくいかなかった。</li> <li>▲絵や写真だけ見ている児童もおり、読書の質を上げる取組が必要である。</li> <li>▲読書利用時間を確保できない学級があった。</li> </ul>

(4) 学校図書館・読書活動の実態調査

中学校

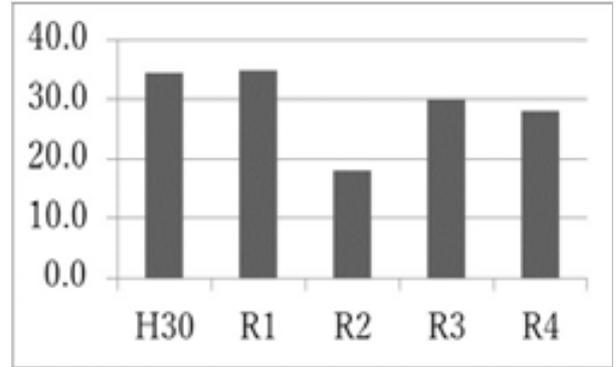
〈学年毎の平均読書冊数（5ヵ年の推移）〉

※単位：冊

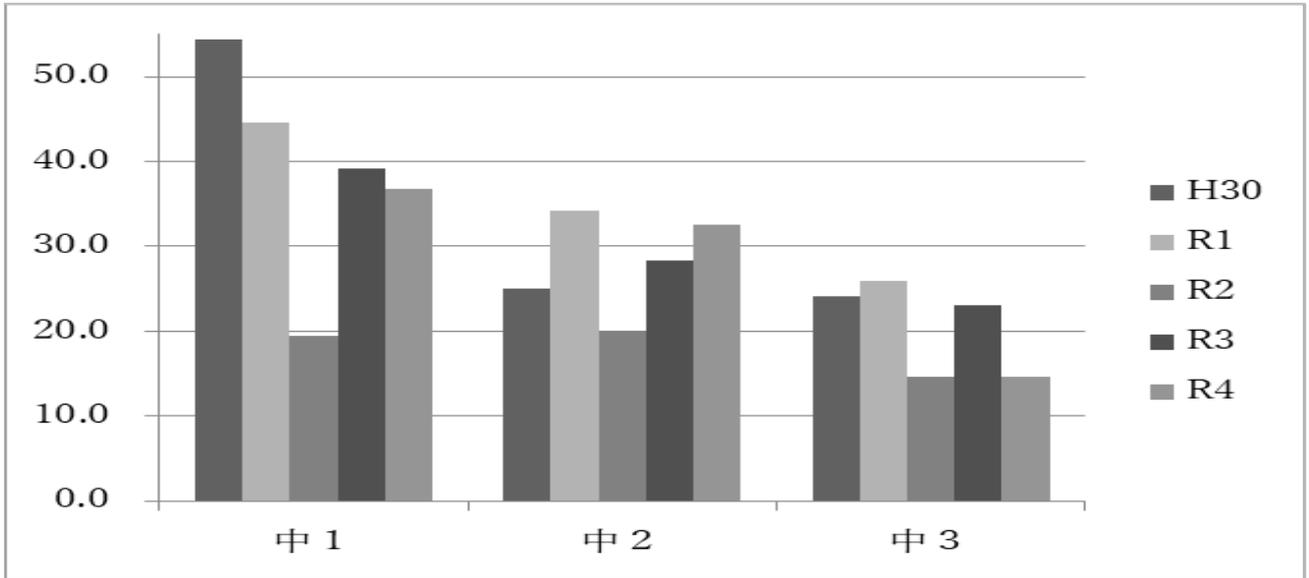
1 読書冊数表（5年間）

	H30	H1	R2	R3	R4
1年	54.4	44.6	19.4	39.2	36.7
2年	25.0	34.3	20.1	28.3	32.6
3年	24.2	25.9	14.7	23.0	14.6
平均	34.5	34.9	18.1	30.2	28.0

2 生徒全体の年間平均読書冊数（1人あたり）



3 各学年の1人あたりの読書冊数の推移



4 各学校からの成果と課題

成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館だよりの新刊紹介を見て図書館へ足を運ぶ生徒が増えた。</li> <li>・読書旬間の取り組みのある月は貸出数が増加している。</li> <li>・授業での図書館利用と担任の声かけにより、貸出が増えた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールバスの時間があり、余裕を持って図書館利用ができない。</li> <li>・読書の時間が時間割で固定されておらず、生徒の自主性によって読書量に個人差がでている。</li> <li>・文部科学省の学校図書館図書標準冊数に達していない。2400冊ほど不足している。</li> </ul>

(5) 児童質問紙

令和4年度 沖縄県児童生徒質問紙調査(小4) ア+イ

ア 当てはまる イ どちらかといえば当てはまる ウ どちらかといえば当てはまらない エ 当てはまらない	恩納村 11月	変 容	恩納村 6月	11月-6月	沖縄県 11月	沖縄県 6月	村-県 11月	恩納小 11月	恩納小 6月	仲泊小 11月	仲泊小 6月	山田小 11月	山田小 6月	安富祖小 11月	安富祖小 6月
1 自分には、よいところがあると思いますか。	85.2%	↑	84.0%	1.2	87.0%	86.8%	-1.8	75.6%	74.4%	93.8%	93.3%	94.7%	100.0%	91.7%	78.6%
2 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。	97.6%	↑	93.6%	4.0	92.2%	88.8%	5.4	97.4%	93.0%	100.0%	93.3%	100.0%	95.5%	91.7%	92.9%
3 学校に行くのは楽しいと思いますか。	90.5%	↑	84.0%	6.4	85.7%	86.2%	4.8	80.0%	72.1%	100.0%	100.0%	100.0%	95.5%	100.0%	85.7%
4 ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか。	94.3%	↑	91.5%	2.8	93.5%	91.5%	0.8	92.7%	88.4%	93.3%	100.0%	100.0%	95.5%	91.7%	85.7%
5 学校のきまり[規則]を守っていますか。	87.1%	↑	83.0%	4.1	86.9%	87.2%	0.2	73.7%	69.8%	93.8%	93.3%	100.0%	95.5%	100.0%	92.9%
6 人が困っているときは、進んで助けていますか。	88.4%	↑	88.3%	0.1	88.6%	88.3%	-0.3	82.1%	81.4%	93.8%	100.0%	94.7%	90.9%	91.7%	92.9%
7 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	95.3%	↑	93.6%	1.7	96.5%	95.1%	-1.2	90.0%	88.4%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	92.9%
<b>8 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。</b>	<b>71.4%</b>	<b>↑</b>	<b>68.1%</b>	<b>3.3</b>	<b>73.6%</b>	<b>74.4%</b>	<b>-2.2</b>	<b>57.9%</b>	<b>58.1%</b>	<b>93.3%</b>	<b>66.7%</b>	<b>78.9%</b>	<b>81.8%</b>	<b>75.0%</b>	<b>78.6%</b>
9 これまでの授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか。	84.7%	↑	81.9%	2.8	84.0%	82.6%	0.7	71.8%	65.1%	93.8%	93.3%	100.0%	100.0%	90.9%	92.9%
10 学級の友達との中で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。	81.2%	↑	74.5%	6.7	81.8%	80.0%	-0.6	71.8%	67.4%	86.7%	86.7%	89.5%	90.9%	91.7%	57.1%
11 勉強で努力することは大切だと思いますか。	95.3%	↓	97.9%	-2.5	96.8%	95.8%	-1.4	92.3%	97.7%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	91.7%	92.9%
12 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか。	95.3%	↓	95.7%	-0.5	92.7%	92.5%	2.6	92.5%	93.0%	100.0%	93.3%	94.7%	100.0%	100.0%	100.0%
13 学級みんなで話し合って決めたことなどに協力して取り組み、うれしかったことがありますか。	90.6%	↑	85.1%	5.5	89.2%	87.2%	1.4	82.1%	76.7%	93.3%	80.0%	100.0%	100.0%	100.0%	92.9%
14 あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会[学級活動]で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると思いますか。	88.5%	↑	88.3%	0.2	88.3%	86.2%	0.2	82.5%	81.4%	93.8%	80.0%	94.7%	100.0%	91.7%	100.0%
15 これまでに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度利用しましたか。	98.9%	↑	83.0%	15.9	81.8%	73.2%	17.1	100.0%	67.4%	93.8%	86.7%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

1. 全体の成果について

調査項目の93% (14 / 15) が良い評価 (ア+イ) であり、児童は、充実した学校生活を過ごしている。特に、95%以上の成果は、「教師のボイスシャワーの取組 (問2)」、「努力の必要性 (問11)」、「教師の補習指導 (問12)」、「ICTを活用した授業 (問15)」となっている。

2. 全体の課題について

(1) 「計画的な家庭学習 (問8)」

3. 課題への対応

(1) 目標設定：「主体的な学びづくり」の取組

- ▲ 計画的な家庭学習
- 仲泊小学校の取組が良い結果を示している。

# 令和4年度 沖縄県児童生徒質問紙調査(小5) ア+イ

ア 当てはまる ウ どちらかといえば当てはまらない エ 当てはまらない	恩納村 11月	変 容	恩納村 6月	11月-6月	沖縄県 11月	沖縄県 6月	村-県 11月	恩納小 11月	恩納小 6月	仲泊小 11月	仲泊小 6月	山田小 11月	山田小 6月	安富祖小 11月	安富祖 小 6月
1 自分には、よいところがあると思いますか。	82.2%	↑	80%	2.2	85.7%	85.9%	-3.5	86.2%	80.0%	78.9%	75.0%	81.6%	80.6%	80.0%	86%
2 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。	91.1%	↑	89%	1.6	92.5%	91.4%	-1.5	82.8%	88.0%	100.0%	95.0%	92.1%	86.1%	93.3%	93%
3 学校に行くのは楽しいと思いますか。	86.1%	↓	95%	-8.6	85.1%	85.8%	1.0	79.3%	96.0%	100.0%	95.0%	84.2%	91.7%	86.7%	100%
4 ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか。	94.1%	↑	92%	2.5	93.3%	92.6%	0.8	89.7%	88.0%	94.7%	85.0%	94.7%	94.4%	100.0%	100%
5 学校のきまり[規則]を守っていますか。	90.1%	↑	87%	2.7	88.5%	88.4%	1.6	89.7%	92.0%	89.5%	80.0%	86.8%	86.1%	100.0%	93%
6 人が困っているときは、進んで助けていますか。	89.1%	↑	86%	2.8	87.3%	86.9%	1.8	93.1%	76.0%	94.7%	95.0%	89.5%	83.3%	73.3%	100%
7 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	93.1%	↓	95%	-1.7	96.9%	96.5%	-3.8	100.0%	92.0%	100.0%	100.0%	86.8%	97.2%	86.7%	86%
<b>8 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。</b>	<b>79.2%</b>	<b>↑</b>	<b>72%</b>	<b>7.6</b>	<b>69.0%</b>	<b>71.1%</b>	<b>10.2</b>	<b>89.7%</b>	<b>76.0%</b>	<b>68.4%</b>	<b>60.0%</b>	<b>73.7%</b>	<b>72.2%</b>	<b>86.7%</b>	<b>79%</b>
9 これまでの授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか。	86.1%	↑	77%	9.3	82.3%	82.3%	3.8	89.7%	72.0%	78.9%	80.0%	86.8%	77.8%	86.7%	79%
10 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。	86.1%	↑	80%	6.1	81.4%	80.6%	4.7	93.1%	80.0%	84.2%	80.0%	76.3%	75.0%	100.0%	93%
11 勉強で努力することは大切だと思いますか。	92.0%	↓	96%	-3.8	96.1%	95.7%	-4.1	100.0%	100.0%	100.0%	95.0%	78.4%	91.7%	100.0%	100%
12 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか。	95.0%	↓	96%	-0.7	92.0%	93.2%	3.0	96.6%	96.0%	94.7%	100.0%	92.1%	91.7%	100.0%	100%
13 学級みんなで話し合って決めたことなどに協力して取り組み、うれしかったことがありますか。	88.9%	↑	87%	1.5	87.5%	86.7%	1.4	75.0%	72.0%	94.7%	95.0%	94.6%	88.9%	93.3%	100%
14 あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会[学級活動]で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると思いますか。	88.1%	↓	93%	-4.5	87.8%	87.1%	0.3	89.7%	96.0%	78.9%	80.0%	89.5%	94.4%	93.3%	100%
15 これまでに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度利用しましたか。	93.1%	↑	74%	19.4	85.1%	83.5%	8.0	100.0%	64.0%	84.2%	65.0%	92.1%	80.6%	93.3%	86%

## 1. 全体の成果について

調査項目の93% (14/15) が良い評価 (ア+イ) であり、児童は、充実した学校生活を過ごしている。特に、95%以上の成果は、「教師の補習指導 (問12)」となっている。

## 2. 全体の課題について

(1) 「計画的な家庭学習 (問8)」

## 3. 課題への対応

(1) 目標設定：「主体的な学びづくり」の取組

- ▲ 計画的な家庭学習
- 恩納小、安富祖小の取組が成果を上げている。

令和4年度 沖縄県児童生徒質問紙調査(小6) ア+イ

	恩納村 11月	変 容	恩納村 6月	11月-6月	沖縄県 11月	沖縄県 6月	村-県 11月	恩納小 11月	恩納小 6月	仲泊小 11月	仲泊小 6月	山田小 11月	山田小 6月	安富祖小 11月	安富祖 小 6月
ア 当てはまる イ どちらかといえば当てはまる ウ どちらかといえば当てはまらない エ 当てはまらない															
1 自分には、よいところがあると思いますか。	85.9%	↓	88%	-2.1	86.2%	85.1%	-0.3	89.7%	95.2%	84.2%	89.5%	77.3%	73.9%	100.0%	100%
2 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。	94.9%	↑	92%	2.9	93.1%	92.1%	1.8	93.1%	90.5%	100.0%	100.0%	90.9%	82.6%	100.0%	100%
3 学校に行くのは楽しいと思いますか。	88.3%	↓	89%	-1.0	86.3%	85.5%	2.0	93.1%	95.2%	94.7%	84.2%	72.7%	87.0%	100.0%	92%
4 ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか。	92.2%	↓	99%	-6.5	93.8%	92.8%	-1.6	93.1%	100.0%	89.5%	100.0%	90.9%	95.7%	100.0%	100%
5 学校のきまり[規則]を守っていますか。	97.4%	↑	92%	5.4	89.2%	88.9%	8.3	100.0%	95.2%	89.5%	78.9%	100.0%	95.7%	100.0%	100%
6 人が困っているときは、進んで助けていますか。	84.6%	↓	92%	-7.4	86.3%	85.3%	-1.7	89.7%	95.2%	73.7%	84.2%	86.4%	91.3%	87.5%	100%
7 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	#####	↑	99%	1.3	96.7%	95.8%	3.3	100.0%	100.0%	100.0%	94.7%	100.0%	100.0%	100.0%	100%
8 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。	80.5%	↑	80%	0.5	65.0%	66.7%	15.5	69.0%	76.2%	88.9%	73.7%	86.4%	82.6%	87.5%	92%
9 これまでの授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか。	94.9%	↑	92%	2.9	81.7%	81.8%	13.2	96.6%	85.7%	84.2%	89.5%	100.0%	100.0%	100.0%	92%
10 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。	90.8%	↓	92%	-1.2	83.2%	81.6%	7.6	92.6%	95.2%	84.2%	100.0%	90.9%	91.3%	100.0%	75%
11 勉強で努力することは大切だと思いますか。	96.1%	↓	97%	-1.3	96.4%	95.6%	-0.4	100.0%	100.0%	94.7%	94.7%	90.9%	100.0%	100.0%	92%
12 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか。	94.8%	↓	96%	-1.2	92.9%	93.2%	1.9	92.9%	95.2%	94.7%	94.7%	95.5%	95.7%	100.0%	100%
13 学級みんなで話し合って決めたことなどに協力して取り組み、うれしかったことがありますか。	93.4%	↑	92%	1.4	87.8%	84.2%	5.6	93.1%	90.5%	88.2%	89.5%	95.5%	91.3%	100.0%	100%
14 あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会[学級活動]で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると思いますか。	93.5%	↑	89%	4.2	88.3%	88.1%	5.2	96.6%	95.2%	88.9%	84.2%	95.5%	82.6%	87.5%	100%
15 これまでに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度利用しましたか。	89.7%	↑	89%	0.4	89.1%	85.1%	0.6	79.3%	71.4%	89.5%	89.5%	100.0%	100.0%	100.0%	100%

1. 全体の成果について

調査項目のすべてが良い評価（ア+イ）であり、児童生徒は、充実した学校生活を過ごしている。特に、95%以上の成果は、「規則の遵守（問5）」、「いじめ防止（問7）」、「努力の必要性（問11）」となっている。

2. 全体の課題について

- 計画的な家庭学習が他の項目に比べて低くなっている

# 令和4年度 沖縄県児童生徒質問紙調査(中1) ア＋イ

ア 当てはまる ウ どちらかといえば当てはまらない エ 当てはまらない	イ どちらかといえば当てはまる ウ どちらかといえば当てはまらない エ 当てはまらない	恩納村 11月	変 容	恩納村 6月	11月-6月	沖縄県 11月	沖縄県 6月	村-県 11月
1 自分には、よいところがあると思いますか。	86.1%	↑	83%	3.1	83.4%	<b>83.9%</b>	2.8	
2 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。	90.4%	↑	90%	0.8	89.2%	90.2%	1.3	
3 学校に行くのは楽しいと思いますか。	88.8%	↑	89%	0.1	82.3%	85.0%	6.5	
4 ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか。	91.9%	↓	93%	-1.5	92.9%	92.6%	-1.0	
5 学校のきまり[規則]を守っていますか。	86.6%	↓	93%	-6.8	93.8%	93.0%	-7.2	
6 人が困っているときは、進んで助けていますか。	90.8%	↑	89%	2.1	85.5%	86.3%	5.4	
7 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	97.9%	↑	97%	0.7	96.1%	95.7%	1.8	
8 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。	53.1%	↓	58%	-5.4	54.3%	62.0%	-1.3	
9 これまでの授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか。	77.8%	↓	83%	-5.2	79.3%	82.2%	-1.6	
10 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。	87.2%	↑	83%	4.2	83.9%	<b>83.9%</b>	3.3	
11 勉強で努力することは大切だと思いますか。	97.9%	↑	96%	1.7	96.0%	95.4%	1.9	
12 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか。	93.9%	↑	90%	4.3	89.8%	90.8%	4.1	
13 学級みんなで話し合って決めたことなどに協力して取り組み、うれしかったことがありますか。	89.6%	↑	87%	2.8	83.7%	81.5%	5.9	
14 あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会[学級活動]で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると思いますか。	86.9%	↑	82%	4.8	84.8%	86.1%	2.1	
15 これまでに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度利用しましたか。	100.0%	↑	98%	1.9	83.9%	<b>73.5%</b>	16.1	

- 全体の成果について  
調査項目の87% (13/15) が良い評価 (ア＋イ) であり、生徒は、充実した学校生活を過ごしている。  
特に、「いじめ防止 (問7)」、「努力の必要性 (問11)」、「ICTを活用した授業への取組 (問15)」が成果のあった取組となっている
- 全体の課題について  
(1) 「計画的な家庭学習 (問8)」  
(2) 「主体的な授業への参加 (問9)」  
(3) 「規範意識 (問5)」の低下が見られる
- 課題への対応  
(1・2) 目標設定：「主体的な学びづくり」の取組  
▲ 計画的な家庭学習  
▲ 主体的、対話的で深い学びとなるような授業展開  
(3) 自治意識の高揚につながる特別活動の実施

# 令和4年度 沖縄県児童生徒質問紙調査(中2) ア+イ

ア 当てはまる ウ どちらかといえば当てはまらない エ 当てはまらない	恩納村 11月	変容	恩納村 6月	11月-6月	沖縄県 11月	沖縄県 6月	村-県 11月
1 自分には、よいところがあると思いますか。	88.5%	↓	89.7%	-1.2	83.8%	83.8%	4.8
2 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。	90.5%	↑	88.2%	2.3	90.1%	89.6%	0.4
3 学校に行くのは楽しいと思いますか。	85.6%	↑	82.4%	3.2	80.6%	81.0%	5.0
4 ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか。	92.6%	↓	92.6%	-0.1	93.1%	92.0%	-0.6
5 学校のきまり[規則]を守っていますか。	95.7%	↑	92.6%	3.1	94.7%	93.9%	1.0
6 人が困っているときは、進んで助けていますか。	83.7%	↓	83.8%	-0.1	86.5%	86.3%	-2.8
7 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	94.7%	↓	97.1%	-2.3	96.2%	95.9%	-1.5
8 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。	45.7%	↓	51.5%	-5.8	49.3%	52.1%	-3.7
9 これまでの授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか。	78.7%	↓	83.8%	-5.1	78.5%	79.6%	0.3
10 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。	85.4%	↑	80.9%	4.5	85.7%	84.1%	-0.3
11 勉強で努力することは大切だと思いますか。	97.8%	↑	89.7%	8.1	95.8%	95.0%	2.0
12 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか。	91.4%	↑	89.7%	1.7	89.4%	89.3%	2.0
13 学級みんなで話し合って決めたことなどに協力して取り組み、うれしかったことがありますか。	88.5%	↑	80.9%	7.7	84.8%	81.6%	3.7
14 あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会[学級活動]で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると思いますか。	91.5%	↑	85.3%	6.2	84.1%	85.2%	7.4
15 これまでに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度利用しましたか。	97.9%	↑	95.6%	2.3	88.4%	85.0%	9.5

- 全体の成果について  
調査項目の87% (13/15) が良い評価 (ア+イ) であり、生徒は、充実した学校生活を過ごしている。  
特に、「規範意識 (問5)」、「いじめ防止 (問7)」、「ICTを活用した授業への取組」 (問15) が成果のあった取組となっている
- 全体の課題について  
(1) 「計画的な家庭学習 (問8)」  
(2) 「主体的な授業への参加 (問9)」
- 課題への対応  
(1・2) 目標設定：「主体的な学びづくり」の取組
  - ▲ 計画的な家庭学習
  - ▲ 主体的、対話的で深い学びとなるような授業展開

# 令和4年度 沖縄県児童生徒質問紙調査(中3) ア+イ

ア 当てはまる ウ どちらかといえば当てはまらない エ 当てはまらない	恩納村 11月	変容	恩納村 6月	11月-6月	沖縄県 11月	沖縄県 6月	村-県 11月
1 自分には、よいところがあると思いますか。	91.0%	↓	91.3%	-0.3	87.2%	84.9%	3.9
2 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。	93.3%	↓	94.6%	-1.3	91.5%	90.5%	1.8
3 学校に行くのは楽しいと思いますか。	95.5%	↑	91.3%	4.2	83.4%	81.9%	12.0
4 ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか。	100.0%	↑	97.8%	2.2	94.8%	93.5%	5.2
5 学校のきまり[規則]を守っていますか。	97.8%	↑	95.7%	2.1	97.0%	95.7%	0.8
6 人が困っているときは、進んで助けていますか。	93.3%	↑	89.1%	4.1	88.8%	86.7%	4.4
7 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	97.7%	↓	98.9%	-1.2	96.7%	95.5%	1.0
<b>8 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。</b>	<b>77.0%</b>	<b>↑</b>	<b>59.8%</b>	<b>17.2</b>	<b>57.4%</b>	<b>53.2%</b>	<b>19.6</b>
9 これまでの授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか。	93.3%	↑	84.8%	8.5	84.4%	82.3%	8.9
10 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。	94.4%	↑	89.1%	5.3	88.1%	85.3%	6.3
11 勉強で努力することは大切だと思いますか。	95.5%	↓	96.7%	-1.2	97.4%	96.2%	-1.9
12 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか。	89.7%	↑	87.0%	2.7	91.5%	90.6%	-1.9
13 学級みんなで話し合って決めたことなどに協力して取り組み、うれしかったことがありますか。	94.1%	↑	92.4%	1.7	88.8%	83.2%	5.3
14 あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会[学級活動]で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると思いますか。	93.2%	↑	91.3%	1.9	87.0%	86.0%	6.2
15 これまでに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度利用しましたか。	98.9%	↑	97.8%	1.1	89.6%	86.9%	9.3

- 全体の成果について  
調査項目の93% (14/15) が良い評価 (ア+イ) であり、生徒は、充実した学校生活を過ごしている。  
特に、「学校が楽しい (問3)」、「ねばり強さ (問4)」、「規範意識 (問5)」、「いじめ防止 (問7)」、「努力の必要性 (問11)」、「ICTを活用した授業への取組 (問15)」の多くの項目に成果があった
- 全体の課題について  
(1) 「計画的な家庭学習 (問8)」
- 課題への対応  
(1) 目標設定：「主体的な学びづくり」の取組  
▲ 計画的な家庭学習

## (6) 恩納村学推実践7項目の評価 (恩納村立小学校)

十分達成できた:4 ほぼ達成できた:3 あまり達成できなかった:2 達成できなかった:1

### 1 基礎的・基本的な知識・技能の定着と活用する力の育成

村設定目標	○各単元での身に付けさせたい力を明確化し定着を図る工夫 ○各教科等で「言語活動の充実」を図り言語に関する能力の育成 ○問題解決的な学習の工夫 ○「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進 ○実社会と結びつけた体験的な学習の工夫					
恩納村 ↑	1学年	2学年 ↑	3学年 ↑	4学年 ↑	5学年 ↑	6学年 ↑
評価 7月	3.0	3.0	2.8	3.0	3.0	3.0
評価 12月	3.3	3.0	3.0	3.5	3.5	3.8

安富祖小	学年	平均	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年 ↑
	評価 7月	3.0	3	3	3	3	3	3
	評価 12月	3.2	3	3	3	3	3	4
	項目	○漢字や計算、音読の校内統一した継続指導 ○発表時の話型指導、表現の工夫 ○ペア学習やグループ学習を多様に、効果的に取り入れる ○タブレットを活用したくり返し学習(自主学習) ○熱田ファームへの取組(調べる→育てる→販売):体験的な学習						
	学校における具体的な取り組み(箇条書き)	●交流場面の設定 → 主体的・対話的で深い学びの実践 ●表現力の育成 → 日常的授業改善						
2学期評価(総合)を受けての次年度への課題と対応策								

恩納小	学年	平均	1学年	2学年 ↑	3学年	4学年 ↑	5学年 ↑	6学年 ↑
	評価 7月	2.8	3	2	3	3	3	3
	評価 12月	3.5	3	3	3	4	4	4
	項目	○5分間読解○計算○漢字ドリル○国語辞書引きで基礎基本の定着を図る。 ○板書計画とノート指導。(書くことに慣れさせる) ○「問い」「発問」の工夫、ペア、グループ学習を通して主体的・対話的で深い学びへの授業改善。 ○毎時間の「めあて」「まとめ」「ふりかえり」の実施。 ○思考力○判断力○表現力を意識した授業の実践。 ○村地域コーディネーターと連携した地域人材の活用。						
	学校における具体的な取り組み(箇条書き)	●学習の定着に個人差があるので、きめ細かな指導や学習形態を整え、基礎基本の定着を図る。 ●学推実践項目、校内研テーマを土台とし、ペア・グループ学習を通して、主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善に今後も努める。(書く活動を意識した交流の仕方や全体での学び合いができる学習形態の工夫) ●恩納小学校授業スタンダードを意識し授業改善に努める。 ●見通しを持った授業計画と実践に努める。 ●今後も地域コーディネーターと連携し、地域資源を有効活用していく。						
2学期評価(総合)を受けての次年度への課題と対応策								

仲泊小	学年	平均	1学年	2学年	3学年 ↑	4学年	5学年	6学年
	評価 7月	3.0	3	3	3	3	3	3
	評価 12月	3.2	3	3	4	3	3	3
	項目	○基礎基本の定着(ひらがな)。体験活動の実施。(1年) ○板書の工夫(2年) ○学習を定着させる振り返り(4年) ○ペア・グループなど他者との交流(2,6年) ○話し合い活動で、児童から児童に考えをつなげる(2年) ○地域における体験学習の充実(2,4年) ○問いを持たせ授業に入る工夫(3年) ○理解度の把握(4, 5年)						
	学校における具体的な取り組み(箇条書き)	●身につけた力を活かす工夫、応用力、実践力の向上のためルーティーンを明確に習慣化を図る(1年) ●ペア・グループでの交流がただ考えを伝えるだけになっているため、交流の仕方を指導する(3年) ●問題解決的な学習の工夫→問いを持たせる発問、言語活動の充実(2・4・6年) ●実社会と結びつけた体験的な学習活動を取り入れる(5年)						
2学期評価(総合)を受けての次年度への課題と対応策								

山田小	学年	平均	1学年	2学年	3学年 ↑	4学年 ↑	5学年	6学年 ↑
	評価 7月	3.0	3	3	3	3	3	3
	評価 12月	3.5	3	3	4	4	3	4
	項目	○半具体物を使った操作や図式化などの可視化で自力解決の時間を取り、全体での話し合い活動。 ○チャレンジタイムや朝ドリルの時間の活用。 ○算数では、問題解決的な学習を行い児童の考えをクラスで共有できた。授業形態を変えながら対話的な学びを取り入れている。 ○聞き方名人の徹底。ペアやグループでの話し合いの有効活用 ○自分で考える時間の確保。 ○ペアやグループ学習で対話を通して互いに学ぶ活動。ペアやグループ活動の充実						
	学校における具体的な取り組み(箇条書き)	●話し合い活動でのタブレット活用を更に進めていく。 ●児童に問いを持たせる授業を日々実践していく ●書く活動の充実と国語辞典を活用し語彙力を高める。話し合い活動を適宜取り入れ掲示資料の活用 ●話し合い活動の目的を適宜確認する。質問名人・聞き方名人の活用 ●学んだことをどのような場面で活かしていくのか、例を紹介する。 ●ペアやグループ活動から全体交流につながる発表活動に取り組む。						
2学期評価(総合)を受けての次年度への課題と対応策								

2 個に応じた指導の充実

村設定目標		○幼児児童生徒個々の実態に応じた指導の工夫 ○特別支援教育支援員の効果的な活用 ○朝学習、補習等の工夫 ○地域人材を活用した学習の実施 ○各種調査を活用した指導の工夫 ○地域学習塾との連携					
恩納村 ↓		1学年 ↓	2学年 ↓	3学年 ↑	4学年 ↓	5学年	6学年 ↑
評価 7月	3.5	3.4	3.4	3.3	3.4	3.8	3.6
評価 12月	3.4	3.0	3.0	3.5	3.3	3.8	3.8

安富祖小	学年	平均	1学年 ↓	2学年	3学年	4学年	5学年 ↓	6学年 ↓
	評価 7月	2.8	2.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
	評価 12月	3.2	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	4.0
	項目	○朝の校内統一した一斉漢字学習と水曜日○金曜日の漢字テスト ○特別支援教育支援員が個に応じた効果的な声かけ(活用) ○タブレットを活用しての理解度の確認 ○チャレンジタイムや補習指導の計画的な実施(ドリル○ICT機器の活用)						
	学校における具体的な取り組み(箇条書き)	●個々の理解度の把握の不十分 →ミライシードの活用 →個別最適な学び						
2学期評価(総合)を受けての次年度への課題と対応策								

恩納小	学年	平均	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年 ↑	6学年 ↑
	評価 7月	3.0	3	3	3	3	3	3
	評価 12月	3.3	3	3	3	3	4	4
	項目	○月1回のハッピーライフをもとに、児童との話し合いや指導につなげる。 ○各種学力調査、単元テスト、プレテストの分析結果から児童の実態に合わせた対応(場の設定、課題設定) ○特別支援教育支援員の計画的な活用。 ○朝、補習の時間を活用し、学習の定着を図る。 ○総合的な学習の時間における村地域コーディネーターの活用。 ○授業と連動した宿題を出し、補習で定着の確認の実施。						
	学校における具体的な取り組み(箇条書き)	●毎月ハッピーライフチェックで個別に対応し児童理解に努めていく。 ●特別支援教育支援員と各担任が連携する為の時間を確保する。 ●朝や補習の時間を活用して、既習事項の習熟や繰り返しに苦手な単元の復習を計画的に行う。 ●自己肯定感を上げるために「ボイスシャワー」や一人一人の日頃の活動を記録し褒め称え児童の次への目標に繋げられるようにする。 ●地域人材を活用した学習を実施し、指導の充実を図る。 ●授業内容(テストの分析の結果)と連動した宿題をだし、補習で学習の定着の確認をしていく。						
2学期評価(総合)を受けての次年度への課題と対応策								

仲泊小	学年	平均	1学年	2学年	3学年 ↑	4学年	5学年 ↑	6学年
	評価 7月	2.8	3	3	2	3	3	3
	評価 12月	3.3	3	3	4	3	4	3
	項目	○支援員や特支担当と連携を図り個別対応を行った。(1、2、3、4年) ○個々の児童の特性の理解(2年) ○補習の工夫(欠席等の遅れ)(2年) ○放課後、隙間時間の補習(4、5年)						
	学校における具体的な取り組み(箇条書き)	●既習事項の定着が弱いため、朝学習や補習を活用する。(3年) ●引き続き、支援員と連携した個別対応の工夫を行う。(1・2・4年) ●地域人材活用などの年間計画を立てる(5年) ●全国学調結果活用での指導の工夫(6年)						
2学期評価(総合)を受けての次年度への課題と対応策								

山田小	学年	平均	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年
	評価 7月	3.7	3	3	4	4	4	4
	評価 12月	3.7	3	3	4	4	4	4
	項目	○朝学習やチャレンジタイムで苦手な部分の強化。放課後の個別学習 ○落ち込みがあった子への補習。課題を視覚化し、分かりやすくする。 ○社会や総合的な学習で地域人材(博物館職員)を活用して恩納村めぐりを実施。 ○総合学習で、村社会福祉協議会と連携して福祉体験を実施。 ○総合(環境)で、赤土流出防止についての講話を実施。(赤土協議会) ○総合、国語、道徳など地域の人材を活用しながら学を深める。						
	学校における具体的な取り組み(箇条書き)	●個に応じた指導の充実を継続していく。 ●放課後の個別学習の充実により、学習の基礎基本の定着を図る。 ●チャレンジタイムや放課後で個別指導を実施。 ●朝学習の時間やチャレンジタイムを活用した個別指導。 ●「分からない」が言えない児童への対応。支援員と連携し個別指導を行う。 ●地域人材活用を年間計画に位置付け、次年度も実施する。						
2学期評価(総合)を受けての次年度への課題と対応策								

3 読書指導の充実

村設定目標	○図書館教育全体計画に則った指導の充実 ○第3日曜日「家庭の日、ファミリー読書」の推進					
恩納村 ↑	1学年 ↓	2学年 ↑	3学年 ↑	4学年 ↑	5学年	6学年 ↑
評価7月	3.2	3.5	3.0	3.3	3.3	3.0
評価12月	3.3	3.3	3.3	3.5	3.5	3.0

安富祖小	学年	平均	1学年	2学年	3学年 ↓	4学年	5学年	6学年 ↓
	評価7月	3.0	4	3	3	3	3	2
	評価12月	3.0	3	3	3	3	3	3
	項目	○朝読書やすき間読書、担任や図書司書による本の紹介 ○朝読書、司書との連携、親子読書の呼びかけ ○図書委員会や図書司書による読み聞かせの実施 ○図書館便りの活用(学級指導) ○読書旬間の取り組み						
	学校における具体的な取り組み(簡条書き)							
2学期評価(総合)を受けての次年度への課題と対応策	●読書する時間の確保 →すきま読書 →お勧めの本の紹介 →読書旬間における取り組み							

恩納小	学年	平均	1学年	2学年	3学年	4学年 ↑	5学年	6学年
	評価7月	3.0	3	3	3	3	3	3
	評価12月	3.2	3	3	3	4	3	3
	項目	○授業内容と連動して並行読書を進める。 ○1年生保護者による読み聞かせ。(コロナ禍により1回実施) ○計画的な図書館利用と隙間読書の推奨。 ○図書館司書と連携し授業に関係する図書の資料提供。 ○学年児童や個の実態に応じた目標設定や課題設定。 ○読書旬間、平和月間等の行事を活用し、その時期にあった内容の本を紹介。						
	学校における具体的な取り組み(簡条書き)							
2学期評価(総合)を受けての次年度への課題と対応策	●授業内容と連動した図書の紹介を行うことができた。 ●隙間時間を利用して読書活動を行うことができた。 ●読書活動が定着し、休み時間も読書を楽しむ子が増えてきた。 ●計画的に授業内容と連動した図書の活用に努める。 ●読書の質と量の確保に努める。 ●保護者による図書の紹介を計画的に進めることができ、児童の本への関心が高まった。							

仲泊小	学年	平均	1学年	2学年	3学年 ↑	4学年	5学年	6学年
	評価7月	2.8	3	3	3	3	2	3
	評価12月	3.0	3	3	4	3	2	3
	項目	○朝の読書、時間の確保、本の選定。(1、2、4、6年) ○おすすめの本の紹介(2年) ○地域ボランティアによる読み聞かせ(2年) ○並行読書を各単元で心がけ実践(3、4年) ○読書の目標冊数を決めて、取り組んでいる(5年)						
	学校における具体的な取り組み(簡条書き)							
2学期評価(総合)を受けての次年度への課題と対応策	●読書への興味関心は広がったが、じっくり読んで本の世界にひたれるよう指導の工夫が必要。(1年) ●文学作品への抵抗感があるため、並行読書を勧め9類の作品に触れる指導(3年) ●計画的な図書館利用、家庭学習と連携した図書館利用の工夫(2・4・5年) ●読本の選定紹介(6年)							

山田小	学年	平均	1学年	2学年 ↑	3学年	4学年	5学年	6学年
	評価7月	3.8	4	3	4	4	4	4
	評価12月	4.0	4	4	4	4	4	4
	項目	○読み聞かせ、本の紹介、読書ビンゴなどによる読書活動の推進。 ○国語や生活科の単元と絡めた授業実践。 ○並行読書、読書月間の取り組み。 ○同じ筆者の作品を紹介(国語) ○読書旬間の取り組み ○国語「仕事の工夫見つけたよ」「はじめて知ったことを知らせよう」等で、図鑑や関連図書を活用。並行読書や作者の作品紹介 ○過ごしやすい町にする工夫(国語) ○平衡読書、本の紹介や各教科との関連						
	学校における具体的な取り組み(簡条書き)							
2学期評価(総合)を受けての次年度への課題と対応策	●読書記録カードの取り組みを継続し、学習計画に位置付ける。 ●読書月間の取り組みを通して、読書に親しむ声かけや賞賛を行う。 ●単元前に図書館司書と連携し図書資料の準備。(並行読書)読書声かけ。 ●並行読書や関連本の紹介を通して、多様な種類の本に触れさせる。 ●授業の取り組み以外での児童の読書活動の充実に向けた声かけを行う。 ●学習教科と関連した読書活動の取り組みを実施する。							

4 授業と連動した家庭学習の充実

村設定目標		○授業と連動した宿題の出し方の工夫 ○予習の奨励 ○目的意識を持ち、自ら学ぶ家庭学習の定着					
恩納村 ↑		1学年	2学年	3学年 ↑	4学年 ↓	5学年 ↑	6学年 ↑
評価 7月	3.2	3.5	3.0	3.3	3.3	3.0	3.3
評価 12月	<b>3.5</b>	3.5	3.0	3.5	3.0	4.0	3.8

安富祖小	学年	平均	1学年 ↑	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年
	評価 7月	3.3	3	3	3	3	4	4
	評価 12月	<b>3.5</b>	4	3	3	3	4	4
	項目	○朝の漢字学習との連動 ○ノートの点検と激励コメントの記入 ○授業内容に関連したプリントやドリルを課題として取り組む ○家庭学習の手引きの作成○配布と児童への家庭学習ノートの紹介 ○予習や授業内容の定着に繋がる宿題の工夫						
	学校における具体的な取り組み(箇条書き)	○朝の漢字学習との連動 ○ノートの点検と激励コメントの記入 ○授業内容に関連したプリントやドリルを課題として取り組む ○家庭学習の手引きの作成○配布と児童への家庭学習ノートの紹介 ○予習や授業内容の定着に繋がる宿題の工夫						
2学期評価(総合)を受けての次年度への課題と対応策	●全校統一した指導 → 振り返り項目の改善 ●家庭の協力 → 家庭学習の手引きの作成、活用							

恩納小	学年	平均	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年 ↑	6学年 ↑
	評価 7月	2.8	3	3	3	3	2	3
	評価 12月	<b>3.3</b>	3	3	3	3	4	4
	項目	○教師が家庭学習のお手本を示し、学習内容の定着を図る。 ○毎日の授業と連動し、授業の中で苦手としていた問題などをドリル等も活用し宿題で定着を図る。 ○読み物教材は前もって音読の予習に取り組む。 ○手本となる児童の自主学習ノートを紹介する。 ○キャリア教育の視点に立った自主学習の奨励、自己評価チェックシートの活用。 ○家庭学習の保護者への協力依頼。						
	学校における具体的な取り組み(箇条書き)	○教師が家庭学習のお手本を示し、学習内容の定着を図る。 ○毎日の授業と連動し、授業の中で苦手としていた問題などをドリル等も活用し宿題で定着を図る。 ○読み物教材は前もって音読の予習に取り組む。 ○手本となる児童の自主学習ノートを紹介する。 ○キャリア教育の視点に立った自主学習の奨励、自己評価チェックシートの活用。 ○家庭学習の保護者への協力依頼。						
2学期評価(総合)を受けての次年度への課題と対応策	●低学年でも数人ではあるが、自主学習に取り組む児童がいる。 ●自主学習で「音読」に取り組む、保護者の協力もあって、単元開始までに読むことができる児童が増えた。 ●チェックシートや手引きを活用し、保護者と連携した家庭学習の充実を図る。 ●家庭学習(宿題+自主学習)の定着に差があるので保護者への協力依頼の方法を検討していく。							

仲泊小	学年	平均	1学年	2学年	3学年 ↑	4学年	5学年	6学年
	評価 7月	3.2	3	3	3	3	4	3
	評価 12月	<b>3.3</b>	3	3	4	3	4	3
	項目	○お手本ファイルの作成、形成プリントの活用。(1年) ○授業と連動した内容のプリント(2、4年) ○家庭学習の定着に重点を置いて指導(3年) ○目的意識を持たせた学習(5年)ICTの活用(5年) ○めあて、振り返りの記入						
	学校における具体的な取り組み(箇条書き)	○お手本ファイルの作成、形成プリントの活用。(1年) ○授業と連動した内容のプリント(2、4年) ○家庭学習の定着に重点を置いて指導(3年) ○目的意識を持たせた学習(5年)ICTの活用(5年) ○めあて、振り返りの記入						
2学期評価(総合)を受けての次年度への課題と対応策	●継続して保護者と連携をとり家庭学習の定着を図る。プリント中心からノートにまとめる力を育てる意識で取り組ませる。(1年) ●授業と連動した宿題の出し方(2年) ●家庭学習への意欲の維持を図るため、学級便りや朝の会で紹介する。(3年)家庭学習のふりかえりをしっかり行い次につなげる意識を育てる(5年) ●自ら学ぶ家庭学習のため学習の仕方の指導を繰り返し行う。(4・6年)							

山田小	学年	平均	1学年	2学年	3学年	4学年 ↓	5学年 ↑	6学年
	評価 7月	3.7	4	3	4	4	3	4
	評価 12月	<b>3.7</b>	4	3	4	3	4	4
	項目	○授業の内容や児童の実態に合わせたプリントやがんばりノート。音読の課題 ○国語や算数の授業進度と合わせた家庭学習の設定。 ○授業と連動した復習プリント(おたすけ)を作成し取り組ませている。 ○自分のよさを伸ばす家庭学習の推奨 ○授業の復習プリントを与える。 ○算数の教科書を読む予習の推奨。 ○授業の復習プリントを与える。 ○自学習の推奨(めあて、ふりかえり) ○係を活かした学習の工夫。						
	学校における具体的な取り組み(箇条書き)	○授業の内容や児童の実態に合わせたプリントやがんばりノート。音読の課題 ○国語や算数の授業進度と合わせた家庭学習の設定。 ○授業と連動した復習プリント(おたすけ)を作成し取り組ませている。 ○自分のよさを伸ばす家庭学習の推奨 ○授業の復習プリントを与える。 ○算数の教科書を読む予習の推奨。 ○授業の復習プリントを与える。 ○自学習の推奨(めあて、ふりかえり) ○係を活かした学習の工夫。						
2学期評価(総合)を受けての次年度への課題と対応策	●保護者と連携し、児童の家庭学習の習慣化に努める。 ●自立学習での取り組み案の提示 ●自立学習へ計画の仕方やめあて・振り返りの指導・支援 ●自分で計画を立て学習ができるよう、めあて・振り返りの記入 ●引き続き、自立学習を推奨し予習の大切さにも目を向けさせる。 ●自学ノートの紹介を通して児童同士の交流につなげる。							

5 キャリア教育の充実

村設定目標	○将来の夢や希望を育む学習の設定 ○職場見学○職場体験学習の実施による勤労観 ○職業観の育成 ○当番活動、児童会、生徒会活動の充実 ○幼児児童生徒に「学ぶ意義」を実感させる工夫 ○部活動の奨励					
恩納村 ↑	1学年 ↑	2学年	3学年	4学年 ↑	5学年 ↑	6学年 ↑
評価7月	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
評価12月	<b>3.3</b>	3.3	3.0	3.0	3.3	3.5

安富祖小	学年	平均	1学年 ↑	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年 ↑
	評価7月	3.0	3	3	3	3	3	3
	評価12月	<b>3.3</b>	4	3	3	3	3	4
	項目	○自己目標の設定やふり返りの実施 ○一人一役の係活動や当番活動の充実、活動時間の確保 ○キャリアパスポートの作成・活用						
	学校における具体的な取り組み(簡条書き)	●主体性をもって取り組む → キャリアパスポートの活用						
2学期評価(総合)を受けての次年度への課題と対応策								

恩納小	学年	平均	1学年	2学年	3学年	4学年 ↑	5学年 ↑	6学年 ↑
	評価7月	3.0	3	3	3	3	3	3
	評価12月	<b>3.5</b>	3	3	3	4	4	4
	項目	○一人一役の役割を与え、勤労観や責任感を意識づける。 ○キャリアを意識した体験学習の充実。 ○道徳の時間を活用した。将来の夢や学習をはぐくむ場の設定。 ○専門的な立場から話を伺えるよう地域人材を活用した校外学習の計画。 ○各学期のめあてや目標を立たせ、達成に取り組む。(振り返りも) ○班活動を中心とした当番活動の実施。						
	学校における具体的な取り組み(簡条書き)	●キャリアパスポートを活用し、各学期の目標を立て、振り返りを行うことで自分の行動を評価することへつなげることができた。 ●地域人材等を活用する際には、キャリアを意識した授業づくりを行う。 ●地域人材や校外学習を充実させ、教科横断的に学習に生かしていく。 ●自己評価の低い児童が数名いるので自信を持たせ自己肯定感を高められるよう活躍の場を設定する。 ●中学校を見据えた児童への意識改革を行う。						
2学期評価(総合)を受けての次年度への課題と対応策								

仲泊小	学年	平均	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年
	評価7月	3.0	3	3	3	3	3	3
	評価12月	<b>3.2</b>	3	3	3	3	4	3
	項目	○お手本ファイルの作成、形成プリントの活用。(1年) ○授業と連動した内容のプリント(2、4年) ○家庭学習の定着に重点を置いて指導(3年) ○目的意識を持たせた学習(5年)ICTの活用(5年) ○めあて、振り返りの記入						
	学校における具体的な取り組み(簡条書き)	●体験活動を通し地域で働く人の様子を知らせる(2・5年) ●自己肯定感が低い子が多いため、学期のめあてや活動ごとのめあてを振り返ることを必ずおこない、できるようになったことを認める(3年) ●活動の目的意識をもたせ、振り返りを行う(1・4年) ●児童会の企画・準備・実施の時間の確保(6年)						
2学期評価(総合)を受けての次年度への課題と対応策								

山田小	学年	平均	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年 ↑	6学年
	評価7月	3.0	3	3	3	3	3	3
	評価12月	<b>3.2</b>	3	3	3	3	4	3
	項目	○清掃や係の活動の振り返り。 ○キャリアパスポートの活用。 ○夢やめあてを考えワークシートに書いた。係り活動は、活動に差がみられた。 ○係活動、当番活動の振り返りの時間を確保。 ○係り活動を振り返る場を設定。 ○月に2度の意欲的にできるような係活動の話合い場を設定。						
	学校における具体的な取り組み(簡条書き)	●各行事でのめあての確認やの日記をとおしてふりかえりを実施する。 ●生活や学活を中心とした学級作り ●当番や係活動は、意義や必要性を話し合う。学習や行事の取り組みはめあて・振り返りの継続実施 ●活動の振り返りを行い、さらに充実した活動にするためには？児童に考えさせ、行動させる ●今学習していることが将来にどのように繋がっているのか考えさせる。 ●児童会を中心に自治的活動の推進に努める。						
2学期評価(総合)を受けての次年度への課題と対応策								

6 学習を支える力の育成

村設定目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習環境の充実</li> <li>○規範意識、マナーの向上</li> <li>○支持的風土の醸成</li> <li>○生活リズムの確立</li> </ul>					
恩納村 ↑	1学年	2学年 ↑	3学年 ↑	4学年 ↑	5学年 ↑	6学年 ↑
評価 7月	3.0	3.0	2.8	2.8	3.3	3.0
評価 12月	<b>3.3</b>	3.0	3.0	3.3	3.3	3.5

安富祖小	学年	平均	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年 ↑
	評価 7月	3.0	3	3	3	3	3	3
	評価 12月	<b>3.2</b>	3	3	3	3	3	4
	項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習規律の徹底(学習の準備、返事、ベル席等)</li> <li>○「安富祖っ子よい子の一日」の確認、保護者への協力依頼</li> <li>○レインボー7(24時間時計)の作成と活用、ふり返りの実施</li> </ul>						
	学校における具体的な取り組み(簡条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●生活リズムの確立 → 保護者との連携協力</li> </ul>						
2学期評価(総合)を受けての次年度への課題と対応策								

恩納小	学年	平均	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年 ↑
	評価 7月	3.0	3	3	3	3	3	3
	評価 12月	<b>3.2</b>	3	3	3	3	3	4
	項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>○恩納村実践7項目を意識した教育活動の実践。</li> <li>○恩納小授業スタンダード、学年共通実践を教師間、児童と確認し徹底。</li> <li>○ベルスタートができるよう早めの声かきと号令の取り組み。</li> <li>○児童の居場所づくりを意識した細やかな声かけと保護者との連携 ○率先垂範を意識した児童の活動。</li> <li>○学習環境の充実に向けて、様々な教材、教具の準備、掲示行い児童が意識するようにする。</li> <li>○誰もが発言しやすい学級、授業づくり</li> </ul>						
	学校における具体的な取り組み(簡条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○率先垂範を意識した児童の活動。</li> <li>○学習環境の充実に向けて、様々な教材、教具の準備、掲示行い児童が意識するようにする。</li> <li>○誰もが発言しやすい学級、授業づくり</li> </ul>						
2学期評価(総合)を受けての次年度への課題と対応策	<ul style="list-style-type: none"> <li>●恩納村授業実践7項目を基にした恩納小スタンダードの共通実践の徹底を図る。</li> <li>●ベルスタートが定着しつつあるが、まだまだ声かけが必要である。児童自身が時刻を意識し、行動できるようにしていきたい。</li> <li>●きまりは何のためにあるのかを考えさせるなど、日常から意識して行動できるようにする。</li> <li>●児童が安心して学ぶ環境を作るため、支持的風土のある学級経営を行う。</li> </ul>							

仲泊小	学年	平均	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年 ↑	6学年
	評価 7月	2.8	3	3	2	3	3	3
	評価 12月	<b>3.2</b>	3	3	3	3	4	3
	項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習規律(聞く姿勢・授業に向かう姿勢)の徹底(1、6年)</li> <li>○タイムマネジメントの充実(2年)学習規律の徹底(2、3、4、5年)安心して過ごせる支持的学級の風土(2年)児童同士の他者理解(2年)</li> </ul>						
	学校における具体的な取り組み(簡条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○タイムマネジメントの充実(2年)学習規律の徹底(2、3、4、5年)安心して過ごせる支持的学級の風土(2年)児童同士の他者理解(2年)</li> </ul>						
2学期評価(総合)を受けての次年度への課題と対応策	<ul style="list-style-type: none"> <li>●継続的な日常の指導とボイスシャワーの実践。居場所作り(1年)</li> <li>●生活リズムが整っていない子がいるので、就寝時間を意識させる(24時間時計等の活用)(3年)</li> <li>●学習規律、タイムマネジメント、支持的風土の醸成、他者理解(2・4年)</li> <li>●学習規律の徹底(6年)</li> </ul>							

山田小	学年	平均	1学年	2学年 ↑	3学年 ↑	4学年	5学年 ↑	6学年
	評価 7月	3.0	3	2	3	4	3	3
	評価 12月	<b>3.5</b>	3	3	4	4	4	3
	項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>○道徳の内容「きまりをまもろう」と関連して実践し、定期的に振り返る場を確保。</li> <li>○学習規律や学校の過ごし方の指導や授業「学活や道徳」を実施。できている子の褒め、がんばりを認めた。</li> <li>○聞き方名人の徹底(あいうえお) ○山田スタンダードの活用。学習や生活の毎月の振り返りの実施。</li> <li>○毎月の生活振り返りや学活、道徳などの内容実践。 ○山田スタンダードの徹底。</li> </ul>						
	学校における具体的な取り組み(簡条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○聞き方名人の徹底(あいうえお) ○山田スタンダードの活用。学習や生活の毎月の振り返りの実施。</li> <li>○毎月の生活振り返りや学活、道徳などの内容実践。 ○山田スタンダードの徹底。</li> </ul>						
2学期評価(総合)を受けての次年度への課題と対応策	<ul style="list-style-type: none"> <li>●生活リズムの確立に向けて保護者との連携・協力体制を構築していく。</li> <li>●学習規律やマナーが定着するまで、粘り強く意義を伝えていく</li> <li>●山田スタンダードや話し方・聞き方名人を確認する。保護者への啓発</li> <li>●山田スタンダードや話し方名人・質問名人の確認。生活リズムの確立に向けた保健指導。</li> <li>●電話やメモ等で児童の様子を伝え、保護者と連携を図っていく。</li> <li>●毎月の生活調査を徹底し、生活リズムの振り返りを継続する。</li> </ul>							

7 幼小中一貫教育の徹底

村設定目標	○年間指導計画に基づいた一貫指導の充実 ○幼小中乗入れ授業の実施 ○異年齢集団による学習活動の展開 ○生活規律、学習規律の幼小中一貫した指導の工夫 ○幼小中の連携した校内研修の充実					
恩納村 ↑	1学年 ↑	2学年	3学年 ↑	4学年 ↑	5学年 ↑	6学年 ↑
評価 7月	2.5	2.3	2.8	2.3	2.5	2.5
評価 12月	2.8	3.0	2.8	2.5	2.8	3.0

安富祖小	学年	平均	1学年	2学年 ↑	3学年	4学年	5学年	6学年
	評価 7月	3.2	3	4	3	3	3	3
	評価 12月	3.3	4	3	3	3	3	4
	項目	○幼稚園と他学年との交流計画と実施(交通安全教室、学校探検等) ○全学年で役割分担を行い、野菜作りに取り組む ○漢字指導やタブレット活用等の校内統一した指導の継続						
	学校における具体的な取り組み(箇条書き)	●今年度のような計画実施で継続していく。						
2学期評価(総合)を受けての次年度への課題と対応策								

恩納小	学年	平均	1学年 ↑	2学年	3学年	4学年 ↑	5学年 ↑	6学年
	評価 7月	2.3	2	3	2	2	2	3
	評価 12月	2.8	3	3	2	3	3	3
	項目	○行事等での連携を密に図る。○幼稚園教諭による児童の授業参観の実施。 ○新1年生を学校案内する計画や準備を児童が中心となり取り組む。 ○すてき運動、GOGOファイブ週間の振り返りと日々の実践。 ○1年生の手伝いや低学年の見本となるような行動を意識させる。 ○中学校を意識した授業づくり。○中学生の職場体験と児童を結びつけた指導。						
	学校における具体的な取り組み(箇条書き)	●幼稚園児・1年生を招待し、2年生児童が中心となり交流する予定である。計画的に準備を進め、児童の成長と学校生活への意欲を持たせる場作りに努める。 ●GoGoファイブ週間後の振り返りを徹底する。 ●各行事、クラブ活動、他学年との交流授業等で異学年交流が行えたことで、休み時間も一緒に遊ぶ姿が見られ、安心できる学校生活へとつながっている様子が伺える。 ●中学校とのつながりがないので、進学や将来の話をするのが難しい。 ●中学生の職場体験を自分事として考えられるよう意識させる。						
2学期評価(総合)を受けての次年度への課題と対応策								

仲泊小	学年	平均	1学年 ↑	2学年	3学年 ↑	4学年	5学年	6学年
	評価 7月	2.5	2	2	2	3	3	3
	評価 12月	2.8	3	2	3	3	3	3
	項目	○校内研・生活科で低学年交流、幼稚園との交流(1年) ○隣学級での共通理解や交流(2、3年) ○職員連絡会での情報共有(4年) ○1年生のお世話(6年)						
	学校における具体的な取り組み(箇条書き)	●異年齢での交流が少ないため、朝活・清掃を縦割りにしたり授業での交流を行ったりする工夫が必要(1・2・3・5年) ●中学校との連携、交流(6年)						
2学期評価(総合)を受けての次年度への課題と対応策								

山田小	学年	平均	1学年	2学年 ↑	3学年	4学年	5学年	6学年
	評価 7月	2.0	2	2	2	2	2	2
	評価 12月	2.2	2	3	2	2	2	2
	項目	○今後のコロナの状況を見て異学年や幼稚園との交流予定。○幼小での指導事項を一致させる。 ○春の遠足で4年生と合同レクを実施。○臨学年でのレク大会の実施。クラブ活動 ○クラブ活動(異年齢集団) ○縦割り班での活動、3学期は中学校との連携を図る予定。						
	学校における具体的な取り組み(箇条書き)	●隣学年と協力し、行事や生活科の単元を進める ●隣学年と協力し、行事や生活科の単元を進める ●隣学年と協力して運動会や持久走大会●遠足などの取り組み ●運動会での隣学年と協力した取り組み。 ●学校行事を活用した他学年との交流や連携を意図的に計画する。 ●児童朝会での縦割り活動を継続し、児童会行事を継続実施する。						
2学期評価(総合)を受けての次年度への課題と対応策								

## (6) 恩納村学推実践7項目の評価(恩納村立うんな中学校)

能1 の基礎 的・活 基 本 的 な 力 の 識 育 ・ 成 技	評価\教科	国語 ↓	社会 ↑	数学 ↑	理科	英語	
	評価7月	3.2	4	3	3	3	
	評価12月	3.4	3	4	4	3	3
	項目	○個やペアでの「学び合い」活動を積極的に取り入れている。 ○振り返りを学級全体で共有する時間を持っている。 ○「振り返り」の視点を3学年で統一し、80~90文字で取り組ませている。 ○めあて、まとめ、振り返りを明確化している。 ○単元計画(シラバス)を配布して、見通しを持たせている。 ○章テスト、単元テスト、再チャレンジテストを実施している。					
学校における具体的な 取り組み(箇条書き)	●タブレット等(メタモジ)を活用し、書くことが苦手な生徒の支援、発表が苦手な生徒に対しての支援を行う。 ●PCタブレットを活用した授業では学び合いやひかひか学びにつながる授業展開に改善が必要。 ●教科会や校内研修、個人研鑽を充実させ、実際生活に近い言語活動を多く実践する。 ●授業内での評価問題、振り返り問題を毎回実施し、1時間で学んだことが定着できたかを見取る工夫をする。						
2学期評価(総合)を受 けての次年度への課題 と対応策							
2 個に 応じ た 指 導 の 充 実	評価\教科	国語	社会	数学	理科 ↑	英語	
	評価7月	2.8	3	3	3	2	3
	評価12月	3.0	3	3	3	3	3
	項目	○OPCDリル学習(ミライシード等)を活用して、生徒個々人の能力に合わせて、基礎・基本問題、発展・応用問題に取り組ませている。 ○ALTを活用して、発展・応用問題に取り組ませている。 ○学習に遅れがちな生徒の情報共有を支援員と綿密に行っている。 ○再チャレンジテストを実施している。○各種検定の対策をしている。 ○諸調査の問題を活用した授業を実践している。					
学校における具体的な 取り組み(箇条書き)	●漢字の定着にミライシードをもっと活用していく。(ドリル) ●再テストを実施しているが、再テストを受ける生徒の学習支援を行う時間の確保が難しい。 ●単元テスト対策の充実、その後の再チャレンジテストの充実を図り、基礎・基本の定着を図る。 ●再チャレンジテストの受検する機会を増やす。(週時程や補習の時間の活用)						
2学期評価(総合)を受 けての次年度への課題 と対応策							
3 読 書 指 導 の 充 実	評価\学年	1学年	2学年	3学年			
	評価7月	3.7	4	4	3		
	評価12月	3.7	4	4	3		
	項目	○朝の会が早く終わった時や課題が早く終わった時のすき間時間に読書を積極的に奨励している。 ○教育相談月間と並行して実施している。					
学校における具体的な 取り組み(箇条書き)	●帰りの会や授業で図書館を活用して読書の奨励を行う。						
2学期評価(総合)を受 けての次年度への課題 と対応策							
充4 実 授 業 と 連 動 し た 家 庭 学 習 の	評価\教科	国語	社会 ↑	数学	理科 ↑	英語	
	評価7月	2.8	3	3	2	3	
	評価12月	3.2	3	4	3	3	
	項目	○授業と直接連動した予習や復習、各種テストや発表テストと連動した課題を与えている。 ○授業で活用したワークシートや副教材を、予習・復習として宿題にした。 ○タブレットドリル(ミライシード)を活用している。					
学校における具体的な 取り組み(箇条書き)	●ミライシードの宿題配信機能をもっと活用する。 ●授業と連動したタブレットドリルやワークシートを宿題としているが、取り組みえない生徒があり、意欲を高める支援が必要。 ●課題に取り組む意義や達成感等々を感じさせるための工夫を行う。 ●取り組みえない生徒への声かけ、手立ての工夫。(週時程や補習の時間を活用し、取り組みへの支援を行う)						
2学期評価(総合)を受 けての次年度への課題 と対応策							
5 キ ャ リ ア 教 育 の 充 実	評価\学年	1学年 ↑	2学年	3学年 ↑			
	評価7月	3.3	3	4	3		
	評価12月	4.0	4	4	4		
	項目	○本村、本校特有の課題を解決する学習 ○進路ノートを活用したキャリア教育 ○全学級で統一した学習規律と学ぶ姿勢の心得 ○職場体験を実施し、望ましい勤労観・職業観の育成に努めた。					
学校における具体的な 取り組み(箇条書き)	●村事業との連携により充実しており、更に深められるように連携するとともに小学校との系統的な計画が必要。						
2学期評価(総合)を受 けての次年度への課題 と対応策							
6 学 習 を 支 え る 力 の 育 成	評価\学年	1学年 ↓	2学年	3学年 ↑			
	評価7月	3.3	4	4	2		
	評価12月	3.3	3	4	3		
	項目	○PCタブレット使用のマナー指導 ○2分前入室、1分前着席、3秒礼の徹底 ○学年委員を活用しての声掛け ○職員の一貫した声掛け、指導 ○道徳や学活の時間等も活用し、支持的風土づくりに努めた。 ○フォーサイトを活用し、生活リズムの確立、見通しを立てて計画的に行動できる生徒の育成に努めた。					
学校における具体的な 取り組み(箇条書き)	●休みがちな生徒の欠席要因として生活リズムの乱れが考えられる。保護者・家庭と連携した取り組みが必要。						
2学期評価(総合)を受 けての次年度への課題 と対応策							
7 幼 小 中 一 貫 教 育 の 徹 底	評価\学年	1学年	2学年	3学年			
	評価7月	2.0	2	2	2		
	評価12月	2.0	2	2	2		
	項目	○総合的な学習の時間において、恩納村の課題を解決。 ○年度末に行われる、各小学校との引継ぎ					
学校における具体的な 取り組み(箇条書き)	●新型コロナウイルスの影響で交流が難しい部分もあった。中学校見学については3学期に実施予定。						
2学期評価(総合)を受 けての次年度への課題 と対応策							

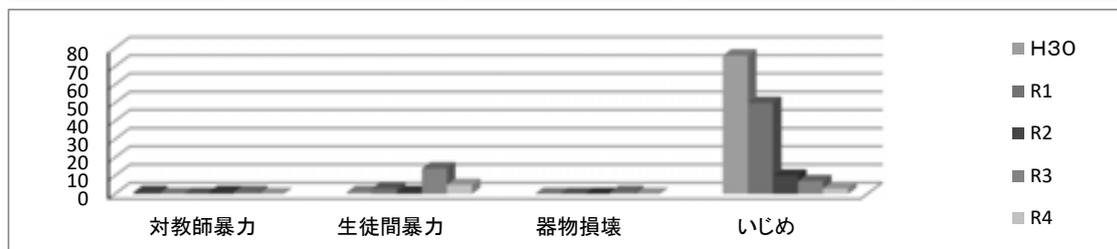
## (7) 問題行動等及び長期欠席者等に関する実態

1 問題行動等の発生件数(過去5年間の推移)

※ R4は令和4年11月末日現在

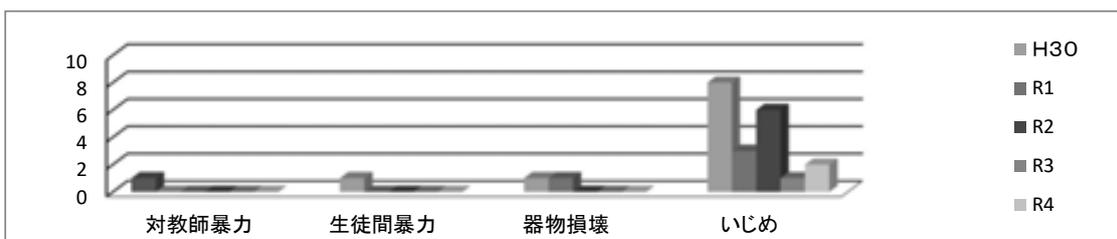
(1) 小学校

	対教師暴力	生徒間暴力	器物損壊	いじめ
H30	0	1	0	76
R1	0	3	0	50
R2	1	1	0	10
R3	1	14	1	7
R4	0	5	0	3



(2) 中学校

	対教師暴力	生徒間暴力	器物損壊	いじめ
H30	0	1	1	8
R1	0	0	1	3
R2	0	0	0	6
R3	0	0	0	1
R4	0	0	0	2

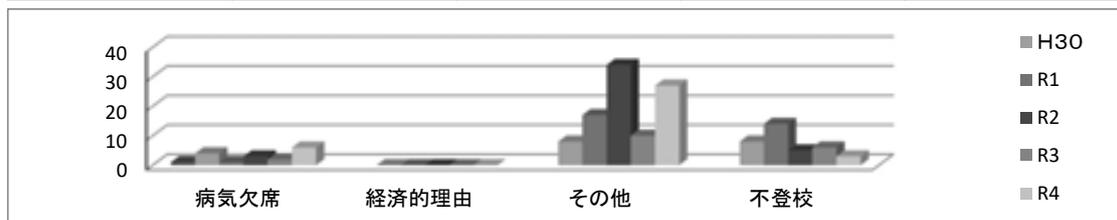


2 30日以上欠席者数

※ R4は令和4年11月末日現在

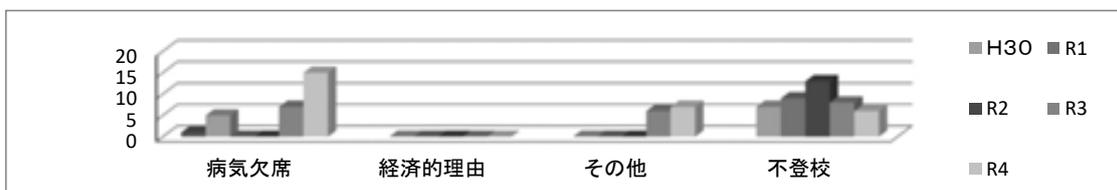
(1) 小学校

	病気欠席	経済的理由	その他	不登校
H30	4	0	8	8
R1	1	0	17	14
R2	3	0	34	5
R3	2	0	10	6
R4	6	0	27	3



(2) 中学校

	病気欠席	経済的理由	その他	不登校
H30	5	0	0	7
R1	0	0	0	9
R2	0	0	0	13
R3	7	0	6	8
R4	15	0	7	6



## (8) 泳力調査(令和4年度)

### 1 小学校(泳法:小3～5は自由、小6はクロールか平泳ぎの得意とする方)

学年	性別	泳げない		泳げる				泳げる子の割合(%)		
		5m未満	5m～25m未満	25m～50m未満	50m～100m未満	100m～200m未満	200m以上	男女別	学年別	県平均(R3)
3	男子	15	24	4	2	0	0	13.3%	11.7%	19.3%
	女子	10	42	3	3	0	0	10.3%		14.7%
4	男子	2	28	13	3	1	1	37.5%	31.4%	33.7%
	女子	7	33	11	2	0	1	25.9%		26.8%
5	男子	1	22	12	6	5	9	58.2%	54.1%	50.0%
	女子	1	26	16	6	1	4	50.0%		37.9%
6	男子	0	6	9	4	3	22	86.4%	72.6%	61.5%
	女子	3	14	6	1	3	13	57.5%		52.2%

### 2 中学校

#### ① 平泳ぎ

学年	性別	泳げない		泳げる				泳げる子の割合(%)		
		5m未満	5m～25m未満	25m～50m未満	50m～100m未満	100m～200m未満	200m以上	男女別	学年別	県平均(R3)
1	男子	1	14	4	5	6	10	62.5%	51.0%	57.5%
	女子	8	24	13	3	5	3	42.9%		42.4%
2	男子	2	9	3	7	11	11	74.4%	69.2%	73.4%
	女子	5	16	12	16	3	9	65.6%		54.0%
3	男子	2	7	2	4	4	27	80.4%	72.9%	84.3%
	女子	1	13	6	1	4	14	64.1%		64.6%

#### ② クロール

学年	性別	泳げない		泳げる				泳げる子の割合(%)		
		5m未満	5m～25m未満	25m～50m未満	50m～100m未満	100m～200m未満	200m以上	男女別	学年別	県平均(R3)
1	男子	1	8	11	7	8	6	78.0%	64.2%	60.5%
	女子	1	24	16	9	3	1	53.7%		53.3%
2	男子	1	8	11	10	6	7	79.1%	76.2%	73.0%
	女子	0	15	20	16	5	2	74.1%		64.6%
3	男子	0	5	4	18	5	11	88.4%	90.4%	86.0%
	女子	1	2	13	6	4	14	92.5%		72.9%